

第七十四回帝國議會 輕金屬製造事業法案委員會會議錄(速記)第七回

會議

昭和十四年三月十七日(金曜日)午後一時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 森田 政義君

理事葉梨新五郎君 理事卯尾田毅太郎君
理事中田 儀直君

寺島 權藏君 駒井 重次君

瀧澤 七郎君 深澤豐太郎君

牧野 良三君 長谷 長次君

木村 淺七君 樋口善右衛門君

鹽川 正藏君 渡邊 泰邦君

原 玉重君 中村 高一君

渡邊玉三郎君

同月十六日委員宇賀四郎君辭任ニ付其ノ補關トシテ渡邊玉三郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

商工大臣兼拓務大臣 八田 嘉明君

出席政府委員左ノ如シ

商工省工務局長 東 榮二君

商工省轉業對策部長 鹽谷狩野吉君

商工貿易局長官 寺尾 進君

臨時物資調整局次長 竹内 可吉君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

工業組合法中改正法律案(政府提出)

○森田委員長 開會致シマス——樋口君

○樋口委員 資料ノ請求ヲ致シタイト思ヒ

マス、小組合ヲ組織セシムル所ノ小工業者ノ地方別業者數、ソレカラ損害補償貸付資金高ト、今マデニ政府ノ損失支拂ヲ爲シタル地方別損害高、商工省ノ工業組合ニ對スル施設補助金ノ地方別分配ノ額、聯合會ノ名稱、設立ノ年月日、事務所ノ所在地、所屬工業組合數、商工省ノ推薦シタル工業組合ニ工業組合聯合會ノ役員ノ氏名竝ニ組合員外ト組合員トノ區別、官吏ニテ工業組合ニ工業組合聯合會ノ役員タル者ノ組合名ト氏名、工業組合法第八條ノ適用ノ認可シテ居ル組合名、第八條ニ依リ當該官吏ヲシテ取締ヲ執行セシメタ數及ビ違反ノ人員、住所、是ダケヲ質問ノ資料トシテ請求シテ置キマス

○森田委員長 今ノ資料ニ付テハ、成ベク御願致シマス、ソレデハ渡邊君

○渡邊委員 私ハ工業組合ノ監督規定ヲ強化スルコトノ必要ヲ承リタイト思フノデアリマス、即チ第二十條ノ三ニハ「行政官廳

監督上特ニ必要アリト認ムルトキハ第三條第一項第一號ノ事業經營ニ對スル制限ヲ行フ工業組合ノ理事又ハ監事ノ選任又ハ解任ヲ爲スコトヲ得」トアルノデアリマス、是ハ行キ過ギデハナイカト思ツテ居ルノデアリマス、本年ノ一月末現在ノ我國ノ工業組合ノ數ハ、二千九百六十六組合ノ多キニ達シテ居ルノデアリマスガ、此ノ事變下ニ於ケル統制強化ト共ニ、工業組合ヲ組織セザレバ、統制ヲ受ケル上ニ於テ原料配給ヲ得ナケレバ、其ノ事業ガ成立ツテ行カナイ現状デアリマス、隨テ工業組合ノ總テノモノガ政府ノ命令等ヲ聽カザル場合ニ於テ工業組合ノ規定ニアリマシタ如ク組合員ヲ除名處分マデ出來マスカラ、當然營業ハ成立ツテ行カナイ、工業組合ハ工業組合法ニ依ツテ、斯ウ云フ相當キツイ制裁ヲ受ケルノデアリマス、而モ此ノ三千ニ近イ工業組合ノ中ノ九割マデハ、原料、材料ノ統制ヲ受ケルモノデアリマシテ、工業組合ハ國家ノ配給機關デアリマスガ、政府ハ公共的的使命ヲ有スルガ即チ工業組合デアルト言ハレテ居ル、斯ウ云フ立場ニアルモノニ、果シテ役員ノ選任解任ヲ國家ノ權力ヲ以テ爲サレネバナラス

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)
工業組合法中改正法律案(政府提出)

必要ガアリマセウカ、是ガ本案改正ノ要點デアルト思フノデアリマスガ、現ニ工業組合ノ聯合會ニハ商工省ノ御推薦デ理事者トナツテ居ルモノガ隨分アルト思フノデアリマス、又更ニ商工省ノ大官ガ現職ノ儘ニ理事ニナツテ居ルコトモ聞及ンデ居リマス、私ハ此ノ方々ニ對シテハ洵ニ御迷惑デ、已ムニ已マレヌ事情ガアツテ、暫定的デアルトハ思ツテ居リマス、隨テ此ノ御苦勞ニ對シテハ洵ニ感謝ノ至リデアリマス、併シナガラ監督者モ被監督者モ官吏デアル如キハ、我國ノ産業ノ爲ニ良イコト私ハ思ヘナイノデアリマス、工業組合加盟ノ工業者ノ生産額ハ昨年ハ實ニ八十一億五千七百餘萬圓ニ達シテ居ル、此ノ工業者ハ自治ニ依ツテ是マデ發達シテ居ルモノデアルト思フノデアリマス、私ハ現職ノ大官ガ理事デアルトコトヲ御苦勞ニ存ジテ、反對スル意圖ハ更ニ持ツテ居リマセヌ、是レ以上ニ監督規定ヲ強化セントスル必要ガ何處ニアルカト云フコトヲ御聽キ申シタイノデアリマス、大正十四年ニ工業組合法ガ施行サレマシテカラ以來政府ノ指導方針ハ、工業組合ハ中小工業家ガお互ニ共同ノ力ヲ以テ、其ノ經濟的弱點ヲ補ツテ、統

制ニ依ツテ無用ノ競争ヲ避ケマシテ、我國ノ産業貿易上重要ナル地位ヲ占メテ居ル中小工業ノ堅實ナル發達ヲ促スコトガ、工業組合ノ指導精神デアルト思フデアリマス、此ノ際政府ノ御所見ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○東政府委員 御話ノ通り工業組合ハ業者ノ自治的ナ團體デアリマスカラ、其ノ理事、監事等ノ役員ハ其ノ組合員ノ中カラ之ヲ選ビマシテ、而モ何等官廳ノ干渉ナクシテ圓滿ニ其ノ事業ヲ遂行シテ行キマスコトガ理想デアリマス、吾々ハソレヲ切ニ希望致シテ居ル譯デアリマス、併シナガラ只今御話モアリマシタヤウニ、最近工業組合ハ原料、材料等ノ配給其ノ他所謂統制事業ヲ行フノガ大部分デゴザイマシテ、其ノ點カラ申シマスレバ、著シク今日ノ工業組合ハ公共性ヲ帶ビテ參ツテ居ルノデアリマス、而シテ其ノ役員ノ責務ガ重大ニナリマシタニ伴ヒマシテ、實際問題ト致シマシテ、其ノ役員ガ非常ニ公平ニ組合ノ事業ヲ遂行シテ行カウト致シマスル場合ニ、動モスルト組合員ノ中ノ色々希望等ニ牽制セラレマシテ、公正ニ事務ヲ遂行出來ナイヤウナ實例モ多々アリマス、斯ウ云フ場合ニハサウ云フ公正ニ事業ヲ遂行シテ行カントスル役員ヲ擁護ス

ル、サウシテ其ノ組合ノ事業ヲ圓滿ニ遂行セシメルト云フコトガ必要デアリマス、併シ又反對ノ實例ト致シマシテハ、組合ノ役員ガ面白クナイ行爲ガアリナガラ、尙且ツ其ノ地位ニ止ツテ居ツテ、其ノ爲ニ其ノ組合ノ事業ガ圓滿ニ行カナイト云フヤウナコトモ、最近特ニ實例ガアルノデアリマス、サウ

云フ場合ニハ已ムヲ得ズ監督ノ立場カラ其ノ役員ノ解任ヲスルト云フコトモ時ニ依ツテ——甚ダ遺憾デアリマスガ、必要ナコトガアルト存ズルノデアリマス、今度ノ改正ハサウ云フ場合ニ處シテ遺憾ナキヲ期スル爲ニ改正セントスルノデアリマシテ、固ヨリ其ノ運用ニ付テハ十分注意致シマシテ、萬已ムヲ得ザル場合ニ之ヲ適用スル、斯ウ云フコトニ致シタイト考ヘテ居リマス

尙ホ現職ノ官吏ガ工業組合ノ役員ニアルノハ宜シクナイ、斯ウ云フ御意見デアリマスガ、是ハ私モ全然同感デゴザイマス、唯併シ過去ニ於キマシテ、或ル特別ナ組合ノ事情ニ依リマシテ、例ヘバ其ノ組合ノ役員ガ或ル事情ノ下ニ總辭職ヲシタ、其ノアト急遽補充ノ方法ガナカツタ爲ニ一時事務管理ノ意味デ現職ノ役人ガ其ノ組合ノ役員ノ事務ヲ代行シタト云フ例ハゴザイマスガ、是ハ勿論其ノ時ノ例外ニ屬スベキコトデアリ

マシテ、今後ハ成ベクサウ云フコトノナイヤウニ、又通常ノ場合ニ官吏ガ工業組合ノ役員ヲ兼ネルト云フコトハ今後ハ一切シナイ積リデ居リマス

○渡邊(玉)委員 私ノ御尋シテ居リマスノハ、速記録ヲ御覽ニナレバ分リマスガ、現職ノ大官ガ理事トシテ御苦勞願フコトヲ感謝シテ居リマス、反對スル意圖ハ更ニ持ツテ居リマセヌ、斯ウ云フヤウニ申上ゲタノデアリマスガ、只今ノ御答辯ハ私ガソレニ付テノ不滿トカ反對ノ意見ヲ持ツテ居ルカノ如キ御答辯デアリマシタ、私ノ前ニ申シマシタコトハ速記録ニ殘ツテ居リマスカラ、能ク御熟讀ヲ願ツテ置キタイト思ヒマス、勿論已ムニ已マレヌコトガアツタト思ヒマス、私ハサウ云フヤウナコトヲモ場合ニ依ツテハヤツテハ行カナケレバナラスト思フ、サウ云フヤウナコトハ例外ニスルノダト仰シヤイマスケレドモ、アア云フヤウナ場合ニハ當然サウ云フヤウナコトガアルダラウト思フ、サウ云フヤウナコトガアルダラウトスルナラバ、之ヲ法文化シテ官選理事ヲ作ル法文ヲ提出セヌデモ宜イデハナイカト思フ、内務省カラ農村ノ町村自治制ト云フモノヲ御發表ニナリマシテ、本會議ニ提案スルト言ハレマシタケレドモ、遂ニ其

ノ提案ヲ御止メニナツタ、是ハ色々事情モアリマセウケレドモ、私共ガ察スル所ニ依リマス、其ノ三分ノ一ノ官選ニ等シイ議員デアルトガ相當論議ガアツタコトデアルト聞及ンデ居リマス、又東京トカ大都市ノ都制案ニ於キマシテモ、本

議會ニ提出サレマセヌデシタコトハ、サウ云フ點デアツタノデハナイカト思ツテ居リマス、私ハ今局長ノ御答辯デ萬已ムヲ得ヌ事情デアツタ場合ニハシナケレバナラス、斯ウ云ハレマスケレドモ、私ノ質問ニ對シテアナタノ御答ハ少シ思ヒ方違ツテ居リマスノデ、私ハ過去ニオヤリニナツタヤウナコトハオヤリニナツテモ宜イノダ、ダカラ敢テ第二十條ノ三ノ如キハ必要ナイト思フ、要スルニ是ハ御答辯ノ中カラ拜察致シマシテモ、正宗ノ名刀ヲ是ニ於テ容易ニ抜カナイト云フコトデアアル、然ラバ、今議會ニ都制案トカ、或ハ町村自治制ノ改正ト云フモノヲ今度御提案ニナラス、斯ウ云フヤウナ情勢カラ考ヘテ見テモ此ノ點ガ行過ギデハナイカト思ツテ居ルノデアリマスガ、尙ホ一應御答辯ガ願ヘレバ仕合デアリマス

○東政府委員 先程モ申シマシタヤウニ、最近特ニ物資ノ配給ノ統制ヲ行フニ伴ヒマシテ、組合ノ事業ト云フモノハ非常ニ公共

性ヲ帶ビテ參ツテ居リマスノデ、之ヲ嚴正公平ニ行クコトガ非常ニ必要デアリマスガ、甚ダ遺憾ナガラ最近色々問題ガアツタコトハ渡邊サシモ御承知ノコトト思ヒマスガ、此ノ組合ノ自治ニ依ツテ組合員ノ信賴ト人望ヲ十分ニ持ツ所ノ役員ヲ自治的ニ專任シテ圓滿ニ其ノ事業ヲ遂行シテ行キ得ル場合ニハ何等問題ハナイノデアリマスガ、サウ行カヌ場合ガ實際ハアルノデアリマス、サウ云フ場合ニハヤハリ斯ウ云フ規定ヲ置イテ、場合ニ依リマシテ其ノ役員ガ其ノ職ニ留ツテ居ツテハ、ドウシテモ其ノ組合ノ經營ガウマク行カスト云フヤウナ場合ニハ、其ノ解任ヲ監督ノ立場カラ命ズルコトモ已ムヲ得ナイコトデアルト存ズルノデアリマシテ、私共ハ斯ウ云フ時代ニ斯ウ云フ規定ハ是非必要デアルト考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○渡邊(玉)委員 是レ以上ハ議論ニナリマスカラ押返シテ申シマセスガ、唯私ノ申シマスコトハ、從來オヤリニナツテ居ルコトヲオヤリニナレバ、ソレデ宜イヤウニ思フノデアリマシテ、御答辯ヲ承服シタ意味デハアリマセス、ソレカラ次ニ今度ノ改正ノ骨子デアリマスル小組合制度ニ付テ御尋シタイト思ヒマス、私ハ此ノ小組合制度ハ運

用ニ依ツテハ非常ニ宜イモノデアアル、併シナガラ一番心配スル所ハ其ノ運用宜シキヲ得ナイト鶏ガ家鴨ノ卵ヲ育テルヤウナ結果ニナツテ行クノデハナイカ、即チ其ノ母體トナル工業組合ノ地區ト小組合ノ地區トハ同ジニスルノデナケレバイケナイト云フノガ第一點デアリマス、ソレカラ二府縣以上ニ跨ツテ居リマシテハ政府自ラモ監督ニ困ルデハナイカ、又總テノ統制ノ規則等ニ依リマス、地方長官ノ許可シタルモノハ此ノ限ニアラズト云フヤウナ文句ガ随分アルト思ヒマスガ、斯ウ云フ點カラ考ヘマシテモ、此ノ親子一緒デナケレバイケナイ、母體ノ工業組合ノ地區ト小組合ノ地區トガ同ジ所デアルコトガ必要デハナイカ、第三ノ理由ト致シマシテハ、小組合ハ十人以內トスルト云フ原則ニ付テハ、私ハ何等異議ヲ持ツテ居リマセス、唯折角是ダケ良イ小組合ト云フ制度ガ出來マスルナラバ、例ヘバ綿ノ個人「リンク」制ノ如キ場合ニ於キマシテモ、紡績會社ガ中小工業ニ註文スル上ニ於テ此ノ小組合ガ「ツノ」「プール」デアアル、斯ウ云フ制度ニ於テ安心シテ注文ガ出來ル小組合制度ノ法人化ニ依ツテ大工業モ安心シ輸出振興ノ上ニ喜ブベキデアアル、斯ウ云フ風ニシテ欲シイト思フガ、サウ云フコトハ

御考ヘニナツタカドウカ、第四點ト致マシシテハ、小工業ト中工業トガ緊密ヲ保ツテ行ク必要ガアル、或ル弱イ小サイ工業者ダケガ寄ツテ小組合ヲ作りマシテモ、却テ其ノ組合長トナル人ガ十分指導ガ出來ナイヤウナ立場ニ陥ルコトガアルノデハナイカ、隨テ小工業者ト云フ定義ト申シマスガ、サウ云フモノヲモウ少シ廣クシテ戴キタイ、所謂意義投合シタモノガ相寄ツテ隣保共助ノ美德ヲ發揮スル農村ニ於ケル實行組合ノ如クニスルコトガ産業上必要デハナイカ、假ニ小サイ工業ト大キイ工業トガアル部落ニ於キマシテ、小工業ダケガ「ツノ」寄ツテ集ルト云フコトニナルト、産業ノ發展上其ノ部落ニハ和ヲ缺クヤウナコトガ起リ得ルノデハナイカ、隨テ小組合ト云フ制度ニ付テモウ少シ資格ノ制限ヲ廣クシテ貰ヒタイト思ヒマスガ、以上ノ點ニ付テ御當局ノ御答辯ヲ御願シマス

○東政府委員 小組合ニ地區ヲ設ケナイノハ宜クナイデハナイカト云フ御質問デアリマスガ、今日各種ノ工業組合、商業組合、貿易組合等ニ地區ノ設ケガアリマスノハ、其ノ地方ノ産業ヲ一組合ニ依ツテ統一的一ニ組織化スル、斯ウ云フ目的ニ出タモノデアリマスガ、小組合ハ組合員ノ共同利益ノ増

進ノ爲ニ、任意ニ一緒ニヤラウト云フ人達ガ集ツテ組織スル共同經營の團體デゴザイマスノデ、地區ヲ必要トシナイモノト考ヘテ居リマス、地區ヲ設ケナイト云フ意味ハ或ル行政地區内ニ於テモ組合ノ數ガ二ツモ三ツモ出來テ宜シイト云フコトデアリマス、又同時ニ經濟的ニ非常ニ密接ヲ關聯ノアル場合ニハ、行政的地區ガ別ニナツテ居リマシテモ「ツノ」組合ヲ作ツテ宜シイ斯ウ考ヘマスガ、只今渡邊サシモ御心配ニナルヤウニ非常ニ遠ク離レタ二縣モ三縣モノ業者ガ一緒ニ集ルト云フヤウナコトハ、實際問題トシテハ小組合ニ利益ガナイノデアリマス、又假ニサウ云フ組合ヲ計畫スル者ガアリマシテモ、是ハサウ云フ小組合ノ趣旨ニ副ハナイモノハ許可シナケレバ宜イノデアリマスカラ、御心配ノヤウナコトハナカラウト存ジマス

ソレカラ小組合ヲ組織スル小工業者ト云フモノヲ餘リ範圍ヲ狭クシテハ宜シクナイデハナイカ、斯ウ云フ御質問ノヤウニ伺ツタノデアリマスガ、ソレハ私共モ大體同ジヤウニ考ヘテ居リマス、今ノ所大體資本金ノ額一二万圓ノ程度ヲ以テ小工業者ノ標準ニスル考デアリマスガ、或ハ業種ニ依リマシテハ、モウ少シ之ヲ多ク見ル必要モアル

カト云フコトモ考ヘテ居リマス、是ハ其ノ實情ニ即シマシテ限度ヲ決メテ行キタイト云フ考カラ、之ヲ法律ノ中ニハ決メテナイ次第デアリマス、御話ノヤウニ、場合ニ依リマスレバ五人ナリ十人ナリノ小工業者ガ集ツテ小組合ヲ作リマス場合ニ、稍、大キナモノ、中間ノ指導ノ立場ニ立ツ、中心ニナル業者ノ一人二人入ルコトモ必要ナ場合ガアルカトモ思ヒマスノデ、サウ云フコトニ不便ノナイヤウニ考ヘテ行キタイト思ツテ居リマス

○渡邊(玉)委員 地區ヲ定メズニ二府縣以上ニ跨リマス時ニハ、最近出マス法令ナドデハ、統制規定ニ於キマシテモ、或ル部分ニ付テハ地方長官ノ許可ヲ得タルモノハ此ノ限ニアラズト云フヤウナコトヲ書イデアリマス、私ハ初メハ非常ニ離レノ縣ノコトモ考ヘテ居リマシタケレドモ、ソレハ無イト言ハレマスカラ、小組合ガ出來ナイデアリマセウガ、唯道ヲ隔テ川ヲ隔テテ縣ガ別ニナツテ居ル其ノ時ニ、縣ヲ跨イデ小組合ヲ作ルト云フコトヲ御認メニナルコトハ、當局カラ云ツテモ監督上不便ガアルノデハナイカト思ヒマス、所謂地區ヲ定メズト云フ心持ガ、府縣ヲ跨ガヌノデアルト云フ風ナ當局ノ御方針デアラナラバ宜シイ、サウ

デナクテ今ノ御答辯デアルト、ドウモ將來不便ガ多イト思ヒマス、勿論此ノ小組合ニ依ツテ共同購入ヲシ、共同販賣ヲシテ行キマスカラ、此ノ小組合制度ハ非常ニ良イコトデアル、又斯ウ云フ制度モ、私ハ小工業者ト云フ定義ヲ成ベク廣ク解釋ヲサレタイト云フ希望ヲ持ツテ居リマス、今資本金ガ一二万圓ト云フ言葉ガアリマシタケレドモ、資本金一二万圓デ數十名職工ヲ使ツテ居ル工業ガアルデアリマセウ、又一二万圓ノ程度デハ一人ノ家族工業シカ出來ナイト云フ工業モアルノデアリマスカラ、サウ云フ點ニ付テハモウ少シ廣ク御扱ヒヲ願ヒタイ、殊ニ此ノ小組合制度ニ於テ二府縣以上ニ跨ルコトガ今申ス色々ノ監督上カラ行キマシテモ、其ノ小工業者ノ自己ノ立場カラ言ヒマシテモ不便ガ多イト思ヒマスガ、左様ナコトハナイト云フ御考デスカ、尙ホモウ一應承リタイ

○東政府委員 先程モ申上ゲマシタヤウニ、實際小組合ヲ作リマス場合ニハ、其ノ地區ハ成ベク工業組合ノアリマスモノハ其ノ工業組合ノ範圍内デ小組合モ作ツテ行ク、斯ウ云フコトニ指導シテ行キタイト思ツテ居ルノデアリマシテ、工業組合ガ一縣ニ限ツテ居ルニ拘ラズ、小組合ガ二縣ニ互ルト

云フヤウナコトハ、實際問題トシテハ是ハナイト考ヘテ居リマス、又サウ云フ風ニ實際指導シテ行カナケレバナラスモノト存ジテ居リマス

○渡邊(玉)委員 サウ云フ風デアリマスレバ結構デアリマス、唯望ンデ置キマスコトハ、此ノ小組合ヲ組織スル工業者ノ資格範圍ヲ、弊害ナキ限リ擴大サレテ戴キタイト云フコトヲ望ンデ置キマス

次ニ御尋致シタイコトハ、工業組名ガ同地區内ニ——マア言ヒ方ガ惡イカモ知レマセヌガ、屋上屋ヲ成シテ居ル、統制團體即チ其ノ工聯ニ單一加入ヲシテ居ル所ト、各種別ノ工業者ガ一ツノ工業組合ヲ作ツテ數個ノ統制團體ハ加入シナケレバナラナイト云フ組合ノアル地方ガアルノデアリマス、即チ工業組合ハ原料材料ノ配給機關ナルニ鑑ミテ、内容ヲ整備シテ全國統一スルコトガ出來ナイモノデアリマセウカ、實例ヲ申シマス、愛知縣ノ尾西地方ノ如キ、工業者ハ毛織物、綿織物、ハステープル・ファイバー人絹ト云フヤウナ工業組合ガアリマシテ、サウシテ一人ノ工業者ガ別々ニ幾ツモノ工業組合ヘ加盟シテ居ル、尤モ織物ハ複雜デアリマスカラハ已ムヲ得ナイトシマシテモ、一方京都地方ノ如キハ各種ノ織

物ヲ綜合シテ工業組合ガアルノデアリマス、ソコデ最近或ル組合ノ内部ニ於キマシテハ、ソレヲ綜合シテ組合ニ改造シタイト云フ運動ガアルカノヤウニ聞イデ居リマス、御當局ノ一貫シタル指導方針ト申シマス、是等ニ付テノ當局ノ御考ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○東政府委員 工業組合ガ單ニ原料材料ノ配給ノミヲ行フ場合デアリマス、成ベク綜合的ナ單一ノ組合ニシテ、一人ノ業者ガ幾ツモノ組合ニ入ラスト云フコトノ方ガ便利デモアルシ、經費等ノ點ニ於テモ其ノ方ガ宜シイヤウニ思フノデアリマスガ、併シナガラ一面工業組合ノ本來ノ目的デアル所ノ、共同ノ施設ヲシテ共同ノ利益ヲ増進シテ行クト云フ點カラ申シマスレバ、成ベク同ジ事業ヲ營ム業者ノミガ組合ヲ作ルト云フコトガ便宜デアリマスシ、實益ニ適ヒマスノデ、是ハ單ニ抽象的ニ綜合的ナ單一組合方針ガ宜イトカ、或ハ又組合ノ數ガ幾ラ多クテモ業種別ニ細分シテ行ク方ガ宜イトカ云フ風ニハ言フコトガ困難デアリマシテ、其ノ實情ニ即シテ、適當ニ之ヲ指導シテ行クコトガ必要デアラウト存ジマス

○渡邊(玉)委員 ソコデ具體的ニ承リタイコトハ、今私ハ尾西地方ノコトヲ申シマシタ

物ヲ綜合シテ工業組合ガアルノデアリマス、ソコデ最近或ル組合ノ内部ニ於キマシテハ、ソレヲ綜合シテ組合ニ改造シタイト云フ運動ガアルカノヤウニ聞イデ居リマス、御當局ノ一貫シタル指導方針ト申シマス、是等ニ付テノ當局ノ御考ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

ガ、ソレハドウ云フコトガ實情ニ即シテ居ルカ、斯ウ云フコトヲ承リタイ、一人ノ工業者ガ三ツ四ツノ工業組合ニ加入スル地方ト、一人ノ工業者ガ一工業組合ニ加入スレバ宜イ地方ガアル、ソレハ地方ノ事情ニ依ツテ違フト云フコトダケハ、局長ノ御答辯デ諒承致シマシタ、併シナガラ今申シマスル愛知縣ノ尾西地方ノ工業者ハ、色々複雑ナ織物ヲシテ居ル、ソコデ此ノ東亞建設ノ大業達成ノ爲ニハ、諸々ノ統制ニ商工省ナドガ熱心ニ努力サレテ居ルノデアリマスケレドモ、サウ云フヤウナ複雑ナ所ニハ、隨分配給等ニハ不滿ナ點ヲ持ツテ居ル者ガ多イノデアリマス、隨テ今其ノ苦ミヲ斯ウ變ヘタラ苦ミガナクナルノデハナイカ、斯ウ云フヤウナコトガ一種ノ運動ノ中心デナイカト思ヒマスガ、其ノ地方ニ對シテハ何ト御考ニナツテ居ルカ、幸ヒ美濃部サンモオ居デゴザイマスシ、此機會ニ承ツテ置クノデアリマス

アルト云フコトヲ常ニ當局ニモ進言シテ織機ノ封絨ヲシタ、然シ全面的デナクテハ不公平デアル其ノ封絨シタ織機ヲ將來ドウ云フヤウニシトラ宜イカ、例ヘバ其ノ産業ヲ滿洲、北支ヘ移シタ方ガ宜イノデアルカ、或ハ先ヅ當分考ノ付クマデサウシテ置ク方ガ宜イノデアルカ、ソレニ付テ御方針ガアツタナラバ承ツテ見タイト思ヒマス

○東政府委員 今後滿洲及北支方面ニ漸次各種ノ工業ガ起ツテ行キマスコトハ是ハ當然デアルト思ヒマスガ、其ノ根本方針ニ付キマシテハ、日滿ノ間ニハ既ニ日滿經濟統制ニ關シテ現在ト根本方針ガ決ツテ居ルノデアリマス、其ノ方針ニ從ツテ具體的ナ問題ヲ日滿ノ間ニ協議シテ行ツテ居ルノデアリマス、紡機及織機ノ問題ニ付キマシテハ、最近内地ニ於テ遊シテ居ル機械ヲ滿洲ノ方面ヘ移シタラト云フ話ガ兩國ノ當事者ノ間ニ話合ガアツタコトモ事實デアリマス、根本方針ト致シマシテハ滿洲及北支那ニ或ル程度ノ工業ガ興ツテ行クト云フコトハ、是ハ認メナケレバナラスト思フノデアリマスガ、唯此ノ際直チニ之ヲ持ツテ行キマスコトニ付キマシテハ、工場建設ノ資材、ソレカラ原料タル棉花、羊毛、「ス・フ」等ノ配給ノ問題等色々入ツタ事情ガアリマスノ

デ、直チニ之ヲ移シテ行クト云フコトハ相當考慮ノ餘地ガアルモノト考ヘマシテ、目下兩當局ノ間ニ考究中デアリマス

○渡邊(玉)委員 尙ホ尾西地方ノ單一組合ハ、御考置キニナルト云フコトデ此程度ニ承テ置キマス、第三十三條ノ「組合員タル資格ヲ有スル者ハ組合員ノ四分ノ三以上ノ同意ヲ得テ工業小組合ニ加入スルコトヲ得」斯ウナツテ居リマス、兎ニ角商、工業組合ト云フモノヲ、其ノ地方ニ依ツテハ商、工業者ガ幾ツカノ組合ニ入ラスケレバナラスト、又其ノ地區ニ依ツテ一ツノ組合ニ入レバ宜イト云フ所ガ出來テ來マスカラ、斯ウ云フ點ニ付テハ何かモウ少シ、愛知縣地方ノヤウナ複雑ナ地方ニ付テハ、一定ノ指導的ノ御方針ガ承レヌモノデアリマセウカ、ソレカラ「四分ノ三以上ノ同意ヲ得テ工業者ガ小組合ニ加入スルコトヲ得」ト云フ其ノ意味ヲ御説明願ヒタイ

デアリマスカラ、後カラ其ノ組合員ノ數ヲ増加致シマスル場合ニモ、成ベク組合全體ガ其ノ人ヲ加入セシメテモ異存ガナイ者デナケレバナラスト私共考ヘテ居ルノデアリマス、サウ云フ意味デ組合員ノ少クトモ四分ノ三以上ノ同意ガナケレバ小組合ノ組合員ヲ増加スルコトハ出來ヌト云フ意味デ此ノ規定ヲ置イタノデアリマス、尙ホ前ノ第一ノ御質問ハ小組合ヲ作ツテ其ノ小組合ガ工業組合ニ加入スル場合ニ、幾ツモノ工業組合ニ加入シナケレバナラストヤウナコトガアルノデハナイカ、斯ウ云フ御質問デアツタト思ヒマスガ、場合ニ依リマシテサウ云フコトモアリ得ルト思フノデアリマス、是先程御話ノアリマシタ工業者ガ工業組合ニ加入スル場合ニモ同ジ問題ガアル譯デアリマスガ、是ハ先程モ御答辯致シマシタヤウニ、其ノ時ノ實情ニ即シテ之ヲ解決シテ行カナケレバナラストデアリシマテ、抽象的ニ一定ノ方針ヲ決メルト云フコトハ困難デアリシ、却テ實情ニ副ハヌ場合ヲ生ズルモノト考ヘテ居リマス

○渡邊(玉)委員 其ノ次ノ第三十三條ノ六ヲ眺メマスト「當該工業ニ關スル工業組合ノ組合員タルコトヲ得ズ」斯ウ云フコトガアリマス、ソコデ小工業者ガ工業小組合ノ

○東政府委員 只今渡邊サンノ御話ノ尾西地方ノ組合ノ問題ハ、何レ能ク事情ヲ調査致シマシテ、實情ニ即シテ指導シテ行キタイト存ジマス

○渡邊委員 私共ハ此ノ織物ノ統制ニ付テ、織機ノ封絨ヲスルコトガ非常ニ宜イコトデ

○東政府委員 後ノ方ノ御質問カラ御答致シマスガ、「四分ノ三以上ノ同意ヲ得テ工業小組合ニ加入スルコトヲ得」ト云フ規程ヲ設ケマシタノハ、元來小組合ハ極ク少數ノ者ガ一緒ニヤツテ行カウト云フ譯デ、謂ハバ極ク氣ノ合ツタ者同士ガ小組合ヲ設ケテ共同經營的ニ事業ヲヤツテ行カウト云フノ

○渡邊(玉)委員 其ノ次ノ第三十三條ノ六ヲ眺メマスト「當該工業ニ關スル工業組合ノ組合員タルコトヲ得ズ」斯ウ云フコトガアリマス、ソコデ小工業者ガ工業小組合ノ

第六類第二十四號 輕金屬製造事業法案委員會會議錄 第七回 昭和十四年三月十七日

五

組合員トナツタ時ニハ、當該工業ニ關スル工業組合ノ組合員タルコトヲ得ナイト云ヒマシテモ、今申シマシタヤウニ、地區ニ依ツテ各、違ツタ所ガアリマス、例ヘバ例ヲ織物ニ取リマスレバ、小組合ノ組合員ハ綿ヲ作ツテモ毛ヲ作ツテモ「ステープル」フアイバー」ヲ作ツテモ自由デアラウト思フ、所ガ其ノ中デ綿ノ工業組合ヘ入ツタ者ガ「ステープル」ノ製品ヲ作ルカラ、詰リ兩方ヲ作ルカラ、團體トシテハ一組合シカ入ラナイガ、個人トシテ他ノ組合ヘ入ラナケレバナラスト云フヤウナ複雑ナコトガ出來テ來ルノデハナイカ、斯ウ云フコトヲ思フノデアリマスガ、第三十三條ノ六ニアリマス點ニ付テ一應ノ御答辯ヲ承ツテ置キタイト思フノデアリマス

○東政府委員 御話ノ通り、場合ニ依リマシテ、或ル工業組合ニ加入シテ居ル其ノ小組合ノ組合員ノ或者ハ、更ニ他ノ事業モ經營シテ居ル場合ニ其ノ他ノ組合ニモ入ラナケレバナラスト云フ場合ガアルト思ヒマス、サウ云フ場合ニハ但書ニ依リマシテ、特別ノ事情アル場合トシテ行政官廳ノ認可ヲ受ケテ、其ノ組合ニ入ルコトニナツテ居ルノデアリマスカラ、實際上ノ不便ハナカラウト存ジマス

○渡邊(玉)委員 先ニ戻リマスケレドモ、ソレハ非常ニ不便ダカラ、一貫シタル方針ガ必要デナイカト思フノデス、サウシマスト、例ヘバ五人ト假定シマス、其ノ五人ノ者ガ一ツノ小組合ヲ作ツタカラ一ツノ組合ヘ入レバ宜イノデアル、ソレハ小組合トシテ一組合デ宜イケレドモ、愛知縣ノヤウニ複雑ナ織物ヲ作ル所ハ、個人々々ハ又他ノ組合ヘ幾ツカ入ラナケレバナラスト云フヤウナ不便ナ點ガアルノデハナイデセウカ、私ハ其ノ點ハ何トカ一ツ定ツタ

方針ヲ御決メニナツテ戴キタイト思フガドウデセウカ、是ハ實際問題トシテ尾西地方ノ如キ一人ノ工業者ガ三ツ四ツノ工業組合ヘ入ツテ居ル現状カラ申シマスルナラバ、一ツノ小組合ガ一組合ヘ加入シマシテモ、行政官廳ノ必要ト認ムル時ハ工業小組合ニ對シテ當該工業ニ關スル工業組合ニ加入スルコトヲ命ゼラレマシテモ、又其ノ他ノ組合員ハ五人各、違ツタ工業組合ヘモ入ラナケレバナラスト云フヤウナコトニナルカラ、是ハ母體ノ工業組合ヲモウ少シ何トカ整備スルト云ヒマスガ、同ジヤウナ形ニ置ケナイモノデアリマセウカ、御意見ヲ承リマス

○東政府委員 是ハ個人ノ工業者ガ工業組

合ニ入りマス場合モ、又小組合ガ工業組合ニ入りマス場合ニモ、其ノ工業者ナリ小組合ナリガ色々事業ヲヤツテ居リマス場合ニハ、幾ツモノ組合ニ入ラナケレバナナイト云フ事情ガアル譯デアリマス、ソレハヤハリ其ノ時ノ實情ニ應ジテ之ヲ考ヘテ行カナケレバ、抽象的ニサウ云フ幾ツモノ組合ニ入ルコトハ一切イケナイトカ、或ハ又反對ニ幾ツデモ組合ガアル限リ入ツテ行クノガ宜シイト云フ風ニ申上ガ兼ネルト思ヒマス

○渡邊(玉)委員 私ノ言葉ガ足りマセヌノデ、御答辯ガ違ツテ居ルト思ヒマスガ、私ハ此ノ小組合ガ色々ナ形ニナツテ居ツテ、一ツノ組合ニ加盟スレバ宜イトカ、或ハ皆幾ツカノ組合ニ小組合ノ名前ニ於テソレレ、ニ入ラナケレバナラスト云フヤウナ形ハ、是ハ前後同ジヤウニ整理統一出來ナイモノカドウカ、私ハ自分ノ意見ヲ端的ニ申スナラバ、商工大臣ガ指定セラレタル國家ノ統制團體、例ヘバ織物關係デ言フナラバ六ツノ統制團體ガアル、綿、毛、人絹、「ステープル」麻、絹ト云フヤウナ團體ガアル、其ノ團體カラ同ジク一ツノ工業組合ガ其ノ形デ現ハレテ來テ、小工業組合モソレニ依ツテ出來テ來ルコトガ國家ノ統制上、又配給統制ノ

上カラ宜イコトデアルト私ハ思ツテ居リマス、併シナガラ初メカラ意見ヲ申サズニ、御當局ノ意見ヲ承ルト云ツタカラ私ノ意見ヲ言フコトヲ差控ヘテ居リマシタケレドモ、サウ云フ風ニシテ行ク方ガ宜イト思フ、サウ云フコトガ宜ケレバ、小工業組合ハ其ノ形ト分野ガ自ラ決ツテ來ル、ソレヲ或ル地方デハ綜合シタ組合ニシテ居リマスカラ、其ノ商工大臣ガ指定シタル織物關係デ言ヘバ、六ツノ團體ヘ皆一ツノ組合ガ入ツテ行カナケレバナラスト、ソレヲ反對ニ愛知縣地方デ言フナラバ一ツノ統制團體ヘ入レバ宜イノデアルカラ統制上便宜デアル、サウ云フヤウニ工業組合ガ同ジヤウナ形ニナルコトガ宜イノデハナイカ、小工業組合ノ母體デアル工業組合ガ全國ガ不統一デアルコトハ、統制上ニモ不利不便ガ多イノデハナイカト云フコトヲ思フノデアリマスガ、充分御研究ヲ要望シ此ノ點ニ付テハ繰返スコトニナルカラ重ネテ御答辯ヲ要求致シマセヌガ、是ハ本當ニ根本ノコトデアルト思ヒマスカラ、御考ヘ置キヲ願ヒタイト思ヒマス

更ニ一ツ本法案トハ關聯ガ薄イカモ知レマセヌガ、輸出振興ニ付テ御伺ヒシタイト思ヒマス、輸出振興ノ爲ニ海外見本品ノ蒐

集及ビ海外視察ニ付テ工業組合ヨリ派遣スルヤウニシテ貫ヒタイ、ソレカラ工業組合ハ輸出ノ原料ヲ共同購入シ、其ノ製品ノ共同販賣ヲ政府ハ小組合ヘ獎勵シテ居リマスガ、是ハ當然輸出振興ノ爲ニ獎勵スベキコトデハナイカ、モウ一ツハ輸出資金ノ前貸、損失補償制度ヲ工業組合ニ適用シテ輸出品ヲ製造スル工業者ヲ助成スベキデアルト思フノデアリマス、此ノ三ツノ點ヲ總括シテ説明致シマスルト、輸出振興資金ト云フモノハ相當年々政府ハ計上シテ居ラレマスケレドモ、海外ノ見本蒐集及ビ海外視察ニ工業組合カラ派遣シタト云フコトハ未ダ會デナイ、私ハ敢テ輸出業者ガ視察ニ御出掛ニナルコトヲ反對スル者デハナイ、併シナガラ輸出貿易ハ生産者ノ研鑽努力ガ必要デアリ、外國デ物ヲ見マシテモ、工業者ガ見テコソ工業的ノコトガ頭ニピント響ク筈デアリマス、斯ウ云フコトニ付テ見本ノ蒐集トカ或ハ海外視察ト云フモノニハ是非工業者ヲ出スコトニセラレタイ、又共同購入、共同販賣ト云フコトハ本法案ノ小組合ノ主タル目的デアルト思ヒマスケレドモ、其ノ母體デアル工業組合ガ輸出振興ノ爲ニハ最モ必要デアルト痛感シテ居ル一人デアリマス、殊ニ今日ノ如キ

「リンク」制ニ依ツテ當然デハアリマスケレドモ、國內ヘノ流入ハ嚴ニ取締ラレテ居ル、サウシマス、各方面ニサウ云フヤウナ輸出ノ原料、材料ヲ配給スル所ノ機關ヲ作レバ宜イデハナイカト言ハレマスケレドモ、僅カノ材料——九九%ノ原料ガアツテ一%ダケノ原料ガ國內民需ヲ許サヌノデアルカラ、政府ノ許可ヲ受ケナケレバ原料ガ揃ハヌカラ製品ヲ作ルコトガ出來ヌ是ガ爲輸出ガ出來ナイト云フ事例ハ幾多アルノデアル、工業組合ニソレヲ共同購入ヲサセテ、國內流出ヲ嚴ニ取締ルヤウ任セテ置ケバ、輸出ノ振興ニモ宜イ、其ノ僅カ一部ヲ入レル爲ニ手續方面倒臭イカラ輸出ヲシナイト云フヤウナコトガ往々アリハシナイカ、兎モ角全國ノ各工聯カラ言ヒマスレバ、商工大臣ノ指定サレタル統制團體デアリマスカラ、ソレ位ノコトハ信用サレテ、輸出振興ノ爲ニ御採リニナルコトガ宜イノデハナイカ、ソレカラ輸出資金ノ前貸損失補償制度デモ、輸出業者ガ外國カラ注文ヲ受ケテ、サウシテ之ヲ輸出スル時ノ前貸損失補償制度ハアリマスケレドモ、工業者ガ輸出品ヲ造リマス時ニ資金ガナイ、斯ウ云フ者ニ對スル前貸損失補償制度ヲ之ニモ適用スルト云フコトガ、今日ノ輸出依存ノ最モ必要ナ

時ニハ當然必要デナイカト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ特ニ當局ノ御好意アル御答辯ヲ煩ハシタイト思フノデアリマス

○東政府委員 海外見本市ニ關スル經費ハ來年度ノ豫算ニハ實ハ計上シテ居ラスノデアリマスガ、將來サウ云フ施設ヲ致シマス場合ニハ、工業者モ之ニ參加シ得ルヤウニ十分考慮致シタイト思ヒマス、ソレカラ輸出前貸損失補償制度ヲ輸出業者ノミナラズ、工業者ニモ適用シテハドウカト云フ御意見デアリマスガ、是ハ御尤ト思ヒマスノデ、サウ云フ風ニ今考慮致シテ居リマス、ソレカラ原料ノ共同購入ト云フヤウナコトヲ工業組合ニヤラセナケレバイカヌデハナイカ、斯ウ云フ御意見デアツタト思ヒマスガ、是モ私共同感ニ思ヒマス、輸出ノ原料ノミナラズ、總テノ原料、材料ノ共同購入ト云フコトヲ成ベク工業組合デヤツテ行クヤウニ指導ヲ致シタイト思フノデアリマスガ、唯併シ從來カラノ配給系統トノ關係モゴザイマスノデ、之ヲ急速ニ無理ニ進メテ行クト云フコトハ餘程考慮シナケレバナラヌ問題ト考ヘテ居リマス

○渡邊(玉)委員 マダ少シ承リタイコトガアリマスケレドモ、大臣ノ御出席ノ時ニ承ルコトニ致シマシテ一應打切りタイト思ヒマス

○森田委員長 瀧澤君

○瀧澤委員 私共ハ此ノ組合法案ハ今日ノ場合ニ實際組合ヲシテ共同施設ヲサセヨウナント思ツテ居ツテモ容易ニ出來ナイモノヲ救フ上ニ於テ適切ダト實ハ考ヘテ居リマス、ソレカラ尙ホ此ノ中デ問題ニナリマスルコトハ、一利一害デ、私共ハ非常ニ此ノ點ヲ心配シテ居ルノデスガ、斯ウ云フヤウナ組合ガ澤山出來テ參リマス、時ニ依ルト、十人ナラ十人ノ中ノ組合ノ代表者ニナツテ居ル理事監事ニナツテ居ル者ガ適當ナル行爲ヲシナカツタト云フヤウナ場合ナドニ、監督官廳ガ之ヲ十分監督ヲシテ行カナケレバナラナイト云フヤウナ意味カラ、理事監事ヲ解任スル、或ハ選任スルコトガ出來ルヤウニナツテ居リマスガ、此ノ點ガ皆心配シテ居ル所デアリマス、ソレハ今渡邊サンノ御話ノ中ニモアツタカドウカ私後デ來マシタカラ存ジマセマスケレドモ、場合ニ依リマス、隨分正當ナル當業者ガ困ツテ居ルト云フ話モ聞イテ居リマス、併シ今日デハ是等ノ組合ヲ監督サレル場合ニ於テ、工業組合法ノ第八條ノ三ヲ見マス、

「行政官廳第八條ノ規定ニ依ル命令ヲ遵守セシムル爲ニ必要アリト認ムルトキハ其

ノ命令ニ從フベキ者ニ對シ其ノ製造又ハ加工ノ設備ノ使用ヲ禁止シ又ハ制限スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ行政官廳取締上必要アリト認ムルトキハ製造又ハ加工ノ設備ニ付封印ヲ施シ、其ノ要部ヲ取外シ其ノ他必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得トアリマスガ、是ダケデハイケンイト思フノデアリマス、今日役員ノ選任或ハ解任ニ對シテ——當局ニ於テハ配給ト云フ一ツノ重大ナル武器ガアルノデアリマスカラ、ソレニ依ツテ行カレルヤウニ思ヒマスガ、ソレガ却テ業界ヲ迷ハシムル所以デアリ、官僚獨善ノ弊アリト謂ハレル所以デアルト思フノデアリマス、規則ニハツキリナイコトヲ他ノ方法ヲ以テ制限サレル、規則ニナイコト、法律ニナイコトヲヤツテ行クノダカラ、官僚ガ獨善ダト謂ハレル所以ダト私ハ考ヘルノデアリマス、サウ云フ意味カラ見レバ、法律ガナクテモ選任、解任ヲシテ行カレルノデスカラ、寧ロ之ヲ法文化スルコトガ、サウ云フ官僚獨善ナドト言ハレルコトヲ免レル所以デハナイカトモ考ヘラレルノデアリマス、當業者ノ皆サンノ御心配シテ居ラレルコトハ、此ノ權利ヲ振廻サレテヤトラニヤラレタラ組合ハドウナルカト云フコトヲ非常ニ

心配シテ居ルノデアリマスカラ、此ノ點ニ對シテ本當ニ當局ガ持ツテ居ラレル所ノ御心持ヲ披瀝サレタナラバ——寧ロ私共ハ法文ノ命ズル所ニ從ツタ方ガ宜イト云フ風ニ考ヘテ居ルケレドモ、併シ之ヲヤトラニ振廻サレタラ大變ナコトニナル、今ナクテモ振廻サレルノダカラト云フヤウナ心配ヲ抱イテ居ル者ガ多イノデアリマス、其ノ點ヲ能ク聽カセテ戴キタイト云フコトガ私共ノ心持デアリマス、ソレヲ先ヅ伺ツテ見タイト思ヒマス

○東政府委員 只今ノ御質問御尤デアリマス、斯ウ云フ規定ヲ置キマシテ、之ヲ濫用致シマスコトハ是ハ甚ダ宜クナイコトデアリマス、慎マナケレバナラヌト考ヘテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ此ノ規定ニ依リマシテ理事又ハ監事ノ選任又ハ解任ト云フコトハ、餘程特別ノ場合デ、事情已ムヲ得ナイ場合ニ限ルモノト考ヘテ居リマス

○瀧澤委員 其ノ點ヲ本當ニ考ヘテ戴カナケレバ、此ノ法案通過ノ上ニモ非常ナ障礙ヲ來スコトハ私ハ存ジテ居リマス、ドウカ此ノ點ハ本當ニ考ヘテ戴キタイト云フコトヲ申上ガテ置キマス、此ノ點ニ付テハ利害相反例ヲ申上ガテ色々御聽キシタイト思ヒマ

スケレドモ、時間ガアリマセヌカラ、次ノ質問ニ移リマス

小サイ組合ヲ拵ヘテ、サウシテ失業ヲ防グト云フコトガ第一ノ條件ニナツテ居ルヤウデアリマス、所ガ此ノ小サイ組合員ニ於テハ、實際中ニハ大工場ノ唯一トモ言ハレル職工ヨリ優ル技術ヲ持ツテ居ル人モアリマスガ、機械ナドヲ利用シテ仕事ヲヤツテ行ク場合ニ於テハ、大キナ工場ノ立派ナ機械ニハ及バナイノガ多イノデアリマス、サウ云フ譯デアリマスカラ、此ノ物資ノ不足スル時ニ於テハ、ドウ云フコトガ必要デア

ハ、私共製造業者カラ考ヘテ見ルト、ソレハ寧ロ次ノ問題デアツテ、本當ハ是等ノ小工業組合員ヲシテ完全ナ品物ヲ作ラシムルコトガ出來ル指導方針ヲ以テ行カナケレバナラヌ、此ノ指導ノ爲ニ相當ナル施設ヲシテ行カナケレバナラヌ、其ノ施設ノ爲ニ相當ナ金ヲ出シテ貰ハナケレバナラナイト云フ風ニ考ヘテ居リマスケレドモ、此ノ點ニ關シテドンナ御考ヲ持ツテ居ラレカ、御伺シタイト思ヒマス

ルカト云フト、物資ノ多イ時ニハ良イ物ヲ拵ヘテモ、惡イ物ヲ拵ヘテモ中位ナ物ヲ拵ヘテモ、ソレノ間ニ合ツテ行キマスケレドモ、斯ウ云フ場合ニナリマス、惡イ物ハ絶對ニ拵ヘナイノデ、出來タ品物ハ、例ヘバ機械類ニ致シマシテモ完全ナモノデア

シテ、小組合ノ制度ハ失業ヲ防止シ、又ハ轉業ノ便ヲ圖ル爲ニモ相當效果デアルト考ヘテ居ルノデアリマスガ、私共ガ本當ニ狙ツテ居ルノハ、更ニソレ以上我國ノ極小ノ工業者ヲ組織化シテ、更ニ少シ大キク申シマスナラバ、之ニ依ツテ我國工業ノ再編成ト云フコトマデヤツテ行ク一端ニモシヨウト云フ考ヲ持ツテ居ルノデアリマシテ、其ノ小工業者ガ單獨デハ購入出來ナイ優秀ナ機械ヲ或ハ共同デ買フコトガ出來マセウシ、又單獨デハ持チ得ナイ技術ヲ習得シテ、共同デ優秀ナ製品ヲ造ツテ行クト云フコトニモ導イテ行キタイト考ヘテ居ルノデアリマス、サウ云フ場合ニ共同ノ設備ニ對シテハ相當ノ補助モ致シテ行キタイト、斯ウ云フ

ヤウニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○瀧澤委員 私共小工業者トシテ、只今申

サレタ共同施設ヲヤツテ見ヨウト云フコト
ヲ考ヘテヤツテ見マシタガ、其ノ施設補助
ヲ受ケテヤラウトシテモ、中々容易デナカ
ツタノデス、是ガ出来レバ容易ニナルノデ
スガ、例ヘバ茲ニ十人ノモノガ寄り集ツテ、

其ノ資産 機械ハ一万五千圓デアツタ、

其ノ中ノ最モ宜イト思ハレル工場ヲ利用シ
タト云フ場合、一万五千圓ナラ一万五千圓
ノ機械ヲ入レル工場ヲ新ニ建テタイ、働キ
宜イ工場ニシテ、其ノ機械ヲ能ク使ヒタイト
云フ場合ガ若シアルト假定致シマシテ、サ
ウ云フ場合ニドウ云フ補助ヲ助成サレル御
心持デアルカ、御同致シマス

○東政府委員 小組合ニ對スル補助金ニ付

キマシテハ、大體大藏省トノ間ニ第二豫備金
ヲ以テ之ヲ支出スルト云フコトニ話合ガ出
來テ居リマシテ、豫算ニハ計上シテ居リマス、
ソレカラ機械ニ付キマシテハ府縣ニ補助金
ヲ出シマシテ、府縣ニ於テ必要ナ機械ヲ購
入シテ、之ヲ工業組合又ハ小組合ニ貸與ス
ル、斯ウ云フ方法ヲ執ツテ行キタイト考ヘ
マシテ、其ノ爲ニ七十五萬圓ノ豫算ヲ計上
シテ居リマス、是等ノ助成ニ依リマシテ小
組合及ビ工業組合ハ今後相當設備ヲ充實シ

テ其ノ事業ヲ改善シテ行クコトガ出来ルノ
デハナイカ、斯ウ考ヘテ居リマス

○瀧澤委員 監督行政官廳ガ營業ノ許可ヲ

スルト云フノハ、總テ工業全體ノ上カラ見
テ、新シイ工場ヲ認メナイト云フヤウナコ
トニナルノデアリマスガ、其ノ點ヲ御同致
シマス

○東政府委員 第八條ノ規定ニ依リマシテ、

所謂統制命令ヲ出シマシタ場合、是ハ御承
知ノヤウニ多クハ生産制限等ヲ致シテ居ル
場合デアリマスガ、サウ云フ場合ニ又新ニ
工場ガ出来テ、其ノ設備ガ増設サレテ行ク
ト云フコトハ、統制ノ趣旨ニ反スルノミナ
ラズ、今日ノヤウナ資材ノ非常ニ不足シテ
居ル場合ニハ之ヲ無駄ニ使用スルト云フコ
トニモ相成リマスノデ、サウ云フ場合ニハ
第八條ノ四ノ規定ニ依リマシテ、之ヲ許可
制度ニシテ、不必要ト認メル場合ニハ之ヲ
許可シナイ、斯ウ云フ方針ヲ執ツテ行キタ
イト考ヘルノデアリマスガ、是ハ勿論設備
ガ非常ニ過剰デアリマシテ、新設増設ノ必
要ガナイト云フ場合ニ限ツテ而モ其ノ統制
命令ノ行ハレル期間ヲ限ツテ行フノデアリ
マスカラ、極メテ例外ノ場合ト御承知ヲ願
ヒタイト思ヒマス

○瀧澤委員 此ノ際私共ハソコヲ本當ニハ

ツキリ御考置キヲ願ヒタイ、是ハ商工省デ
御承知ノコトデ、私共此ノ方デ陳情シタ場合

モアリマシタ、例ヘバ私ノヤツテ居ル鑄物
業者ニ今配給サレルノハ、家ニ依ツテハ生
産設備ノ三割デアアルシ普通五割デアリマス、
サウ云フ場合ニ例ヘバ鑄物業者、機械業者
ハ儲カルカラト云フノデ、此ノ間モ人ガ來
マシテ、ドウモ私失業ヲシテ轉業ヲシナケレ

バナライガ、鑄物ハ好イサウダカラ工場

ヲ始メテ見ヨウデハナイカ、組合ニ入レテ吳
レナイカト云フ話合ノ受ケタコトガアル、
ソコデ私ハ今ハ配給ガ足りナイカラ差上ゲ
ル譯ニハ行カナイ、併シアナタガ軍需品ナ
リ特別ナ所カラ或ハ輸出組合ナリカラ來ル
場合ガアツタラ、是ハ特別デアアルケレドモ

私共ハソレハ出来ナイコトデアアルノダ、斯

ウ云フ風ニ説明ヲシテ居リマス、事實失業
スル轉業スルト云フ風ニナルト、ドノ仕事
ガ一番良イカ周圍ヲ見ル、周圍ヲ見ルト鑄
物ト云フモノハ今儲カルサウダト云フヤウ
ナコトデヤツテ來ラレル、私ハサウ云フ風
ニシテ居リマスカラ、是ハモウ御承知ノコ
トデスガ、東京ニ於テハ鑄物業者ト云フモ
ノハ殆ド殖エテ居リマセヌ、然ルニ一ツ河
ヲ隔テタ他ノ縣ニ行クト、續々ト拵ヘテ、
ソコデ仕事ガ出来テ居ル、サウ致シマス

今度他ノ縣ニ參リマス、今マデ紡績機械

ヲヤツテ居ツタ所デ、澤山ノ仕事ヲヤツテ
居ツタケレドモ、紡績機械ハ禁止ニナリマ
シタカラ、此ノ工場設備ト云フモノハ剩ツ
テ居ル、剩ツテ居ルケレドモ、ソコニ其ノ
品ガ流レテ行カナイト云フヤウナコトガア
リマス、例ヘバ東京ニ於キマシテモ、鑄物

業者或ハ機械業者ヲシヨウト云フ場合ニハ、

警視廳ニ認可申請ヲスル、警視廳ハサウ云
フコトヲ構ヒマセヌカラ認可シマス、認可
サレタケレドモ、組合員ニナレナイ、資材
ガ足りナイカラ今ノ者デサヘモ失業シテ中
ニハ轉業シナケレバナライナイト云フヤウナ
者ガアル場合デアアルカラ、君ハ當分認メナ
イ、斯ウ云フヤウナコトニナツテ居リマス、

是ハ資材配給ノ今日ノ狀態デアリマス、昨

年モ商工省ニ行ツテ事務官ノ方々ノ意向ヲ
聞イテ見マス、ソレハ尤モダカラサウ云
フコトヲ通牒シヨウデハナイカト云フ御話
ガアリマシタケレドモ、是亦容易デナイヤ
ウナ趣デアツテ、實ハ其ノ點私共モ實際困
ツテ居ル、ソコヘ斯ウ云フモノガ出来マシ
タ場合ニ於キマシテハ、是非是等ニ付テ十
分ノ御考慮ヲ願ヒタイ、ト云フノハ御承知
ノ通り今斯ウ云フコトガ始ツテ居リマス、
一貫作業ヲヤルモノニハ工場ヲ認メル、斯

ウ云フコトデアル、今マデ配給ハ即チ日本機械製造工業組合ニ致シマシテモ鑄物部ガアツテ機械部ガアリマスレバ、此處ニ鉄鐵ガ行クノデス、ソレカラ鑄物部ノナイ所ニハ行カナイ、ダカラ行ク人ノ方ガ今豐富ニアルカラ、今度俺モ建テルノダト云ツテコツチガ建テル、サウスルトココデ一箇所ニ大キナモノガ建テラレルト、少クトモ二十軒位ノ破産者ガ出來テ來ルノデアリマス、實際大キナ家デ一貫作業ヲヤルト、ソレハ理由ハ經濟的ニ一貫作業ダト申シマスケレドモ、其ノ影響スル所ハ非常ニ多イノデスカラ、之ヲ許可制度ト云フコトニココデ御書キニナツタコトハ、今日ノ場合ニ於テハ私ハ非常ニ必要ダト思ヒマスカラ、私ハ此ノ場合ニ申上ゲマシテ全國畫一ニ之ヲ……東京デハ斯ウ云フ方針デ組合ガ持ツテ居ル、河ヲ隔テレバソレヲヤライ、サウスルトコナラノ方ハ現狀ノ儘デ片方ノ人ハ殖エル、サウシテ今度ハ又縣ヲ隔テテ他ニ行クト失業ヲ致シテ居ツテ工場ハ空イテ居ルト云フヤウナコトガアリマスカラ、原料ノ流れノ上ニ付テ其ノ點ヲ十分御考慮ヲ願ハナケレバナラナイト思ヒマシテ、私ハ此ノ點ハサウ云フコトヲ加味シテ、一ツ十分ニ、今日ノ失業轉業ト云フ際ニ於テハ御考慮キヲ願

ヒタイト云フコトデ御意見ヲ承リタイ
○東政府委員 只今ノ御意見ハ御尤ダト思ヒマス、本改正法律ガ施行ニナリマスレバ、全國同一ニサウ云フ不必要ナモノガ新ニ設備ヲ殖ヤシテ行クト云フヤウナコトヲ許可セズニ統一ヲ圖ツテ行クトガ出來ルト存ジマス
○瀧澤委員 大體私ノ主ナル點ハサウ云フ點デアリマシテ、指導ヲスル爲ニ相當ナ施設ヲシテ戴キタイ、ソレヲナサルト斯ウ云フコトデアリマス、ソレカラ又現在アル工場ヲ全國的ニ活カシテ、サウシテ不必要ノモノヲ新ニ造ラセナイ、此ノ考ハ大變良イコトト思ヒマス
其ノ次ニ工業組合ガ斯ウ云フ風ニナツテ参リマス、此處ニモ報告ガアリマスケレドモ、既ニ今日デモ三千有餘ニ上ツテ居ル、組合員ガ十八万人ト申シテ居リマス、今度斯ウ云フ組合ガ出來レバ尙ホ多クナル、サウシテ五千万圓ノ出資デ千五百万圓ノ拂込デ百億ノ產額ヲ擧ゲテ居ルト云フノガ今日ノ工業組合ノ全體ノ上カラ見タ數字ダサウデアリマス、此ノ組合ヲ指導シテ行クノニ只今工業組合中央會ガアツテ、今マデ梶原サンガ理事長ヲシテ居ラツシヤルト云フコトデスガ、段々調ベテ見

ルト、是等ハ十一万圓バカリノ補助ガアルガ、ソレハ組合員ノ數ガ今ヨリモズツト少イ時ニ定メラレタモノデ、今日組合ガ三千ニモナリ是カラ此ノ組合ガ出來マスレバ、忽チ四千ニモナラウト思フ、斯ウ云フヤウナコトデ、此ノ組合ノ指導ヲシテ行ク連絡指導ノ任務ニ當ツテ居ツタ中央會ガ、今マデハ僅カ數百ノ組合デアツタノガ、急ニ三千ニモナリ、尙ホ是カラ急激ニ増加シテ参リマス、是等ノモノノ事務ヲ統一連絡シ、サウシテ之ヲ横ニ連絡シテ行クニハ非常ニ良イ働キヲ今日マデシテ居ツタカラ、十一万圓ノ補助金ヲ商工省デ御出シニナツタ存ジテ居リマスケレドモ、ソレハ今マデ組合ガ非常ニ少カツタ場合ノコトデアリマシテ、今日斯ウ云フ場合ニナレバ商工省自身ガ補助金ナリ獎勵金ナリ御出シニナルノハ別トシテ、其ノ外ニ中央會ヲ活カシテ使ツテ行カレコトガ今日マデノ經歷カラ見テ宜カラウト考ヘテ居リマスガ、是等ノ組合ヲ十分強化擴大セシムル爲ニ、相當ノ助成ヲナサルル御考ヲ持ツテ居ルカドウデア

ルカ、之ヲ伺ヒマス
○東政府委員 御話ノ通り今後組合ノ數ガ益々増加シテ行キ、又其ノ事業モ物資ノ配給其ノ他統制事業ヲヤツテ行キマスニ付キマシテハ、是等ノ組合ノ指導監督ト云フヤウナコトハ極メテ必要ナコトデアリマスノデ、其ノ爲ニ工業組合中央會ガ色々事業經營ノ上ニモ指導ヲシ、又其ノ經理ノ監査等ニ付キマシテモ、工業組合中央會ガ各所屬組合ヲ指導シテ行クト云フコトハ極メテ適切ナルコトト考ヘテ居ルノデアリマス、隨テ今後ハ成ベク各工業組合ガ全部此ノ中央會ニ加入致シマシテ、中央會ヲ一層有力ナモノニシマシテ工業組合ノ中心トシテ全部ノ工業組合ヲ指導シテ行ク、斯ウ云フコトニ漸次助長シテ行キタイト考ヘテ居リマス、工業組合中央會ニ對スル補助金ハ、只今ノ所豫算ノ上ニハ増額ヲ致シテ居リセヌマガ、是ハ必要ニ應ジマシテ更ニ適當ナ機會ニ又考慮致シタイト考ヘマス
○瀧澤委員 只今ノ御答辯デ能ク意ヲ明ニ致シマシタガ、只今ノ御話ノアリマシタ工業組合ヲ全部加入セシムル御心持デアルト云フコトヲ伺ヒマシタケレドモ、今日ハ強制加入ニハナツテ居リマセヌガ、將來ハ是ハ強制加入ヲ命ゼラレル御心持デノ只今ノ御答辯デアリマスルカ、其ノ點ヲ御伺致シマス
○東政府委員 只今ノ所強制加入ニシヨウト云フ考ハ持ツテ居リマセヌ、併シ成ベク

實際上ノ指導ニ依リマシテ、全部之ニ加入
スルヤウニ導イテ行キタイト考ヘテ居リマ
ス

○瀧澤委員 此ノ委員會デハ一寸相應ハシ
クナイカト思フノデアリマスガ、大臣が御
見エニナツタラ一應申上ゲテ此ノ機會ニ御
願シテ置キタイト思ツタコトハ、此ノ原料
配給ノ上ニ付テノコトデスガ、今鋼材ナド
ニ關取引ガアルト云フコトデアリマス、ソ
レデ是モ本當ニ考ヘテ戴キタイト思ヒマス
ルコトハ、今關取引ガアルカラ、是ガ特別
金ノアル所ヘ資材ガ入ツテ、一般ニハサウ
云フモノガ來ナイデハナイカ、斯ウ云フ御考
ヲ一應持ツテ居ラレルヤウデアリマスルケ
レドモ、今日何處ヲ私ガ調べマシテモ、關取
引ノアルト云フコトハ、私事實認メテ居リマ
スガ、併シナガラ其ノ人ガ特別ニ買置キフシテ
居ルト云フ事實ハナイ、サウシテ關取引ダケ
レドモ買フ、斯ウ云フコトデアリマシテ、自分
ノ仕事ヲスルダケハ買ハナケレバナラスト
云フノデ、法ヲ犯シテマデモ買フヤウニナツテ
居リマスルケレドモ、此ノ事ハ非常ニ私共遺
憾トシテ居リマス、段々小組合ガ出來テ、
正當ナル原料ノ配給ヲシテ行カナケレバナ
ラナイト云フ時ニ於キマシテハ——今例ヘ
バ千應要ル所ヘ二百應シカ切符ガ行カナイ

モノデスカラ、ソレデ千應ノモノヲ關取引
デ買ツテ居ルノデス、デスカラ千應要ルト
思フ所ヘハ千應デモ千五百應デモ空切符ヲ
出シテ見ナサイ、金ガナイカラ買ヘヤシマ
セス、サウスレバ茲ニ何時デモ切符デ品物
ガ買ヘルノダト云フ安心ガ得ラレルカラ、
ソコデ關取引ガナクナツテ價格ガ下ツテ來
ル、是ハ本當ノコトデアリマス、決シテ今
關取引ガ止マル程材料ヲ持ツテ居ルモノハ
ナイノデアリマス、之ヲ何カノ機會デ申上
ゲテ見タイト思ヒマシタケレドモ、是カラ小
組合ガ出來レバ、正當ナル配給ヲシテ行カ
ナケレバナリマセヌ譯デアリマスカラ、斯
ウ云フ機會ニ其ノ事ヲモ申上ゲマシテ御參
考ニシテ戴イテ、サウシテ關取引ヲ絕對ニ
ナイヤウニ致シマシテ、統制ノ價格ニ依ツ
テオ互ガ品物ヲ得ルヤウニ、小組合員ダ
ラウト大キナ工場ダラウト出來ルヤウニ致
シタイト思ツテ、念ノ爲ニ、唯關取引デ
品物ガ偏シテ居ルト云フ御考ヲ改メテ戴
キタイト云フコトヲ申上ゲテ、是非此ノ點
ニ付テ御盡力ヲ願ヒタイ、斯ウ思ツテ居リ
マス

○東政府委員 只今御話ノ點ニ付キマシテ
ハ十分ニ研究致シタイト思ヒマス

○瀧澤委員 私ハ質問ヲ是デ打切りマス

〔委員長退席、葉梨委員長代理著席〕

○木村委員 私ハ日本ノ貿易ノ現狀ニ顧ミ
マシテ、工業組合ト貿易ノ對策ニ付テ、勿
論斯ウ云フコトハ非常ニ必要ナ問題デアリ
マシテ、後刻商工大臣ガ御見エニナレバ、
其ノ際モ御伺致シタイト思ヒマスルシ、尙
ホ商務局長、物資調整局ノ次長等ノ御出席
ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、兎ニ角尙ホ工務
局ノ關係カラ申シマシテモ、密接ナ關係ガ
アリマスノデ、先ヅ其ノ方ヲ御伺シマスガ、
御承知ノヤウニ今色々輸出貿易ヲ増進スル
ト云フ爲ニ種々ノ「リンク」制ヲ各方面ニ執
ツテ居ルヤウデスガ、昨年ノ貿易ノ實勢ヲ
見マシテモ、輸出ガ相當ニ減ツテ居ル、成
程輸入超過ガ一昨年カラ比ベマシテ非常ニ
減ツテ居リマスガ、輸入ガ十一億何千萬圓
ト云フヤウニ減ツテ居ル、是等ハ主トシテ
必要ナ輸入原料ガ減ツタト云フコトデア
ルノデアリマス、勿論此ノ事變ニ對シテ軍需
關係ノ資材ノ確保ヲ講ズルト云フコトニ有
ユル手段ヲ執ルト云フコトハ必要デアリマ
スガ、輸出産業ノ犧牲ニ於テサウヤラレル
ト云フコトモ、極言スレバ言ヒ得ルト思フ
ノデアリマス、其ノ結果トシテ色々「リン
ク」制ヲ實施サレテ居リマス、人絹或ハ綿
織物、羊毛等ノ毛織物ノ輸出ガ減少シテ參

リマシタ、是等ノ減少ノ結果ガ日本ノ中小
工業者ニ非常ナ影響ヲ與ヘテ居ル、ソレガ
工業組合ヲ組織シテ居ル多數ノ業者デア
ルト云フコトニナツテ來ルト思フノデアリマ
ス、ソコデ斯ウ云フ風ナ窮屈ナ狀態ハ、現
在ノ時局カラ考ヘマシテモ、將來ノ見透シ
ニシマシテモ、依然トシテ繼續ヲサレルノ
ダト云フコトハ吾々モ推斷スルニ困難デナ
イ、斯ウ云フヤウナ貿易ノ統制或ハ輸出入
品ノ臨時措置法ニ依ル制限ノ上カラ「リン
ク」制ヲヤツテ居リマスガ、寧ロ此ノ「リン
ク」制ト云フモノハ積極的ノ輸出振興策ニハ行
ツテ居ナイト思フノデアリマシテ、消極的
ニ此ノ貿易ノ統制下ニ於テノ輸出産業ヲ維
持シテ行カウト云フ風ナ、極メテ消極的ナ
方策デハナイカト思フノデアリマスガ、是ガ
振興ヲ圖ルニハ根本的ニハ物價ノ引下、或
ハ配給ヲ改善シタリ、最近ノヤウニ賃銀ガ
非常ニ暴騰ヲ致シマシテ、生産費ガ非常ニ
高ク掛ル、「コスト」ガ非常ニ高ク掛ル、軍
需産業ノ方ニハソレデモ尙且ツ引合フカモ
知レマセヌケレドモ、殊ニ此ノ「リンク」制
ヲ施行シテ居ルヤウナ工場方面ニ於テハ、
海外ノ市場ト云フ風ナモノガ餘リ宜シクナ
イト云フ上カラ云ヒマシテモ、非常ニ困難
デアラウト思フノデアリマス、ソコデ過日

豫算委員會ニ於キマシテモ、厚生大臣ハ此ノ賃銀ノ適正ヲ期スル爲ニ、或ハ職工ノ爭奪ノ防止ヲ圖ルト云フ爲ニ、總動員法ニ則ツテ勅令ヲ出サウト云フ風ナ御話モアツタノデアリマスガ、此ノ工務關係ト致シマシテ、モウ少シ「リンク」制ニ於テモ、物價ノ配給ト云フ風ナモノヲ圓滑ニシテ行クト云フコトガ必要デアラウト思フノデアリマス、尙ホ物價ノ引下ゲモ同様デアアルノデアリマスガ、之ニ付キマシテドウ云フ風ナ御考ヲ持ツテ居ラレマスカ、此ノ點ヲ御伺シタイト思ヒマス

○東政府委員 御話ノ通り此ノ時局下ニ於テ輸出ノ振興ヲ圖ラナケレバナラナイト云フコトハ、是ハ申スマデモナイコトデアリマシテ、其ノ爲ニハ商工省ト致シマシテハ有ユル努力ヲ致シテ居ル譯デアリマス、其ノ貿易振興ノ詳細ノ施設等ニ付キマシテハ、貿易局長官モ御見エニナリマシタカラ、尙ホ御質問ガアレバ詳細ニ説明ガアルコト思ヒマスガ、更ニ物貨ノ引下ゲ及ビ賃銀其ノ他生産費ノ引下ゲノ爲ニ必要ナ施設ニ付キマシテハ、常ニ工務局ト致シマシモ商務局及ビ物資調整局等トモ連絡ヲ取リマシテ、適切ナ方策ヲ執ツテ居ル次第デアリマス、又勞働者ノ配分、更ニ其ノ賃銀ノ適正ト云

フヤウナコトニ付キマシテモ、吾々トシテハ非常ニ關心ヲ持ツテ居ル譯デアリマス、此ノ問題ニ付キマシテモ厚生省其ノ他關係當局ト常ニ密接ナ連絡ヲ取ツテ、十分ノ處置ヲ執ツテ行キタイト考ヘテ居リマス

○木村委員 ソレ等ノ問題ニ付キマシテハ、工務局ト致シマシテモ輸出産業方面ノ振興ヲ圖ル上カラ見マシテ、「コスト」ヲ引下ゲルト云フコトガ最も必要デアアルノデアリマスルカラ、其ノ問題ニ對シマシテモ十分御研究ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

ソレカラ最近絹織物ノ公定價格ト云フモノガ發表サレタノデアリマスガ、是ハ商務局ノ關係デアリマスガ、工務局トシテドウ云フ風ニ考ヘテ居リマスカ、一月十日ヨリモ高ク賣ツテハイケナイト云フ所謂商工省ノ告示、之ニ基イテ業界ガ非常ニ波瀾ヲ起シテ來タノデアリマスケレドモ、此ノ絹織物ノ價格ヲ一月十日ノ價格ニ引下ゲルト云フコトハ、原料トノ關係ト云フ風ナコトモ直チニ考ヘラレ得ル問題ダト思フノデアリマスガ、之ヲ農林省ニ伺ヒマシテモ、農林省ト商工省ト云フモノガ密接ナ連絡ガ無カツタト云フコトヲ聞イテ居ルノデアリマス、ソコデ農林省ト致シマシテハ、生絲ノ價格ハアノ程度デハ抑ヘタクナイノダ、斯

ウ云フ風ナ方針デアアルヤウデアリマス、亞米利加ハマダアノ位ノ値段ナラバ生絲ノ需要ガ減ラナイ、ソレデ現在日本ノ絹織物關係ノ有ユル纖維ノ原料ト云フモノハ、「リンク」制ヲ實施シテ制限ラシテ居ルト云フ建前カラ言ツテモ、此ノ絹織物ニ對スル原料デアアル生絲ノ増産ヲ圖リタイト云フ建前カラ言ツテモ、農林省ガ現在ノ繭ノ生産費ヲ高クシタイト云フ建前カラ言ツテモ、生絲ノ市價ヲ相當ノ價格デ維持シタイト云フコトヲ考ヘテ居ルヤウデアリマス、サウシテ農林省ハ、米國ノ實際ノ實需ト云フモノガ生絲ノ價格ガ上ツタ爲ニ現實ニ減ルト云フ風ナ傾向ガ現レルマデハ抑ヘタクナイト云フコトヲ、吾々ガ伺ヒマス農林省ハ言ウテ居ルヤウデアリマス、果シテサウデアルトスルナラバ、若シモ此ノ生絲ガ相當ノ價格マデ上ツテ來ル、實際ニ於テ亞米利加ノ方ノ實需ニ影響シテ來テ實需ガ減ツテ來ルト云フ場合ニ於テハ、此ノ價格ヲ抑ヘル以上ハ、ヤハリ國內ニ於ケル所ノ生絲ノ配給ト云フ風ナコトモ考ヘナケレバナラヌト思ヒマス、サウ云フ場合ニ於テ、農林省ハ生絲ノ價格ガ非常ニ上ツテ來テ、實際ニ於テ抑ヘナケレバナラヌ、ソレデナケレバ將來ニ於テ此ノ養蠶、製絲方面ニ非常ニ波瀾ヲ

來ス虞ガアル場合ニ於テ抑ヘルト云フ風ナコトニシテ參リマスレバ、國內ニ於テ消費ト云フ方面ヲ制限ラシナケレバナラヌ時期ガ來ルデハナイカト思ヒマス、ソレデナケレバ思惑ガズツト上ツテ來テ、益々生絲ノ市價ヲ高カラシメルト云フ風ナコトニナルダラウト思フノデアリマス、サウ言ツタヤウナ場合ニ於テ、國內ノ生絲ノ配給ノ適切ヲ圖ルコトガ直チニ必要ダト思ヒマス、斯ウ云フコトモ工務局ノ直接ナ關係デナイカト思フノデアリマス、農林省ガサウ云フ事ヲ考ヘテ居ルナラバ、ソレ等ニ對スル所ノ工務局トシテ、將來生絲ノ對策ヲドウスルカト云フコトハ、今ノ内ニ御考ヘニナツテ置カナケレバ、泥棒ヲ捕ヘテ縄ヲ縛フト云フ風ナコトデアツテ見マス、此ノ絹織物ノ業者ト云フモノハ非常ニ困ル、況ンヤ輸出絹織物ノ業者ノ如キハ、非常ニ困難ニ遭遇スルダラウト思フノデアリマスガ、是等ニ付テ工務局ト致シマテ、今日先ノ問題デアリマセヌガ、相當ニ御考ヘニナツテ居ラレカドウカ、此ノ點ヲ御伺致シタイト思ヒマス

○東政府委員 只今ノ御意見私共モ御尤ダト思ヒマス、先般絹織物ノ價格ヲ一應一月十日ノ値段デ抑ヘタト云フコトハ、當時絹

織物ノ價格ガ何處マデ奔騰スルカ分ラナイ
ヤウナ情勢デアリマシタノデ、取敢ズノ處
置ト已ムヲ得ナイト考ヘマシテ、工務局ト
致シマシテモ、アノ統制ニ對シテ同意致シ
タノデアリマス、今後生絲ノ値段ニ付キマ
シテ、輸出生絲ト國內用生絲トノ相矛盾シ
タ要求ヲ如何ニシテ行クカト云フコトハ、
非常ナ難カシイ問題デアルト思ヒマス、尤
モ輸出生絲ノ値段ガ幾ラ上ツテモ亞米利加
ノ需要ガ減ラナイノダト云フヤウナ考ヘ方ニ
ハ直チニ賛成ハ出來ナイト思フノデアリマ
スケレドモ、勿論其ノ需要ガ數量的ニ減ラ
ナイモノデアリマスナラバ、是ハ高ク賣ル
程、國トシテ利益デアアルコトハ申スマデモ
ナイノデアリマス、之ヲ如何ナル點ニ於テ
其ノ限度ト認ムルカト云フコトハ相當困難
ナ問題デアルト思フノデアリマス、何レニ
シマシテモ輸出生絲ノ値段ガ徒ニ亂高下ヲ
スルコトハ、決シテ輸出ヲ増進スル所以デ
ナイコトハ是亦申スマデモナイノデアリマ
ス、適當ナ所ヘ之ヲ落著ケルコトガ必要デ
アルト思フノデアリマス、内地ト外地ト違
ツタ値段ノ所ヘ置カナケレバナラナイト云
フコトニ相成リマスレバ、ドウシテモ内地
生絲ニ對シテハ配給ノ統制ヲ行ハナケレバ
ナラヌコトニ相成ラウト存ズルノデアリマ

ス、私共ソレ等ノ點ニ付テハ色々研究ヲ致
シテ居リマス、又關係方面トモ内々相談ヲ
進メテ居リマスガ、之ニハ實行上ニモ中々
色々ナ「デリケート」ナ問題ガアリマシテ、困
難ナ問題ガアリマスノデ、直グニ之ヲ實行
スルト云フ所マデハマダ進ンデ居リマセヌ
○木村委員 此ノ生絲ノ問題ト絹織物ノ問
題ハ非常ナ重要ナ問題デアリマシテ、殊ニ
輸出貿易ニ影響スル所ハ大キイト思フノデ
アリマス、是等ノ製品ハ直チニ輸出金額全
部ガ金貨ニナリ、ソレダケ日本ノ輸入ノ力
ヲ培養スルコトガ出來ルト云フコトニ相成
ルノデアリマスカラ、此ノ問題ニ付キマシ
テハ今カラ商工省ニ於テハ適當ナ對策ノ御
研究置キヲ願ヒタイト思フノデアリマス
ソレカラ先般商工省ト致シマシテ、從來
商品別ノ「リンク」制ヲ實施シテ居リマス商品
以外ノ色々ナ商品ニ付キマシテ、ソレ等ノ
製品ノ原料ノ中、海外ヨリ輸入ヲ仰グモノ
ニ付キマシテハ、此ノ原料ノ確保ヲ適正ナ
ラシムルガ爲ニ、適當ナ「リンク」制ニ依ツテ
是等ノ工業ヲ維持シテ行カウ、又ソレニ依
ツテ輸出ノ増進ヲ期シテ行カウト云フ爲
ニ、或ハ所謂綜合「リンク」制トカ、或ハ特
殊「リンク」制トカ色々ナ名稱デ世間デハ言
ツテ居ルノデアリマスルケレドモ、其ノ後

綜合「リンク」制ハ大藏省ノ反對ニ依ツテ解
消シタトカ云フコトガ言ハレテ居リマス、
ソレノ「ノ業界トハ其ノ「リンク」制ノ實施
ノ方法等ニ付テ商工省トシテ御交渉ヲナサ
ツテ居ルト考ヘテ居ルノデアリマスガ、未
ダ是等ニ付テ商工省ハ、一般ノ雜品其ノ他
從來商品別ノ「リンク」制ヲ實施シテ居ル以
外ノ商品ニ付テ政府トシテ斯ウ云フ方針デ
アル、斯ウ云フ「リンク」制ニ依ルノダト云
フコトノ正式ナ發表モ別ニ聞イタコトガナ
イノデアリマス、此ノ商品別ノ「リンク」制以
外ノ商品ノ輸出増進策ト云ヒマスガ、輸出
振興作ニ付キマシテ、商工省ノ方針トシテ
ドウ云フ風ニ御決マリニナツテ居リマスガ、
幸ニ貿易局長官ガ御見エニナツテ居リマス
カラ御話ヲ願ヒタイト思ヒマス
○寺尾政府委員 御答申上ゲマス、所謂商
品別「リンク」制ト申シマスノハ、御承知ノ
如ク棉綿製品、或ハ羊毛ト羊毛ノ製品、
「バルブ」ト人絹、「スフ」、或ハ「フェルト」
帽子ト其ノ帽子ノ原料ト云フヤウニ一定ノ
輸出品ト其ノ特定ノ主要原料品トノ間ノ「リ
ンク」ニ依ツテ、輸入ヲ圓滑ニシ、延イテハ
輸出ヲ盛ニシヨウト云フ意味デ其ノ制度ヲ
實行致シテ參ツテ居ルノデアリマスガ、其
ノヤウナ意味ノ商品別「リンク」以外ニ、世

間デハ特殊「リンク」制ト申シテ居リマスガ、
今年ノ一月十日カラ二十四種程ノ品物ニ付
キマシテ「リンク」制ヲ實施シテ居ルノデア
リマシテ、是ハ諄ク御話ヲ申上ゲルマデモ
ナイト思ヒマスガ、大體カラ申シマスナラ
バ、ソレ等ノ品物ガ輸出サレタル場合ニ、
其ノ品物ノ中ニ含マレテ居ル各種ノ副原料
ト其ノ製品トノ間ニ「ツノ「リンク」制ヲ設
ケマシテ、又更ニ進ンデハ其ノ輸出品ノ構
成分子デアアル所ノ原料ノミナラズ、包裝材
料等マデモ其ノ輸出ニ「リンク」セシメルト
云フ方法デ、只今申上ゲタヤウニ二十四品
目ダケニ付テ特殊「リンク」制ヲ實施シテ居
ルノデアリマスガ、是ハソレダケノ品物ニ
限ルト云フ意味デハナイノデアリマシテ、
更ニ準備ガ出來次第ニ、其ノ他ノ適當ナル
品物マデ今申上ゲタ特殊「リンク」制ヲ及ボ
シテ行キタイ、斯ウ云フコトヲ考ヘテ居ル
ノデアリマス、然ラバ左様ナ意味ノ特殊「リ
ンク」制ダケデ此ノ原料ノ輸入ノ確保ガ十
分デアアルカドウカト申シマスルト、ソレダ
ケデハ十分ト申サレナイト思ヒマス、即チ
品物ニ依リマシテハ、只今ノ特殊「リンク」
制デ行ツテ居リマスル如ク、輸出シタ場合
ニハ其ノ輸出ニ含マレテ居ル各種ノ副原料
ノ輸入ヲ認メル、斯ウ云フ方法デ行クノデ

ハ不十分デアル、小サイ澤山ノ業者ガアツテ、先ヅ輸出シテカラ原料ヲソレト引換ニ貰フト云フノデハ不十分デアル、必要ニ應ジテハ先ヅ其ノ原料ヲ與ヘテ、其ノ原料デ拵ヘタ物ヲ輸出サセル、輸出シタナラバソコデ輸入サシテ貰ツタコトニ付テノ義務ヲ果シタト云フ意味ニ於テ、先ヅ原料ヲ與ヘルヤウナ方法ヲ講ジナケレバナラス、ソレニハ其ノ一ツノ手段ト致シマシテ、玆ニ原料材料ノ配給會社ヲ作リマシテ、其ノ原料材料ノ配給會社ニ對シテ出來得ル限り豫メ一定ノ原料材料ヲ持タシテ置キマシテ、ソコデ具體的ニ海外カラ輸出ノ注文ガ參ツテ約定ガ出來タト云フ場合ニハ、其ノ約定ヲ履行スルノニ必要ナル原料材料ノ輸入ヲ其ノ業者ニ認メル、而シテ其ノ認メルニ際シマシテハ、サウ云フ風ニシテ約定ヲ履行スル爲ニ入レルコトヲ許サレタ原料ハ、必ズソレヲ以テ輸出品ヲ製造シテ、海外ニ出スト云フコトヲ約束セシメテ行ク、勿論其ノ間既ニ工業組合、輸出組合等ノ組織ノアルモノハ、十分ソレ等ノ組合ト連絡ヲ保ツテ、其ノ仕事ヲ圓滑ニヤツテ行ク、言換ヘレバ先ヅ原料ヲ適當ニ與ヘテ、ソレヲ間違ヒナク輸出セシメル、其ノ爲ニ一ツノ原料材料ノ配給會社ヲ拵ヘマシテ、圓滑ニ原料ノ輸入、配給

ヲヤラセルコトガ必要ダ、斯ウ云フ意味ニ於キマシテ差當リ三十品目近クノ品物ニ付テ、今申上ゲタヤウナ原料材料ノ配給會社ヲ作ル積リデ、現在地方廳ト専ラ協議ヲ致シマシテ、其ノ準備ヲ進メテ居ルヤウナ次第デアリマス、差當リ今豫定シテ居ルノハ約三十品目デアリマスガ、同ジヤウナ意味ニ於テ、サウ云フ方法ヲ執ルコトガ必要ナリト認メラレル品物ニ付テハ、今後必要ニ應ジテ、ソレヲ増加シテ行クト云フ考ヲ持ツテ居ル次第デアリマス、「リンク」制ニ對スル私共ノ考ト致シマシテハ、今マデノ商品別「リンク」デ十分トハ考ヘテ居ラスノデアリマス、今申上ゲタヤウナ方法ニ依ツテ益々必要ナル制度ヲ擴充シテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○木村委員 只今長官ノ雜品ノ新「リンク」制ニ對スル行キ方ノ點ハ了解シタノデアリマスガ、當業者ノ中ニモ相當ニ此ノ「リンク」制ノ實施ニ當ツテ、原料ノ輸入許可ニ付テハ、其ノ原料ヲ含ム商品ノ輸出金額ノ一定ノ比率ニ依ツテ許サレルデアラウ、斯ウ云フコトヲ考ヘテ居ルヤウデアリマスガ、之ニ對シテ製品ト原料トノ關係ガ極メテ單純ナモノデアラナラバ宜イノデアリマスケレドモ、一ツノ製品ヲ造ルニハ二種以上ノ

色々ナ原料ノ輸入ヲ要スルト云フヤウナ製品モアルヤウニ聞イテ居リマス、而モソレ等ノ原料ノ海外ニ於ケル市價ガ相當ニ變動スルモノモアルヤウニ聞イテ居リマス、サウ云フ場合ニ於テ此ノ輸出ノ證明書ト云フ風ナ物ヲ持ツテ行ツテ、其ノ金額ニ應ジテ一定ノ比率ニ依ル原料ノ輸入許可ヲ得ルト云フ場合ニ於テ、海外ノ其ノ原料ノ値段ガ騰貴シタ場合ニ於テハソレダケ原料ノ輸入ガ減ル、其ノ製品ヲ造ルノニ安イ原料ヲ再ビ得ラレナイト云フコトヲ非常ニ憂ヘテ居ルノデアリマシテ、是等ノ問題ニ付キマシテハ只今ノ長官ノ御話ノ所謂特殊「リンク」制ノ實際ノ運用ニ當リマシテハ、此ノ商工省ト主要府縣トノ間ノ原料輸入ノ許可ノ一定比率ノ運用ト云フモノニ付キマシテハ、十分御注意ヲ願ヒタイと思フノデアリマス、是ハ一般當業者ノ希望デアリマスカラ特ニ御願申シテ置キマス、ソレカラモウ一ツツレト關聯シテ貿易局長官ニ御同ヲ致シタイコトハ、只今特殊「リンク」制ヲ實施スルニ當ツテ、府縣ニ輸出用原料材料配給會社ト云フモノヲ政府ノ懲懲ニ依ツテ作ラセルト云フ風ナ御話ガアツタノデアリマス、ソレニ基イテ大阪府デアルトカ、兵庫縣デアルトカ、神奈川縣デアルトカ、サウ云フ所デ

ハソレト云フ風ナ特殊ノ會社ヲ今作リツツアルヤウデアリマス、ソコデ各府縣ニ於テモ其ノ當業者ノ要望ニ依ツテ各府縣ガ其ノ輸出用原料材料配給會社ノ一定資本金ニ對シテ、若シモ損失ガアツタ場合ニ於テハ損失補償ト云フ風ナ制度ヲ設ケテ損失ヲ補償スルト云フ風ナコトヲヤル計畫デアルヤニ聞イテ居リマス、併シ是等ノ會社ハ特殊「リンク」制ニ依ツテ政府カラ輸入ヲ許可サレタノデアルカラ、恐ラク缺損ヲ見ルヤウナコトハナイトハ思ヒマスケレドモ、若シモ業界ノ非常ナル波瀾トカ色々ナ其ノ他ノ事由ニ依ツテ、其ノ各府縣ニ作ツタ所ノ其ノ原料配給會社ガ缺損シタ場合ニ各府縣ガ其ノ會社ト府縣トノ契約ニ基イテ損失補償ヲヤツタ場合ニ於キマシテハ、商工省トシテ各府縣ニ其ノ損失額ダケヲ補償ワスルトカ云フ風ナ意向ガアルカドウカ、此ノ點ヲ御同致シタイと思ヒマス

○寺尾政府委員 御話ノ如ク原料材料ノ配給會社ニ對シテ各府縣ニ於テ若シ會社ニ損失ノアル場合ニハ其ノ損失ヲ補償シテヤルト云フヤウナ計畫ガアルトハ聞イテ居リマス、唯併シソレヲ更ニ其ノ府縣ガ損失ヲ負擔シタ場合ニ、政府トシテソレニ對シテ補償ヲスルカドウカト云フヤウナコトハ實ハ

マダ考ヘテ居リマセヌ、具體的ニドウト云
フヤウナコトヲ考ヘテ居ルノデハゴザイマ
セヌガ、是ハ十分商工省トシテモ相當考慮
致シタイト思ヒマスガ、只今ハ具體的ニド
ウスウト云フ所マデ決ツテ居ラヌト云フコ
トヲ御答申上ゲテ置キマス

○木村委員 是等ノ會社ハ商工省ノ御方針
ニ依ツテ所謂國策ニ副ツテ輸出ノ振興ヲ圖
ルト云フ建前カラ其ノ特殊「リンク」制ニ依
ツテソレヲ適正ニ運用スル爲ニ、即チ此ノ
原料ノ配給ヲ圓滑ナラシムルト云フ目的ヲ
以テ各府縣ニ設立ヲ德憑シタト云フ會社ノ
性質ダラウト思フノデアリマスカラ、若シ
モ其ノ府縣ニ於テ其ノ特殊會社ニ損失ヲ補
償シタ場合ニ於キマシテハ、是ハ國トシテ
モ相當ニ考ヘテヤルコトガ適當デハナイカ
ト斯ウ考ヘマスノデ、サウ云フ場合ニ於キ
マシテハ適當ニ商工省トシテモ補助金ヲ下
附スルト云フヤウナコトニ御考置キヲ願ヒ
タイト思フノデアリマス

次ニ此ノ工業組合法ノ改正ノ條項ニ付キ
マシテ、少シク御伺ヲ致シテ見タイト思ヒ
マス、此ノ度ノ改正案ノ第八條ノ四ハ此ノ
八條ノ規定ニアリマスル命令ヲ商工省ガ致
シマシタ場合ニ於テハ其ノ工業ノ新シテ設
備ノ擴張ヲ許可事項トスルト云フ風ナ規定

デアルノデアリマスガ、是ハ換言スレバ、
工業組合ノ地區内ニ於ケル所ノ「アウトサ
イダー」ヲ其ノ統制ニ服サシムルト云フヤ
ウナコトダラウト私ハ考ヘルノデアリマス
ガ、工業組合ノ組織ノナイ地方ニソレト同
種ノ工業ヲ新設スルト云フ場合ニ於テハ、
此ノ規定ヲ以テモ尙ホ取締ヲスルト云フコト
ガ根本デハナカラウカ、斯ウ云フ風ニ考ヘ
ルノデアリマスガ、マア考ヘ様ニ依リマシ
テハ或ル大資本ノ工業カラ或ル特定ノ工業
ノ第八條ノ命令ニ依ツテ工業組合ヲ組織シ
テ居ル地方ニ於キマシテハ、其ノ地區内ニ
新設、増設スルト云フヤウナコトヲ許サナ
イト云フ場合ニ、而モ生産ノ統制ハヤツテ
居ルケレドモ、此ノ原料ヤ材料ノ配給ト云
フモノハヤツテ居ラナイ、原料、材料ノ配
給ヲ聯合會ヲ組織シテヤルト云フ場合ニ於
キマシテハ、是ハドウモ工業組合ノ組合員
タラズンバ、原料、材料ノ配給ヲ受ケルコ
トガ困難デアリマスガ、サウ云フ風ナ心配
ハナイデアリマセウカ、生産ヲ制限スルヤ
ウナ統制ヲ實施スル場合ニ於テ、組合ノ組
織ノ無キ地方ニ於テ此ノ法ヲ潜ルヤウナ新
設ト云フ風ナコトガ想像シ得ルノデアリマ
スガ、此ノ點ニ於テハサウ云フ心配ハナイ
ノデアリマスガ、御伺ヲ致シタイト思ヒマ

ス
○東政府委員 御話ノ通り第八條ノ統制命
令ノ出マシタ工業組合ノ地區ガ一部ニ限
ラレテ居リマス場合ニハ、其ノ地區外ニ於テ
新ニ設備ヲスルモノハ此ノ規定デハ抑ヘラ
レナイコトニナルノデアリマス、併シナガ
ラ實際ノ問題ト致シマシテハ、若シサウ云
フ虞ノアリマス場合ニハ、其ノ工業組合ノ
地區ヲヤハリ全國ニ之ヲ擴張スルト云フヤ
ウナ措置ヲ執ラナケレバナルマイト考ヘテ
居リマス
○木村委員 此ノ條文ノ規定ノコトハ只今
ノ局長ノ御話デ能ク分ツタノデアリマス
ガ、斯ノ如キ事態ガ生ジタ場合ニ於テ、工
業組合ノ地區ヲ擴張シテ、其ノ新設セント
スルヤウナ地方ヲ、或ル特定ノ工業組合ノ
地區ニ包含セシメルト云フ風ナ御考ヲシイ
ノデアリマスガ、サウ云フコトデハ間ニ合
ハナイト思フノデアリマシテ、寧ろ第八條
ノ命令ヲ出スヤウナ場合ニ於テハ、其ノ當
該工業ニ關スル設備ノ擴張ハ全國ニ許
可事項トスルト云フコトノ方ガ適當デハナ
イカト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ
如何様ニ御考デアリマスガ

○東政府委員 或ル一地方ノ工業組合ニ對
シテ統制命令ヲ出シテ居リマス場合ニ、他
ノ地方ニ於テ新ニ設備、新設又ハ擴張スル
モノガアリ得ルト云フ場合ハ、比較的少イ
ノデハナイカ、ト申シマスノハ、第一、第
八條ノ統制命令ナルモノガサウ云フ逃ゲ道
ノアル餘地ヲ殘シテ出シタノデハ、效力ガ
ナイノデアリマスガ、多クノ場合ハ、其
ノ地區ハ殆ド實質上之ヲ地區外ニ置イテモ
差支ノナイト云フ地區ニ行ハレテ居ルカト
考ヘラレルノデアリマシテ、實際問題ト致
シマシテハ、其ノ工業組合ノ地區内ニ限ツ
テ差支ナイモノト考ヘマスガ、併シソレデ
ハिकासト云フ見込ノアリマス場合ハ、勿
論サウ云フ設備ヲ始メテカラヤツタノデハ
間ニ合ヒマセヌノデ、前以テ其ノ點ハ十分
調査致シマシテ、必要ガアレバ地區ヲ擴張
スル、斯ウ云フコトヲ專前ニ取リタイト考
ヘマス

○木村委員 次ニ第三十三條ノ二ノ規定デ
アリマスガ、小工業者ハ工業小組合ヲ組織
シ得ル、而シテ其ノ小工業者ノ範圍ニ關シ
マシテハ「勅令ヲ以テ之ヲ定ム」ト云フコト
ガアルノデアリマスガ、先程モ前質問者ニ
對スル御答辯ニ、一万圓若シハ二萬圓程
度ノ資本金ノ業者デアルト云フ御話ガアツ
タノデアリマスガ、工場ノ種類ニ依リマシ
テハ、一万圓デモ相當ノ生産力ヲ有スル工

場モアリマセウシ、又二万圓デモ極ク僅カ

ノ生産シカヤリ得ナイト云フヤウナ工場ノ

種類モアラウト思フノデアリマスガ、此ノ

工業者ノ資格、範圍ト云フ風ナモノニ關シ

マシテハ業種別ニ其ノ範圍資格ト云フモノ

ヲ一々定メルコトニ相成ツテ居ルノデアリ

マスカドウカ、其ノ點ヲ御伺致シマス

○東政府委員 御話ノ通り事業ノ種類ニ依

リマシテ、必ズシモ一定ノ資本金額ヲ以テ

小工業者ノ範圍ヲ決メルト云フコトハ、實

情ニ副ハヌ場合ガアルカトモ考ヘマスノ

デ、是ハ先程モ申上ゲマシタヤウニ、實情

ニ即シテ必要ガアレバ、業種ニ依ツテ最高

ノ資本金額ヲ違ヘルト云フコトモ、致サナケ

レバナラスカト考ヘテ居リマス

○木村委員 サウシマスト勅令ニ依ツテハ

大體一本建デ行カウ、斯ウ云フ御考デアリ

マスカ

○東政府委員 勅令ニ依リマシテ、業種ニ

依リマシテハ例外的ニ資本金ヲ違ヘテ認め

ルト云フコトヲ致サナケレバナライカト

考ヘテ居リマス

○木村委員 ソレカラ渡邊委員ノ先程ノ局

長ニ對スル質疑應答ヲ伺ツタ時ニ、工業小

組合ヲ組織致シマスル地區ト申シマスカ、

小組合ニハ地區ガナイト云フヤウナ御答辯

ダト記憶致シマスガ左様デゴザキマスカ

○東政府委員 サウデス

○木村委員 果シテサウデアリマスト、工

業小組合ヲ作ル場合ニ於キマシテハ從來此

ノ改正案ノ施行以前ニ組合ヲ作ツテ居ル小

サナ工業者ガ、此ノ法ノ適用ニ依ツテ脱退

致シマシテ、工業小組合ヲ作ルト云フコト

ニナツテ來ルダラウ、斯ウ考ヘマスガ、ソ

コデ從來業態ニ依リマシテハ地區ヲ接シテ

ソレ／＼ノ同ジ業種ノ工業者ガソレ／＼工

業組合ト云フモノヲ組織シテ居ル例ハ全國

澤山アリマス、サウ云フ場合ニ於キマシテ

此ノ小組合ヲ組織スルモノハ別ニ地區ヲ限

定サレテ居ラナイ、從來下ノ工業組合ニ屬

シテ居ル業者デアツテモ一ツノ小組合ヲ十

名以内ナラバ作ルトガ出來ルト云フ場合

ニ於キマシテハ、從來ノ工業組合ハソレ／＼

地區ヲ設ケマシテ、其ノ地區ニ依ツテ各、

組合費ノ徴收或ハ其ノ他色々ノ統制ヲ其地

方ノ實情ニ應ジテヤツテ居ルト考ヘマス、

或ハ聯合會ヲ組織シテ、全國ヲ一地區トシ

テヤツテ居ルト云フ統制モアリマセウシ、

又其ノ組合自體ニ於テ色々々當業者ノ利益

ヲ保護増進スル爲ニ細カイ統制モヤツテ居

ルダラウト考ヘル、サウ云フ場合ニ於キマ

シテ或ル一定ノ地區ヲ有スル工業組合、或

ハ隣リノ地區ノ工業組合ヲ組織シテ居ル者

デ、此ノ小組合ヲ組織スル資格ノ有ル小サ

ナ業者ガ相錯綜シテ一ツノ小組合ヲ作ルト

云フコトデアルト、各ノ工業組合ノ業務

ヲ執行シテ行ク上ニ統制ヲ索ツタリ其ノ他

非常ナ不利不便ガ御互ニアルノデハナイカ、

組合自體ノミナラズ、工業小組合自體デモ

亦サウ云フ風ナ不利不便ヲ蒙ルノデハナ

イカ、而モ工業小組合ハ小組合自體トシテ

又工業組合ノ組合員タルコトガ出來ルト云

フ場合ニ於キマシテ、其ノ小組合ヲ組織ス

ル業者ハ幾ツモノ工業組合ニ從來屬シテ居

タト云フコトモアリ得ルダラウト思フ、先

程モ其ノ問題ニ付テ渡邊委員ニ局長カラ御

答辯ガアツタノデアリマスケレドモ、非常

ナ遠イ地方ノ小工業者ト云フ風ナ極端ナ例

デナクテモ、隣ニ相接シテ居ル所ノ工業組

合ニ於テモ非常ナ不便ト利益、監督上困

ルト云フ場合ガ起ルノデハナイカト云フコ

トガ考ヘラレルノデアリマスガ、左様ニ御

考ニナリマスカ

○東政府委員 小組合ハ人數モ極メテ小人

數デアリマスシ、是ハ總テ最モ緊密ニ共同

經營ヲシテ行カウト云フ譯デアリマスカラ、

非常ニ廣イ地區ニ互ツテ小組合ガ出來ルト

云フコトハ豫想サレナイノデアリマス、二

ツモ三ツモノ工業組合ノ地區ニ跨ツテ、小

組合ガ出來ルト云フコトハ實際問題トシテ

ハ起ラナイト考ヘテ居リマス、又假ニ稀ニ

サウ云フ小組合ヲ作ラウトスルモノガアリ

マシテ、ソレガ只今御話ノヤウニニ統制上

其ノ他非常ニ不都合デアルト云フコトデア

リマスカラ、其ノ小組合ノ設立ヲ許可致

シマセヌカラ、只今ノヤウナ御心配ハナイ

モノト考ヘテ居リマス

○木村委員 尙ホ工業組合ノコトニ付テ御

伺致シマス、或ル特定ノ工業組合ヲ組織シ

テ居リマス業者ノ中ニハ、小サナ業者デア

リマシテモ、幾種類モノ製品ヲ生産シテ居

ル者ガ相當ニアラウト思ヒマス、種類ト云

フト一寸語弊ガアリマスガ、其ノ工業組合

員ノ製品ハ勿論一定ノ製品デアリマス、例

ヘバ人絹織物ニ付テ見マシテモ紋ヲ織ツテ

居ル業者、或ハ朱子ヲ織ツテ居ル業者、或

ハ平手ヲ織ツテ居ル業者ガアル、其ノ紋ヲ

織ツテ居ル業者ガ一ツノ小サナ小組合ヲ作

リ、朱子ノ業者モ、亦平織ノ業者モ同様ニ

小組合ヲ作ル、其ノ場合ニ於テ其ノ何レヲ

モ作ツテ居ル業者ハ三ツノ小組合ニ入レル

ト云フコトハ、先程局長カラモ御答辯ガア

ツタヤウデアリマス、而シテ小組合ヲ組織

スル資格以上ニ大キナ業者、即チ第三十三

條ノ五ニ依ツテ「組合員タル資格ヲ有スル者ハ組合員ノ四分ノ三以上ノ同意ヲ得テ工業小組合ニ加入スルコトヲ得」ト云フコトガアリマスガ、此ノ場合ニ於テ此ノ業者ハ幾ツモノノ小組合ニ加入スルコトガ出來マスカ、假ニ四分ノ三以上ノ同意ガアルナラバ多數ノ小組合ニ加入スルコトガ出來ルカドウカ、此ノ點ヲ伺ヒタイノデアリマス

○東政府委員 只今御話ノヤウニ小工業者ガ二ツ若クハ三ツノ事業ヲ兼業シテ居ルト云フ場合ニ、ソレガ小組合ニ加入スル資格ノアル者デアリマスレバ、二ツ若クハ三ツノ小組合ニ加入スルコトガ此ノ法律ノ建前カラ申シマスレバ出來ル譯デアリマス、サウシテ又ソレガ適當デアツテ何等弊害ガナケレバ是ノ加入ヲ認メテ差支ナイト存ジマス、併シナガラ小工業者、殊ニ小組合ヲ組織スル資格ノアル小工業者ト云フモノハ、實際ハサウ幾ツモノノ兼業ヲシテ居ル者ハ比較的少イノデハナイカ、斯ウ考ヘテ居リマスノデ、實際問題ト致シマシテハ、只今御話ノヤウナコトハ餘リナイノデハナイカ、實際上ソレガ非常ニ弊害ガアルト云フヤウナコトデアリマスナラバ、實際上ノ指導ニ依リマシテ、是ハ適當ニ整理シテ行クコトモ出來ルコトト考ヘテ居リマス

○木村委員 工業小組合ヲ組織シタ場合ニ於テハ、從來工業組合ニ加入シテ居ル者ハ其ノ工業組合ヲ脱退出來ル、勿論工業小組合ハ改メテ工業組合ニ加入スルト云フコトニナルガラウト思ヒマスケレドモ、現在ノ聯合會カラ配給スルト云フヤウナ事態ハ、是ハ現下ノ非常時局ニ際シマシテ一種ノ振興ト云フ建前カラサウ云フ風ニ「リンク」制ヲ施行シテ配給シテ居ル、又一般ノ民需ノ制限ヲスルト云フ建前カラ行キマシテ、此ノ民需ノ方面ノ消費ノ制限ヲサセルト云フ爲ニ原料材料ノ配給ヲ制限スル、斯ウ云フ非常時局ニ於キマシテハ何レモ工業組合ニ入ツテ配給ヲ受ケザルヲ得マセスカラ、此ノ工業組合ニ必ズ入ルト云フコトニ自然ナツテ來ルデアラウト思フノデアリマス、斯ウ云フ風ナ非常時局ハ何時マデモ續クモノトハ考ヘラレナイノデアリマシテ、之ヲ平時ノ狀態ト見テ考ヘル、サウ云フコトヲ考ヘテ參リマス、工業組合ガ何レモ共同ノ施設ヲシテ仕事ヲヤツテ居ルトハ限ラナイ、一種ノ統制組合ノヤウナモノモアリマセウ、サウ云フ場合ニ於テ、此ノ工業小組合ヲ組織シテ、組合ヲ脱退シ得ル、而モ或ル一人ノ相當有力な業者ガ四分ノ三以上ノ同意ヲ得テ工業小組合ニ入ツテ、工業小組合ヲ「リ

ード」シテ行クコトガ出來ルナラバ、相當ニ工業小組合ノ業者モ存在ヲ認メラレテ、仕事ガシ得ルト考ヘルノデアリマス、三十三條ノ五ノ規定ニ依ツテ組合員タルノ資格ヲ有スル者ガ同意ヲ得テ一ツノ工業小組合ヲ作ツテ、「リード」シテヤツテ行ク、其ノ場合ニ於テモ工業組合ニ入ラナクテモ宜イト云フヤウナコトニナツテ參リマス、工業組合トシテ組合費ノ收入ガ減少シタリシテ、組合ノ維持經營ニモ支障ヲ生ズルヤウナ場合ガ起リハシナイカト云フコトヲ虞レルノデアリマス、此ノ點ニ付テハ如何デアリマスカ

○東政府委員 元來、工業小組合ハ現在工業組合ニ入ツテ居ラナイモノヲ主トシテ狙ツテ此ノ制度ヲ設ケヤウトシテ居ルノデアリマス、併シ場合ニ依リマシテハ現在工業組合ニ入ツテ居ル者デモ小サナ業者ハ小組合ヲ作り得ルノデアリマス、或ハ御話ノヤウニ、現在工業組合ニ入ツテ居ル業者ガ相當數脱退シテ小組合ヲ作ルヤウナ場合ニハ、從來アツタ工業組合ガ經營上困難ヲ感ズルトカ、或ハソレガ其ノ工業組合ニ入ラナケレバ統制上非常ナ不都合ガアルトカト云フ場合モアリ得ルト考ヘルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、サウ云フヤウナ場合ニハ其ノ小組合ニ對シテ當該工業組合ニ加入スルコトヲ命ズルコトガ出來ルト云フ規定ヲ第三十三條ノ六ノ第三項ニ置イタ次第デアリマス、サウ云フ場合ニハ小組合ニ對シテ工業組合ニ加入スルコトヲ命ズル積リデ居リマス

○木村委員 大體諒解致シマシタ、先程、工業小組合ヲ作ル小工業者ノ範圍ニ關シテハ勅令ヲ以テ定メラレテアル一定ノ資本金額ヲ規定スルト云フ御話ガアツタノデアリマスガ、其ノ資格ハ金額ヲ以テノミ規定スルノデアリマス、或ル一定ノ設備以下ト云フ風ナ工合ニ設ケナクテハ非常ニ困ルノデハナイカ、例ヘバ資本金額ヲ以テ限定スルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、個人經營ノ如キハ一體幾ラノ資本カト云フコトヲ詳細ニ知ルコトハ非常ニ困難デアリマス、經營者自體ガ自分ノ資本金ニ對シテ明確ナル認識ガナイノデアリマスカラ、之ヲ外部カラ或ル一定ノ資本金ナドト云ツタ所デ、一ツノ「ライン」ヲ引イタヤウナ工合ニ正確ニ限定スルコトハ到底困難ダト思フノデアリマス、サウ云フ場合ニ於キマシテハ業種ニ依ツテノ設備ヲ以テ規定スルト云フヤウナコトモ一ツノ方法ト考ヘラレルノデアリマスガ、總テノ業態ニ互ツテ資本金額ヲ以テ限定スル御考デアリマス、此ノ點ヲ御

伺致シマス

○東政府委員 大體小工業者ノ範圍ハ其ノ業者ノ設備ヲ以テ標準ヲ決メタイト考ヘテ居リマス、併シナガラ之ヲ決メマス場合ニ、例ヘバ機械何臺トカ、工場何坪トカ云フ風ニ決メルコトハ相當困難ガアルト思ヒマスノデ、其ノ設備ヲヤハリ金額ニ見積リマシテ、之ヲ金額デ決メテ行キタイ、資本金額デ決メルト云フ意味ハ其ノ意味デ申上ゲテ居ルノデアリマス

○中田委員 議事進行ニ付テ——只今ノ質問ニ關聯スルコトデアリマスガ、「小工業者ノ範圍ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」ト云フコトニ三十三條ノ二デナツテ居リマスガ、此ノ勅令案ガ出來テ居ル管

ト思ヒマス、若シ出來テ居リマシタナラバ御提出ヲ願ヒタイト思ヒマス

○東政府委員 勅令案ハマダ出來テ居リマセス

○木村委員 勅令案ガ出來テ居ラナイヤウデアリマスカラ、實ハ先程カラ御伺シテ居ルノデアリマス、只今ノ局長ノ御話ニ依リマス、設備ニ關聯シテ金額、斯ウ云フコトデ行キマス、設備ト金額ト二本建デ行カウト云フ御考デアリマスカ

○東政府委員 サウデハアリマセス、設備

ニ投ジタ金額ヲ大約見積リマシテ、ソレデヤツテ行カウト云フ譯デアリマス

○葉梨委員長代理 木村君、一寸御相談シマス、只今ノ中田君ノ議事進行ニ關スル發言ハ今アナタノナサツテ居ル質問ト趣旨ノコトデアリマシテ、結局勅令ノ内容ノ御議論ト思ヒマス、是ハ如何デセウ、若シ諸君ガ同意デアレバ、政府ニ對シマシテ勅令案ノ大綱ダケデモ示シテ戴キマス、大變分リガ早カラウト思ヒマス、政府ハ如何デアリマスカ

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○東政府委員 大綱ダケデゴザイマシタナラバ至急考ヘテ、出來ルダケノモノヲ提出シタイト思ヒマス

○葉梨委員長代理 至急左様御取運ビヲ願ヒマス

○木村委員 大臣ニ對スル質問ヲ保留致シマシテ、此ノ程度デ止メマス

○葉梨委員長代理 宜シウゴザイマス——

鹽川正藏君

○鹽川委員 簡單ニ一二ノ點ヲ御尋致シタイト思ヒマス、工業組合ガ現時ノ時局ニ於テ非常ナル働キヲ爲シテ居ルコトハ工業者一般ノ認メル所デアリマス、殊ニ原料ノ不足シテ居リマス今日ニ於テハ、此ノ工業組

合ニ依ツテ原料ノ供給ヲ受ケテ居ルノガ實際ノ有様デアリマス、原料其ノモノノ供給ハ組合カラ受ケテ居リマスガ、然ルニ其ノ各業者ニ渡リマス所ノ原料ノ價格ニ付テハ政府ノ方デハドウ云フ風ナ御方針デ御扱ヒニナツテ居リマスカ、其ノ價格ノ點ニ付テ御伺シタイト思ヒマス

○東政府委員 工業組合ニ對シテ配給スル原料ノ價格ニ付キマシテハ、御承知ノ通り物ニ依ツテハ價格ヲ公定シテアルモノモアリマスルシ、又價格ヲ公定シテ居ナイモノモアリマスガ、今後ハ配給制度ヲ漸次整備シテ行キマス同時ニ、其ノ價格ニ付テモ出來ルダケ公定制度ヲ採用シテ其ノ配給ヲ圓滑ニスルト同時ニ、價格ノ昂騰ヲ防止シテ行キタイト考ヘテ居リマス

○鹽川委員 分リ易ク實例ヲ取ツテ申シマスト、或ル工業組合ガ原料ノ配給ヲ受ケテ、サウシテ其ノ組合カラ組合員タル各個人ニ原料ヲ配給致シマス、其ノ場合ニ其ノ配給ヲ受ケマシタ原料ノ價格ガソレ／＼ノ會社ニ依ツテ違フ、甲ノ會社ト乙ノ會社ガ單價ガ違ツテ居ル、斯ウ云フヤウナコトガ事實アルノデアリマス、ドウモ斯ウ云フヤウナ事柄ハ今日物價公定價格ガ出來テ居ツテ、サウシテ製品ノ方ニ於テハ統制ガ出來テ居

ル、然ルニ其ノ原料デアアル品物ニ付テハ是ハソレ／＼同じ工業組合ノ配給デアリナガラ値段段ガ違フト云フコトニナレバ、甚ダソレハ不公平ナヤリ方ニナル、公定價格ト云フモノガ決ツテ居レバヤハリ同じ工業組合カラ配給スルモノデアレバ、甲乙丙ノ會社ニ同一價格ヲ以テ配給スルト云フコトガ、是ハ當リ前ノヤウニ思フノデアリマス、然ルニ事實サウ云フヤウナ風ニ行ハレテ居ラスト云フコトヲ聞イテ居ルノデアリマスガ、サウ云フヤウナ事柄ハ政府トシテハ御認ニナツテ居ルノデアリマスカドウカ、一應御伺致シマス

○東政府委員 只今ノ御話ノヤウニ或ル工業組合デ配給シテ居ル原料ナリ、材料ガ其ノ配給スル度ニ其ノ生産者ナリ、或ハ買入先ナリニ依ツテ値段段ガ違フ爲ニ常ニ値段段ガ違ツテ居ルト云フコトガ實際ニアルト云フコトハ私ハ聞イテ居リマセス、併シ若シサウ云フコトガアルト致シマスレバ、ソレハ宜シクナイト思ヒマス、先程申上ゲマシタヤウニ吾々ハ今後配給ノ統制ニ付テモ、益、其ノ機構ヲ完備スルト同時ニ、配給ノ圓滑ヲ圖ツテ從來ノ方法ニ於テ缺點ガアリマスレバ、之ヲ是正シテ行カナケレバナラスト思ツテ居リマス、隨テ値段ニ付キマシテモ、サウ

云フコトノナイヤウニ今後之ヲ是正シテ行
キタイト考ヘマス

○鹽川委員 私が只今申上デマシタノハ、
其ノ實例ハ紙ノ原料デアル「バルプ」ニ付テ
サウ云フコトガアルノデアリマス、ソレハ事
情ヲ聞イテ見ルト、詰リ既ニ王子製紙カラ
長イ間取引ヲシテ居ツタ結果、一方ノ會社
ハ從來ノ單價デヤツテ居ル、或ハ今度此ノ
工業組合カラ配給ヲ受ケマスル乙ノ會社ハ
新シイ契約デアル、斯ウ云フヤウナ契約ノ
新舊ノ、時期ニ依ツテ其ノ内容ガ變ツテ居
ル、斯ウ云フコトニ基因ヲシテ來ルト思フ
ノデアリマス、併シナガラ今日ハモウ既ニ
物價ノ統制ヲシ、販賣ノ價格ヲ統制ヲシテ
居ル以上ハ、サウ云フヤウナ從來ノ情實ニ
因ハレテ産業ノ革新ヲ圖ル時ニ於テハ、是
ハモウ從來ノ因縁情實ト云フヤウナモノハ
或ル程度マデハ切捨テナケレバナラス、斯
ウ云フ時期ニ私ハ至ツテ居ルト思フノデ
アリマス、サウ云フ譯デアリマスカラ、只
今工務局長ハサウ云フ風ナ不合理ナコトハ
必ズ是正スルト云フ御話デゴザイマシテ、
私モ非常ニ同感ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、
ドウカサウ云フヤウナ事柄ニ付テハ情實或
ハ色々因縁モアリマセウガ、サウ云フヤウ
ナ事柄ハ此ノ際斷乎トシテ之ヲ改革シテ載

キタイ、斯ウ云フ風ニ御願致シマス

ソレカラモウ一ツ簡單デアリマスガ、ソ
レハ昨年古銅ノ配給統制會社ト云フモノガ
出來マシテ、古銅ハ之ヲ隨意ニ賣買スルコ
トガ出來ヌ、統制會社ニ於テ之ヲ總テ取纏
メテ行クト云フヤウナコトニナツテ居ルノ
デアリマスガ、併シ此ノ會社ニ對シマシテ
工業組合ノ方カラ配給ヲ申込ム、如何ニモ
其ノ配給ノ量ト云フモノハ甚ダ少イ、是モ
或ル工業組合カラノ請求デアリマスルガ、其
ノ實況ヲ申シマスルト昨年ノ十二月四百七
十兩ノ配給ヲ請求シタノデアリマスガ、ソ
レニ對シテ統制會社ハ僅ニ二十兩ノ配給ヲ
シタ、而モ其ノ中六兩餘リト云フモノハ是
ハ使用ニ堪ヘザルモノデアルト云フノデ、
又會社ノ方ニ御返シラシタ、斯ウ云フノガ
十二月ノ實況デアリマスガ、一月ニナツテ
ハ五百三十兩ノ要求ヲシタ、之ニ對シテ僅
カニ三十兩シカ配給ガナイ、此ノ組合ハ約
一万ノ従業員ヲ持つテ居ルノデアリマスガ、
是バカリノ配給デハ丁度二日カ三日働ケバ
一月分ノ材料ハ無クナツテシマフト云フヤ
ウナ事情ニナツテ居ルノデアリマス、ドウ
云フ譯デ統制會社ニサウ云フ風ニ荷物が寄
ツテ來ナイノカ、古銅ガ集マラスノカ、斯
ウ云フ實情ヲ探ツテ見ルト、商工省ノ方デ

古銅ノ價格ヲ決メテアル、其ノ價格ト云フモ
ノガ百「キロ」百二圓ト決メテアルノデアリ
マス、サウ云フヤウニ非常ニ値段ガ安イ、
此ノ會社ガ出來ル前ニハ或ハ二百圓モシテ
居ツタト云フヤウナ高イ値段デアツタノ
ガ、急ニ安クシテシマツタト云フ爲ニ賣ル
人ガナクナツテシマツタ、隨テ荷物ガ此ノ
統制會社ニ集マツテ來ナイ、斯ウ云フ狀況
ニナツテ居ルノデアリマス、今日ノ場合業
者ハ勿論値段ノ不當ニ高イト云フコトハ是
ハ迷惑ヲスル譯デアリマスケレドモ、併シ
ナガラ如何ニモ此ノ値段ガ安過ギテ荷物ガ
集マラスト云フ爲ニ、多數ノ職工ヲ擁シテ
空シク遊ンデ居ル、斯ウ云フヤウナコトハ
生産擴充ヲ必要トスル今日洵ニ時勢ニ逆行
スルヤリ方デアルト思フノデアリマス、其
ノ結果ト致シマシテ一面ニ於キマシテ閣取
引ガ行ハレテ居ル、今日閣取引ノ相場トシ
テハ百六十圓位ハシテ居ル、斯ウ云フヤウ
ナ實情デゴザイマス、斯ウ云フヤウナ事柄
ニ對シテ、如何ニシテ荷物ヲ集メテ行ク
カ、兎ニ角荷物ヲ集メルト云フコトガ先決
問題デアル、然ラズンバ之ニ附隨シタ各種
ノ工業ト云フモノガ皆仕事ノ完成ヲスルコ
トガ出來ヌ、今日ノ場合斯ウ云フヤウニナ
ツテ居ルノデアリマスガ、荷物ヲ統制會社

ガ集メル集荷ノ方法ニ付テハ、當局ハドウ
云フヤウナ御考ヲ持つテ居リマスカ、其ノ
點ヲ御伺シタイト思ヒマス

○東政府委員 銅ハ全體トシテ非常ニ不足
シテ居ルノデアリマシテ、其ノ配給ガ中々
希望通り行ツテ居ラスノデアリマスガ、古
銅ニ付キマシテ最近其ノ集マリガ惡イト云
フ御話モ聞イテ居リマス、又其ノ原因ガ値
段ガ安過ギルカラデアルト云フヤウナ御意
見ノアルコトモ私共モ聞イテ居リマス、廢
品ノ回收ニ付キマシテハ、銅ニ限ラズ今後
之ヲ組織的ニ殘ラズ回收シテ、十分之ヲ利
用シテ行キタイト云フコトヲ考ヘマシテ、
今調整局ニ於キマシテ研究ヲ致シテ居ルノ
デアリマスガ、若シ値段ガ安過ギルト云フ
コトデアリマスナラバ、其ノ點モ十分考慮
ハ致サナケレバナラスト思フノデアリマス
ケレドモ、一方銅ノ相場ト云フモノヲ全體
トシテ著シク引上ゲルト云フコトニナリマ
シテハ、是亦生産費ヲ一般ニ引上ゲ、影響
スル所ガ多イノデアリマスカラ、ソコ等ノ
點ハ十分考慮シナケレバナライト考ヘテ
居リマス

○葉梨委員長代理 鹽川君ニ御相談申上デ
マス、アナタノ御要求ニナツテ居リマス臨時
物資調整局長ノ竹内可吉政府委員ハ再々

請求シテ居ルノデアリマスガ、遂ニ出席
ガゴザイマセヌ、此ノ儘デ質疑ヲ御續ケニ
ナリマスカ、ソレトモ出席ヲ待ツテ御質疑
ニナリマスカ——委員長トシマシテハ、是
ハ大切ナ問題デアリマスカラ物資調整局次
長ノ責任者ノ答辯ヲ必要トスルモノト認メ
テ居ルノデアリマス、再々要求シテ居ルノ
デアリマスガ、未ダニ出席ガナイノデアリ
マス、仍テ此ノ際午後五時マデ暫時休憩致
シマス

午後四時二十三分休憩

午後五時七分開議

○森田委員長 開會シマス——鹽川君

○鹽川委員 只今物資調整局次長ガ御見エ
ニナリマシタカラ、簡單ニ御尋致シマス、
先程工務局長ニ詳シイコトハ御尋致シタ譯デ
アリマスカ、其ノ要點ハ昨午古銅統制會社
ト云フノガ設立致サレマシテ、古銅ヲ全部
此ノ會社ニ於テ取集メテ、サウシテ各工業
組合ヘ配給サスルト、斯ウ云フ風ニ機構ガ
作ラレタノデアリマスカ、其ノ古銅統制會
社デ集メマス所ノ銅ノ數量ハ甚ダ僅少デア
リマシテ、需要ニ對シテ僅ニ一割乃至二割
ノ割合ニナツテ居ルノデアリマシテ、非常
ニ工業組合ノ方ハ其ノ材料不足ノ爲ニ已ム
ヲ得ズ職工ナドモ遊ンデ居ル、斯ウ云フヤ

ウナ狀況デアリマシテ、今日生産擴充ヲ最
モ必要トスル時ニ於テ斯ウ云フヤウナ事情
デアルト云フコトハ洵ニ遺憾ナコトデア
リマス、ナントカシテ此ノ古銅配給會社ニ
モット古銅ヲ集メル方法ハナイモノカト云
フ點ニ付テ工務局長ニモ御質問シタ譯デア
リマスカ、ソレニ對シテモット銅ヲ集メル
方法ニ付テハ色々考究シテ居ル、斯ウ云
フヤウナ御答辯デアリマシタガ、之ニ付テ
或ハ古銅會社ニ於テ買上ゲル値段ヲモウ少
シ上ゲテ見ルトカ、如何ニモ今日ノ相場ト
云フモノガ實際ト遠ザカツテ居ル、闇取引
ハ非常ニ高ク行ハレテ居ル、ソレデアルカ
ラモウ少シ此ノ價格ヲ上ゲテ見タラバ、銅
モモット集リハセヌカ、或ハ又其ノ他材料
ヲ集メル所ノ方法ヲ御研究ニナツテ居レバ
其ノ方法ニ付テ御伺ワシタイト、斯ウ思フ
ノデアリマス

○竹内政府委員 値段ヲ上ゲマスルコトニ
依リマシテ品物ヲ集メル、是モ一ツノ考ヘ
方ダラウト思ヒマス、サウ云フ趣旨ノ御意
見ヲ度々御聽カセヲ實ハ願ツテ居リマス、
併シ御承知ノ通り此ノ經濟界ノ今後ノ動キ
ヲ見マス、一番大切ナ問題ハドウシテモ
物價政策デハナイカト斯ウ思フノデアリマ
ス、隨テ私共ノ考トシマシテハ、物價政策

即チ低物價政策ヲ今後執ツテ行クト云フコ
トニ支障ヲ來スヤウナコトハ、成ベク避ケ
タイト考ヘテ居ルノデアリマス、銅ニ付テ
考ヘテ見マス、御話ノヤウニ古銅ノ集荷
ノ狀態ガ、今日マデ實ハ豫期ノ如ク參ツテ居
ラナイノデアリマス、此ノ原因ヲ考ヘナケ
レバナリマセヌガ、色々ナ原因ガゴザイマ
ス、其ノ中ニ政府ガ建値ヲ上ゲララウ、
斯ウ云フ風ナ考ヘ方ガ一ツノ期待ト申シマ
スカ、サウ云フモノガ相當一部ニハ強クア
ツタヤウデアリマス、斯ウ云フ考ガアリマ
ス間ハ品物ガ中々集マラナイ、斯ウ私共ハ
實ハ考ヘテ居リマシタ、併シ昨今政府ノ物
價政策ガ大分徹底シテ參リマシテ、サウ云
フ期待ハ當ラナイト云フヤウナ考ヘ方ガ大
分行キ渡ツテ參リマシテ、以前ト比シマス
ト集荷狀態ハ好クナル傾向ト見テ居リマ
ス、隨テ此ノ價格政策ヲ古銅ヲ集メル上ニ
於キマシテ探ルト云フコトハ私ハ避ケル方
ガ大局カラ見テ宜イノデハナイカト、斯ウ

考ヘテ居ルノデアリマス、一ニ業界ノ認識ヲ
深メテ貰ハナケレバナラナイノデアリマ
ス、實ハ配給統制ヲシマシタ結果、一部ニ
偏在シテ居ル、露骨ニ申シマスレバ貯ヘテ
居ルト云フヤウナ方面カラ、結局此ノ政
府ノ方針ガ分ツタ爲ニ品物ガ出テ來タト云

フヤウナ例ハ他ノ品物ニモアルノデ、私共
ハ只管ソレヲ期待シテ居リマス、尙ホ此ノ
古銅統制會社ノ仕事ノヤリ方、竝ニ其ノ手
足ニナリマスル特約店ノ指導監督、督勵ト
云フヤウナコトニ付キマシテハ、今後一層
努力シテ行カナケレバナラヌト考ヘテ居リ
マス

○鹽川委員 私が御尋申上ゲマシタ趣旨
ハ、今日不足シテ居ル所ノ古銅ヲドウ云フ
方法ニ依レバ集マルカト云フコトヲ御研究
願ツテ、サウシテ十分ニ集荷ノ出來ルヤウ
ニ希望ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、値段
ヲ上ゲルト云フヤウナ事柄ハ、別ニ私ハ希
望シテ居リマセヌ、ドウカドウ云フ方法デ
モ宜シイカラ、十分ニ御研究ニナリマシテ、
今日此ノ缺乏シテ居リマス古銅ガ十分ニ集
ツテ、サウシテ工業組合ガ其ノ能力ヲ十分
ニ擧ゲルヤウニシテ戴キタイ、斯ウ云フ趣
旨デ申上ゲタ譯デアリマス

○森田委員長 中村君

○中村委員 一般ノ質問ハ私ノ順序ガ來タ
時デ結構デゴザイマスカ、此ノ際諸君ノ御
許シヲ得マシテ、調整局ノ次長ガ來テ居ラ
レマスノデ、物資ノ調整ニ關シテダケ特ニ
質問ヲ御許シヲ得タイト思フノデアリマス、
只今鹽川委員カラ銅ニ關スル物資ノ調整ニ

付テノ御質問ガゴザイマシタガ、私ハ鐵鋼ニ關シテノ質問ヲ致シタイノデアリマス、只今次長モ物價ノ調整其ノ他ニ付キマシテ、極メテ重大デアルト云フヤウナ御意見モアツタノデアリマスルガ、先日ノ絹織物ノ價格統制等ノ問題ニ付テハ、商工省ノヤリ方ニ對シテ、業者ノ者ナドハ非常ニ色々ノ不平ヲ言ツテ居ルヤウデアリマス、無論斯ウコトニ付テハ、商工省ノ御役人モ素人ナノデアリマスカラ、色々ノ失敗ガアルノダト思ヒマス、先日ナドハ業者ハ商工省ノ役人ハマルデ素人ガ鰻ヲ料理スルヤウナ工合ニ、向フヲ押ヘレバコツチヘ飛ビ出ス、コツチヲ押ヘレバ向フニ逃ゲテ擲マレナイヤウナ、マルデ見チャ居レス、特ニ絹織物ニ對シテハ、二月モボンヤリシテ見テ居ツテ、愈上ツタノデ泡ヲ食ツテ二月前ニ戻スト云フヤウナヤリ方ニ對シテハ、非常ニ憤慨ヲ致シテ居ル聲ガアルノデアリマス、戰時經濟ノ上ニ於テノ極メテ困難ト云フコトハ私達ハ考ヘナイ譯デハナイノデアリマスガ、今中小工業者ノ問題ガ、直接本法案ニ關聯ヲ致シテ問題ニナツテ居ルノデアリマスガ、特ニ此ノ際調整局ニ御尋ヲ致シタイノハ、只今申上ゲタヤウニ、鐵鋼ノ配給ニ付テデア

リマス、先ヅ第一ニ中小工業者ガ鐵材ノ必要ヲ求メマシタ場合ニ於テ、從來ハ鐵ノ小賣店デアリマス所ノ、業者デ謂フ指定特約店、此處ニ買ヒニ行ツテ居ルノデアリマスガ、實際ニ於テ配給機構ガ極メテ不備デアリ、實際ニ於テ鐵ノ配給ノ狀態ガ不圓滑デアリマス爲ニ、小サナ工業者ナドガ求メルヤウナ時材料ガ中々得ラレナイト云フコト依リマシテ、非常ニ小工業者ガ今日困ツテ居リマス、其ノ實情ニ付テハ商工省デモ十分御承知デアルト思フノデアリマスルガ、今日鐵材ノ配給ノ機構ヲ見マスト、指定商ト指定問屋ト指定特約店トノ三段階ニ分レテ居ルヤウデアリマス、此ノ三段階ニ分レテ居ツテ各、自分ノ機能ト云フモノガ別ニナツテ居ルノダト私達ハ思ツテ居リマス、指定商ハ指定商ノ機能ガアリ、卸賣商ハ卸賣商トシテノ機能ガアリ、小賣店ハ小賣店トシテノ機能ガ分レテ居ラナケレバナラスト私ハ思フノデアリマス、然ルニ今日ノ實情ヲ見マスト、其ノ真中ノ卸問屋ト云フモノガ小賣店ヲ拔キニ致シマシテ直接民間ノ實需家ニドシト販賣ヲ致シテ居リマス、此ノ爲ニ今日全國ニ問屋ガ五十五軒、其ノ下ニアリマスル所ノ小賣店特約店ガ三千五百軒アルサウデアリマスガ、

民間ノ中デモ大キナ工場ヲ經營致シテ居リマスル者ナドハ、小サナ小賣店、品物ガ第一配給ニナツテ居ラナイヤウナ特約店ナドニ買ヒニ行カズニ、直接問屋ニ買ヒニ行ツテシマフ、今ノ機構ノ上ニ於テハ、問屋ハ小賣店ニ賣ラウガ或ハ實需家ニ直接賣ラウガ自由ニナツテ居リマスル爲ニ、原料ガ直接小賣店ヲ拔キニシマシテ實需家ニ配給サレテシマツテ居ルヤウナ現狀デアリマシテ、商工省ハ監督機關ト致シマシテ、今日斯ウ云フヤウナ三段階ノ態々分ケテ置イテ、小賣商ト云フモノガ中間デ拔キニナツテシマツテ、直接問屋ト民間トガ賣買ヲスルト云フヤウナ現狀ニ對シマシテ、一體ドウ云フ風ナ御考ヲ持ツテ居ラレルノカ、此ノ點ニ付キマシテノ御回答ヲ得タイト思ヒマス

○竹内政府委員 大體只今御述ニナリマシタヤウナ鐵ノ配給機構ニナツテ居リマスガ、鐵ハ他ノ、例ヘバ釘ヲ例ニ取りマシテモ宜シウゴザイマス、サウ云フヤウナモノト鋼材ト云フモノトハ非常ニ趣ガ違ツテ居リマス、隨テ鋼材ノ配給ヲ總テ小賣店マデ流シテ必ズ其處ヲ通ラナケレバナラスト云フコトニ致シマスコトハ、私ハ是ハ適切デナイイダラウト考ヘルノデアリマス、最近釘ノ統制ヲ始メマシタガ、鋼材デ申シルマスト、大

體中間ノ指定問屋並ニ特約店、之ニ當ルヤウナ者ノ間ノ仕事ノ分野ヲ或ル程度マデ決メテ居リマス、是ハ釘ノヤウナモノデアリマストソレガ出來ルノデアリマス、鋼材ハ小賣ト申シマシテモ釘ヲ百匁買フト云フヤウナ式トハ少シ趣ガ違フノデアリマス、隨テ物資ノ種類ニ依リマシテ配給機構ト云フモノハ色々考ヘテ行カナケレバナラス、斯ウ私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレデハ只今ノ機構ガ全然現在ノ儘デ宜シイカト云フ御尋デアリマス、ソレハ必ズシモ私ハサウ考ヘテ居リマセヌ、段々配給ガ統制サレマスト、今マデ考ヘナカツタヤウナ事柄ガ起ツテ參リマス、只今御話ニナリマシタヤウニ、從來ハ小賣店ヲ通ツテ居ツタモノガ小賣店ヲ通ラナクナルト云フヤウナ傾向ガ茲ニ生ジテ來ルト云フヤウナコトモアルダラウト思ヒマス、又物ニ依リマシテハ逆ニ其ノ間ノモノヲ拔イテシマフト云フヤウナコトモ起ルノデアリマス、隨テ統制ノ強化ニ伴ヒマシテ機構ノ整備ト云フコトハドウシテモ考ヘテ行カナケレバナラス問題デアリマス、隨テ今御話ノヤウニ、若シ現狀ガサウ云フコトデアリマスナラバ、ドウシテモ改善ヲ加ヘテ行カナケレバナラスト思ヒマス、其ノ一ツト致シマシテ、御承知

ノ通り今度共販會社ヲ拵ヘマス此ノ機會ニ私共ハ此ノ配給機構ノ合理化ヲ圖リ、サウシテ指定商ハ指定商、指定問屋ハ指定問屋、又小賣商ハ小賣商トシテ各、其ノ力ニ應ジタ仕事ヲナシ得ルヤウニ指導監督シテ行カナケレバナルマイト云フ風ニ考ヘテ居リマス、具體的ニドウスルカト云フコトハ、共販會社ノ整備ニ伴ツテ考ヘタ方ガ宜シイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○中村委員 無論鐵鋼ニ關シマシテモ色々アルノデ、一概ニハ申サレマセスガ、私ハ一例ヲ鋼材ニ取りマシテ申上ゲタイノデアリマス、只今次長ノ御答辯ニ依リマスルト、場合ニ依ツタナラバ小賣店ヲ拔キニスルト云フヤウナ配給機構モ考ヘナケレバナラスト云フヤウナ御言葉デアリマシタガ、是ガ實ハ大キナ問題ニナルノデアリマシテ、御承知ノ通りニ問屋ヤ指定商ト云フモノノ數ハ極ク僅カデアリマスルガ、最モ數ノ多イノハ特約店、即チ小賣商デアリマシテ、是ガ中間ヲ拔カレルト云フコトデアリマスルナラバ、是ハ非常ニ多クノ業者ニ直接關係ヲシテ來ルノデアリマスルカラ、若シ吾々ハ配給ノ上ニ於テ物資ガ不足ニナリ、サウ云フヤウナ細カイ方面ニ對シテノ配給ガ困難ニナルト云フヤウナ場合ガアルトシマス

ルナラバ、サウ云フヤウナ蛇ノ生殺シニスルト云フヤウナ狀態ニ置カズニ、イツソノコトソレハ配給員ナラバ配給員トカ、煙草ヤ鹽ナラ鹽ノヤウニ、アア云フ風ニ一ツノ大キナ統制會社ナラ統制會社ト云フモノカラ配給機關トシテ働カセルト云フヤウナ方面ニデモ徹底サセルナラソレハ宜イノデス、サウデモナク、現在ノ儘ニ置イテオイテ、サウシテ而モ今日ノ小賣店ト云フヤウナモノヲ生カシテ行クトスルナラバ、ソレハ特殊ナ、例ヘバ造船ノ材料ニスルトカ或ハ車輦ニスルト云フヤウナ大口ノ官廳品、軍需品ト云フヤウナモノニ對シテハ、是ハ無論特約店、小賣店ナドガ扱ヘルモノデハナイノデスカラ、斯ウ云フヤウナモノハ無論問屋ナリ指定商カラ直接軍需工場ナリ或ハ鐵道省ナリト云フ方面ニ材料ヲ配給スルト云フコトニ付テハ問題ハナイノデアリマス、私達ハソレヲ聽カウトスルノデハナイノデアリマス、問題ハ民間ノ必要ナルモノニ對シテハ、今日デハ特ニ小サイ必要ノアルモノデモ、特約店ナドヘ行ツタツテ買ヘハシナイカラト云フノデ、小サナ民需家デモ直接問屋ニ行ツタ方ガ早イト云フヤウナ現狀デアリ、而モ特約店ニハ品物ガ揃ハナイシ、又配給機構ト云フモノガ今日デハ極メテ缺點ガ

アリマスルノデ、何處ニドウ云フ品物ガアツテ、何時是ガ揃フカト云フヤウナコトガ全然分ラナイノデアリマスカラ、今日ノ特約店ト云フモノガ一般ノ民需家カラ注文ヲ受ケマシテモ、其ノ注文ニ應ヘルコトガ出來ナイト云フヤウナ現狀デゴイマスノデ、勢ヒ問屋ノ方ニ行ツテシマフト云フヤウナ關係ニナツテ居ルノデアリマスルカラ、民間ノ必要ナモノニ對シテダケデモ問屋カラ直接販賣ヲスルト云フコトニ對シテハ禁ズルヤウナ配給機構ヲ御考ヘナラナイカドウカ、特ニ私ハ鋼材ニ付テ申上ゲルノデアリマシタガ、サウ云フヤウナコトヲ一ツ御伺シタイノデアリマス

○竹内政府委員 小賣商ヲ全然拔キニスルヤウナ配給機構モ考ヘテ見ヨウト云フヤウナ意味デ私先程御答ヲシタ積リデハ實ハナイノデアリマス、寧ロ考ヘ方ハ逆デアリマス、唯鋼材ニハ特殊ノ事情ガアルカラ必ズ全部小賣商ヲ通スト云フ譯ニハ行クマイト斯ウ申上ゲタノデアリマス、隨テ其ノ前提ヲ御了解下サツタナラバ、アト御述ニナリマシタコトハ大體御了解ヲ得ラレルコトト思ヒマス

○中村委員 今ノ問題ニ付テ引續イデモウ少シダケ質問ヲ致シタイノデアリマス、御承知ノ通り、今日鋼材ノ卸商業組合、更ニ特約店商業組合ト云フモノガ各結成セラレテ居ルノデアリマスガ、恐ラク商業組合ヲ結成サセルト云フコトノ一ツニハ、今日ノヤウニ物資ノ十分ナル配給ヲ受ケラレナイ時代ニ於テ、オ互ヒニ業者間ニ於テ商業組合ガ結成セラレテ居リマス以上ハ、商業組合ト云フモノノ機能ヲ發揮セシメマシテ、商業組合ノ内部ニ於テオ互ヒニ統制ヲ取ルト云フコトガ、私ハ商業組合ト云フモノヲ結成サセテ居ル所ノ一ツノ理由ダト思フノデアリマス、然ルニ卸賣業者ハ卸賣業者ノ一團トシテノ商業組合ガ結成セラレ、小賣業者ハ特約店商業組合ト云フ一團ガ結成サレテ居ルニ拘ラズ、組合ト組合トノ間ニ於テ、此ノ直接ノ取引ニ付テノ配給ニ付テノ調節ト云フモノガ少シモ行ハレナイデ、其ノ組合ノ内部ノ特約店ハ、上ノ卸賣商業組合ノ中ノ自分ノ好キ勝手ナ個々ノモノトノ取引ヲサセルト云フ現狀ニアリマス爲ニ、折角商業組合ト云フモノガ出來テ統制ヲ取ルヤウニナツテ居ルニモ拘ラズ、事實ニ於テハ個々ニ勝手ニ取引ヲ致シテ居リマス爲ニ、内部ニ於テ色々ノ情實ガ湧イテ參リマシテ、商業組合ノ同ジ組合ノ内部デ以テ、或ル組合員ハ非常ニ配給ガ受ケラレルガ、

或ル組合員ハ配給ハ受ケラレナイト云フヤ
ウナ、全ク商業組合トシテノ機能ガ發揮セ
ラレテ居ラナイト云フ現狀ニアルト云フコ
トヲ業者カラ聞イテ居ルノデアリマス、折
角商業組合ヲ作ツテ居リナガラ、何故一體
サウ云フヤウナ個々ノ問屋ト特約店ノ間ノ
賣買ノ統制ヲ取ラズニ放任シテアルノカ、
此ノ點ニ付テモ監督官廳ノ御意見ヲ承ツテ
置キタイト思フノデアリマス

○竹内政府委員 商業組合ヲ作ラシデアリ
マスノハ、各階級ノ配給機關ヲ配給機關ト
シテノ機能ヲ十分ニ發揮セシメヨウト云フ所
ニアルノデアリマス、隨ヒマシテ例ヘバ商
業組合トシマシテハ品物ノ在庫ノ狀況デア
ルトカ、或ハ仕入狀況、或ハ其ノ組合員間ノ
品物ノ融通トカ、或ハ又得意先ノ分野ヲ決
メルト云フヤウナ、色々ナ仕事ヲ是ハドウ
シテモヤツテ行カナケレバナラスノデアリ
マス、是等ノコトハ劈頭ニ申上ゲタ如クニ、
此ノ共販會社ノ設立ニ伴ヒマシテ、全面的
ノ整備ヲ圖ツテ行キタイ積デアリマス
○中村委員 宜シウゴザイマス、後ノ質問
ハ保留ヲ御願ヒ致シマス

○森田委員長 長谷君
○長谷委員 私四點バカリアリマス、一ツ
ハ特許權ノ問題デアリマスガ、特許權ハ物

資デアアルカドウカハ別ト致シマシテ、ヤハ
リ重要ナ國家資源ダラウト思ツテ居リマス
ガ、丁度竹内次長ハ特許局ノ長官ヲナサツ
テ居ラレマシタカラ、此ノ際切實ナ現實ノ
問題ガアリマスノデ、御質問シタイト考ヘ
テ居リマス、工業ニ伴フテ特許ノ價值ノア
ルト云フコトハ言フマデモアリマセヌ、或
ル特定ノ研究ノ結果出タ特許ノ中一部分ガ、
他ノ研究室カラ出タ所ノ特許ノ一部分ニ之
ヲ使用シタ場合ニハ、非常ナル效果ヲ及ボ
スモノガアルノデアリマス、現實ノ問題ト
シテ例ヘテ申シマス、理化學研究所ガ取
リマシタ「パテント」デアリマスガ、是ハ明
礬石ノ處理方法ニ關スル問題デアリマス、
其ノ方法ヲ使ヒマス、非常ニ簡單ニ亞硫
酸瓦斯ニ關スル處理ガ出來マシテ、其ノ結
果非常ニ效果ヲ現ハスノデスガ、不幸ニ
シテ其ノ特許關係ノモノヲ用ヒルコトニ至
ラナイデ、已ムヲ得ズ非常ナ經費ト努力ヲ
掛ケタ違ツタ方法ヲ使ツテ居ルト云フヤウ
ナ會社ガアルノデアリマス、サウ云フヤウ
ナ場合ニハ特許法ニハ自ラ強制徵收ノ方法
モアリマスケレドモ、アレハ先ヅ傳家ノ寶
刀デアリマシテ、斯ウ云フ個人會社關係ニ
於テハ、一方ガ頭ヲ振リマス、之ヲ使用
スルコトガ出來得ナイ、所ガ時恰モ非常時

局デアリマシテ、物資ノ節約ト云フヤウナ
問題カラ見マシテモ、技術ノ點カラ見マシ
テモ、サウ云フヤウナモノヲ完全ニ活カシ
テ行カナケレバナラスト思ハレルノデアリ
マスガ、之ヲ何等カノ形式ニ於テ、例ヘバ
審査委員會ノヤウナモノヲ設ケラレテ、甲
ノ會社ガ乙ノ持ツテ居ル特許ノ一部分ガ特
ニ必要デアルト云フ場合ニ於テハ、之ニ相
當ノ干涉ヲセラレテ、其ノ有效部分ガ實際
化セラレルヤウナ方法ハナカラウカト存ジ
マスガ、御意見ヲ承リタイト思ヒマス
○竹内政府委員 特許權者ノ意思ニ反シテ
ト申シマス、ソレヲ他ノ者ニ使用セシメ
ルト云フコトハ、特定ノ條件ノ下ニ法律ガ
明ニ書イテ居ル所デアリマス、隨テ其ノ法
律ニ揭ゲテ居リマスル條件ヲ滿シマシタナ
ラバ、此ノ法律ガ適用サレル譯ダト思ヒマ
ス、即チ國家ノ命令ト申シマス、強制的
ニ使用セシムル場合ハサウ云フ場合ダラウ
ト思ヒマス、併シ實際問題トシテハ、サウ
難シク考ヘナクテモ、實際ソレガ今日物資
ノ不足ノ際ニ國家的ニ必要ナモノデアリマ
スナラバ、強制ヲ用ヒズシテソレヲ使用セ
シムルト云フヤウナコトハ私ハ考ヘラレナ
イコトハナイ、斯ウ思フノデアリマス、ソ
レハドウ云フ方法カト云フコトニナリマス

レバ、結局行政上ノ運用ト申シマス、物
資擔當ノ部局デ此ノ兩者ヲ話合ヲサセルト
云フヤウナコトハヤリ得ルコトダト思ヒマ
ス、隨テ御話ノ點ハ具體的ノ問題ヲ伺ヒマ
セヌト適確ナコトハ申上ゲラレマセヌケレ
ドモ、大體ハサウ云フ心持デ私共居ルヤウ
ナ次第デアリマス

○森田委員長 商工大臣ガ見エマシタカ
ラ……
○長谷委員 私ノハ是ダケデスカラ……
○森田委員長 サウデスカ、ソレデハ成ベ
ク簡單ニ願ヒマス
○長谷委員 今ノ問題ハ行政官廳ガ中ニ介
在シテモ、行政官廳ノ手デハ負ヘナイト云
フ形デ今日マデ來テ居ル、簡單ナ問題デシ
タラ私ハ問題ニ致シマセヌ、重要ナ國家利
益デアアルカラ問題ニ致シテ居ルノデアリマ
ス、サウ云フ風ナ場合ニ於テ、之ヲ相當ノ
力ヲ以テ強制セラレルカ、強談判ナサルヤ
ウナ方法ヲ執ツテ戴カナイト云フト、實際
ニ大切ナル所ノ研究ノ結果ト云フモノハ葬
ラレテ行ツテ居リマス、サウ云フ場合ニ於
テノ中立チ役ヲ政府ノ方ニ於テ相當是カラ
強行シテ行カレバナラヌ問題ダト考
ヘテ居リマス、簡單ニ解決ノ著ク問題デハ
ナカツタノデアリマス、サウ云フモノガ餘

所ニモゴザイマスカラ、一例トシテ單ニ「アルミニウム」製造關係ノコトニ關聯シテ申上ゲタケデアリマス、一應是デ打切ツテ、大臣ニ對スル御質問ヲ御進メ願ヒマス

○原委員 先程二三ノ方カラモ現在ノ我國ニ於ケル組合ノ種類ガ非常ニ數ガ多ク複雑デ、工業者ト云ハズ、商業者ト云ハズ、幾ツモノ組合ニ入ラナケレバナラス、中ニハ十幾ツモノ組合ニ入ラナケレバ仕事ガ出來ヌヤウナ實際ノ狀態ニアリ、非常ニ複雑ナ狀態ニナツテ居ルト云フヤウナ意見モ出テ居ルノデアリマスガ、現在實際商業、工業方面ノ總テガ此ノ組合ニ關聯ラシテ居ル、是等ノ業者ノ總テガ少クトモ一ツ二ツノ組合ニ入ツテ居ナイモノハナイト云フヤウナ實情デアリマシテ、結局商工行政、經濟機構ノ問題ト云フヤウナコトハ、此ノ組合行政ノ總テアルヤウナ感モ致スノデアリマシガ、左様ナ工合ニ非常ニ複雑ナ關係デアリ、隨テ無駄モアレバ、迷惑ラシテ居ル人モアル、殊ニ單ニ商工省關係ノ組合ダケデナク、之ニ加フルニ産業組合ノ方カラモ特色複雑ナ問題モ起ツテ來ル、例ヘバ産業組合ガ殆ド商工業者ト同ジヤウナ業態ヲ成シテ、市中ニ於テ物ヲ販賣スル、斯様ナ際ニ於テハ商業組合トノ關係ニ於テ、或ハ同業

組合トノ關係ニ於テ色々複雑ナル問題ガ起ルト思フノデアリマス、今申上ゲタヤウナ事情デアリマスカラ、商工大臣トセラレテハ、此ノ際組合ニ關スル政策ヲ大改革ラシテ、之ヲ系統立テ、秩序ヲ作ツテ以テ商工行政或ハ經濟機構ノ總テノ問題ヲ解決スルト云フコトニ處セラレル御意思ハナイノデアリマセウカ、御同致シマス

○八田國務大臣 御話ノ如ク、段々組合ノ制度ガ擴大致シテ參リマシテ、相當複雑ニナツテ參ツテ居ルコトハ事實デアリマス、隨ヒマシテ之ヲ出來ルダケ單純化、或ハ調整スルコトハ洵ニ必要ナコトト存ズルノデアリマス、唯茲ニ考ヘナケレバナラヌコトハ、ソレノ業種ノ組合ガソレノ歴史ヲ持ツテ發達シテ來テ居リマスノデ、之ヲ簡單ニ打ツテ一丸トスルト云フコトハ相當ムツカシイコトデアラウト思ヒマスシ、又サウ云フ御考デモナイト存ズルノデアリマスガ、要スルニ各縦ノ組合ヲ、ソレノ機能ヲ發揮サセ、又ソレノ組合ヲ協同精神ヲ以テ連繫ヲ圖ツテ行ク、即チ縱ト横トニ是等ノ組合ヲ合理的ニ協調サセルヤウナ手段方法ヲ考ヘテ行クト云フコトハ、何レニ致シマシテモ必要デアルト存ジテ居ルノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ、商

工省ト致シマシテモ、今後ニ於テ十分力ヲ致シタイト考ヘルノデアリマス、唯理想的ニ、私共ノ述ベマスヨリ一層單純化、統制スルト云フコトモ望マシイコトデアルト思フノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテモ、尙ホ一層研究シテ見タイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○原委員 打ツテ一丸ト成スコトハ勿論出來ナイコトデアルシ、シテハイケナイコトデアラウト思フノデアリマスガ、幸ヒ商工大臣ニ於テ組合ニ關スル行政ニ付テ考ヘヨウ、其ノ組織ニ付テモ考ヘテ見ヨウト云フ御意思ガオアリノヤウデアリマスガ、若シ左様ナ御意見ガアルトスレバ、是ガ改革ノ方法ト致シマシテハ、重要物產同業組合ヲ根本トシ、中心トシテ總テヲ建直サレ、整備サレタラドウカト考ヘルノデアリマス、大體商工省ノ組合行政ト云フモノガ根本カラ間違ツテ居ルノデハナイカト思フノデアリマス、初メ重要物產同業組合ガ我國ニ於テ相當發達シタ、殊ニ地方ニ於テモ相當發達シタ際ニ、或ル特殊ノ人ハハ既成政黨或ハ既成勢力トノ關係ガアルカラ、コンナモノハ打破シテシマヘト云フヤウナ氣分デアリマス、以テ産業組合ガドン／＼發達シタ、其ノ産業組合ニ負ケナイヤウニ、商工關係ノ方ニ

於テハ商業組合、工業組合、輸出組合ト云フモノガ出來テ來タ、斯ウ云フ風ニ言フ人モアリマスガ、サウ云フコトハ兎モ角トシテ、根本ニ於テ組合ノ素質ガ違フ、産業組合方面ハ別トシテ、重要物產同業組合ト商業組合、工業組合、輸出組合、是等ノモノトノ關係ダケヲ考ヘテ見マスノニ、組合ノ本質ガ全然違ツテ居ルノデハナイカト思フノデアリマス、重要物產同業組合ノ方ハ所謂職能團體デ、強制加入權ガアツテ、總テノ綜合的團結ヲ成ヌヤウニ出來テ居ル、全部ノ業者ガソレニ集マルヤウナ仕組ニナツテ居ル、而モソレハ特ニ營利ヲ目的トスルノデナク、所謂精神的結合デアアルノデアリマスカラ、全般的ノ仕事ヲサセルニハ之ニ限ル、所謂全體主義——全體主義ト云フ名前ガ良イカ惡イカ、又其ノ解釋モ色々アルト思ヒマスガ、最近流行リノ全體主義、之ヲ解釋スレバ、自己ヲ捨テテ一般ノ爲ヲ考ヘルト云フ意味、或ハ皇道翼賛ト云フヤウナ意味ノモノデゴザイマセウガ、ソナ意味ニ於ケル所ノ精神コソ此ノ同業組合ノ根本精神ニナツテ居ル、其處カラ生レテ出テ來テ總テノ仕事ヲシ、現ニ自治的ニ自分ノ組合ノ内部ヲ統制シ、色々ナ公共的ナ仕事ヲスルト云フヤウナ方法ニナツテ居ルノデ、此ノ組合

コソ總テノ組合ノ中心トシ、統制ヲサセル
トカ、檢査ヲスルトカ云フヤウナ組合員全般
ニ對スル半行政的ナ問題ハ之ニヤデスベキ
デハナイカト思フノデス、一方工業組合、
商業組合ハ營利ヲ土臺ニシテ居ル、所謂自
由主義資本主義カラ行ツテ居ルモノデハナ
イカト思フ、サウ云フ方面ニ似タヤウナ觀
念カラ出來テ居ルノデハナイカト思フ、自
分等ノ營業ヲ一ツ盛大ニシヨウ、共同施設
モシ、共同購入モシテ、自分ノ營利ヲ圖ラウ
ト云フ營利ヲ根本觀念ニ置イテ相集ツタ組
合デアツテ、隨テ此ノ組合ハドンナニ之ヲ
助長ナサツテモ、ドウ云フ工合ニ保護致シ
マシテモ、根本ノ觀念ガ違ツテ居ル、皆自
分ノ營利ノ爲ニト云フコトヲ根本觀念ニシ
テ生レテ來タ組合デスカラ、之ニ對シテ統
制シヨウ、サウシテ組合全般、廣ク消費者
ヲ含メテ一般ノ爲ニナルヤウニ檢査シヨウ
ト言ツテモ根本觀念ガ違フカラ中々巧ク行
カス、サウシテ之ニハ強制加入權ガナイノ
デスカラ、同業者ノ全般ノ者ニモ其ノ威力
ヲ及ボスコトハ出來ナイ、此ノ根本ノ缺陷
ヲ補ハンガ爲ニ、商工省デハ其ノ場其ノ場
デ法律ノ改正ヲナサツテ居ル、先ヅ第一ニ
統制ノミヲスル組合ニハ、無出資ニシテ強
制加入權ヲ賦與スルト云フ去年ノ改正、ソ

レヨリモ前ニハ組合員デナクテモ、其ノ他
ノ其ノ地域内ノ同業者ヘ一定ノ統制命令ガ
及バヤウナ法律ヲ御作リニナルト云フヤウ
ナ工合ニ、結局ハ工業組合、商業組合ノ缺
陷ヲ補ハンガ爲ニ毎年々々次カラ次ト改正
ナサツタ結果、元ヘ戻ツテ無出資デ強制加
入ヲスル所ノ同業組合ト同ジヤウナモノヲ
拵ヘナクテハナラヌト云フヤウナコトニナ
リマシタ、其ノ形ハ全然同業組合ト違ヒハ
シナイ、一廻リ廻ツテ元ノ同業組合ヘ歸ツ
テ來タヤウナ形ナノデアリマス、ソナニ
無理ニ法律ヲ改正ナサレルヨリモ素直ニ同
業組合合法ガアルノダカラ、之ニ依ツテサウ
云フ方面ノ仕事ヲナサルベキモノデハナイ
カト思フ、商工省ニ於テ根本的ニ此ノ組合
ノ觀念ヲ變ヘテ戴イテ各、適所ニ用ヒテ戴キ
タイ、統制トカ檢査トカ、或ハ組合一般ノ
教育トカ云フ風ナ問題ニ付テハ此ノ同業組
合ノ方デヤラセル、營利ヲ根本トスル共同
施設ヲスルトカ、共同購入ヲスルトカ云
フヤウナコトハ是ハ商業組合、工業組合ニ
ヤラセル、殊ニ折角左様ナ營利ヲ根本觀念
ニ置キ、特別ナ施設デモシテ共同デ仕事ヲ
シテ儲ケヨウト云フノデスカラ、資本モ必
要デアリ從テ出資ヲ原則トスルカラ到底業
者一般一人殘ラズ加入サセルト云フ譯ニハ

行カナイ、商業組合、工業組合ノ根本觀念
ハ出資ヲスルコトデアル、同業者ノ中ニハ
出資ヲスルコトガ出來ナイトカ、又色々
ノ利害ノ異ナル人モアル、人間ノ顔ノ變
ツテ居ルヤウニ、ソレノ關係モ違ツ
テ居ルカラ、業者全部ヲ一纏メニスルト
云フコトハ營利ヲ根本觀念ニシテハ到底
出來ルモノデハナイ、ソコニ於テカ今年
ハ小工業組合ト云フモノヲ御作リニナル
コトニナツタ、是ハ私ガ年來申上ゲテ居
ル所ノ商業組合、工業組合ハ大キイモノ
ハ駄目デス、小サイ特別ノ關係ノアル者、
地域的ニ、經濟的ニ、或ハ業態カラ、總テ
ノ點カラ見テ特別ノ關係ノアル少數ノ人達
ガ集ツテ強イ力デ以テ組合ヲ維持シ、組合
ノ威力ヲ發揮スルヤウニシテコソ商業組
合、工業組合ノ本當ノ眞價ガ發揮出來ルノ
デアリマス、サウ申上ゲテ居ツタノデスガ、
今年ハ其ノ點ニ付テハ此ノ改正案ガ出テ、
小工業組合ト云フモノガ認メラレルコトニ
ナツタ、是ハ非常ニ良イ發案ダラウト思フ
ノデアリマスガ、各、其ノ本質ニ顧ミテ重
要物產同業組合ヲ根本ノ中心ノ組合トシ、
其ノ中ニ必要ニ應ジテ工業組合ヲ作り、商
業組合ヲ作り、或ハ輸出組合ヲ作ルト云フ
必要ニ應ジ小工業組合ヲ作ルト云フ風ニサ

レテハ如何デセウカ、現ニ同業組合ヲ母體
トシテ其ノ中ニ出來テ居ルソレ等ノ工業
組合、商業組合ハ非常ニ完全ナル發達ヲシ
テ居ル現狀ヲ見テモ左様ダト考ヘマスガ、
商工大臣ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス
○八田國務大臣 只今重要物產同業組合ニ
付キマシテ、之ヲ中心トシテ統制ノ機能ヲ
ヤラセル方ガ適當デハナイカト云フ御説
ハ、洵ニ私共御尤ナ點ガ多アルト考ヘル
ノデアリマス、今日工業組合或ハ貿易組合
等ヲ活用シテ、サウシテ統制ノ機能ヲ主ト
シテ取扱ツテ働イテ戴イテ居ル譯デアリマ
スガ、同業組合ノ方ニ於キマシテモ御説ノ
如ク製造加工、竝ニ販賣ノ點ニ於テ過去ニ
於テ極メテ長所ヲ發揮セラレタ點ニ付テハ
吾々モ十分ニ認メテ居ル次第デアリマス、
就キマシテハ此ノ同業組合ト他ノ工業組
合、商業組合或ハ貿易組合等ヲ統制ノ問題
ニ付テドウ云フ風ニ考ヘルカト云フ問題ハ、
今私此處デ將來ニ向ツテ直チニ御答スルコ
トハ出來ナイノデアリマスケレドモ、何レ
ニシマシテモ此ノ同業組合法ニ依ル所ノ運
用ヲモツト助長利用スルト云フコトニ付キ
マシテハ十分ニ考ヘテ見タイ、更ニ研究ヲ
續ケテ見タイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリ
マス

○原委員 私ノ今御伺シタノハ統制ニ付テ重要物産同業組合ヲ御利用ニナツタラ如何カト云フノデハナイノデアリマス、ソハ結構デゴザイマセウガ、此ノ組合政策ヲ根本的ニ改革スル意味ニ於テ重要物産同業組合ヲ中心ニシ、其ノ中デ工業組合、商業組合ソレノ機能ヲ發揮スルヤウナ組織ニ變ヘタラドウカ、組合政策ヲ根本的ニ改革スル上ニ於テ、同業組合ヲ中心ニナサツテ、

サウ云フ風ナ根本的ノ改革ヲナス御意見ハナイカ、斯ウ云フ意味デアリマス

○八田國務大臣 御説ノ程ハ能ク諒承致シマシテ、十分ニ研究シテ見タイト思ヒマス

○原委員 ソコデ十分研究シテ見タイト云フ御意見ノヤウデアリマスガ、是ハ中々重大ナ問題ニハ違ヒナイノデアリマスガ、手取早ク少クトモ此ノ重要物産同業組合法ト云フ法律ノ改正ダケデモ直チニ御實行ナサル御意見ハナイデセウカ、詰リ此ノ法律ハモウ三十年モ前ニ出來タ法律デ、中々不備ナ點モアルノデス、第一名前カラシテ重要物産ナドト云フ文句ハ其ノ内容ニ於テ相應ハシクナイ、只ノ同業組合ダケデ宜イノデス、ソレカラ其ノ規定ノ内部ニ於キマシテモ改正スベキ點ガ多々アリ、簡單ニ改正スレバ非常ニ此ノ同業組合ノ發達ヲ助長シ、十分

ナ活動ガ出來ルヤウニナレル、根本ハサウ云フ組織ニナツテ居ルノデスカラ、法律ヲ少シ改正シタラ直チニ此ノ利用ガ出來ルト思フノデスガ、同業組合法ノ改正ヲナサル御意見ハアリマセヌデセウカ

○八田國務大臣 其ノ點ニ付キマシテモ御趣旨ハ能ク分ツテ居リマスガ、十分ニ研究ヲ致シテ見タイト考ヘマス

○原委員 假ニ直チニ改正出來ナイト致シマシテモ、此ノ儘デモ少クトモ現在ヨリハ利用ノ途ガ十分アルト思フノデス、之ヲ助長スル方面ニ於テ商業組合、工業組合、産業組合等ハ、隨分色々ノ點デ政府ノ保護ヲ受ケテ居リマスガ、重要物産同業組合ニ付テハ全然此ノ保護助長ト云フコトガ行ハレテ居ナイ、之ニ付テヤハリ同ジヤウナ風ニ保護助長ヲナサツタラドウデセウカ、ト同時ニ之ニ働カセタナラバ十分働ク餘地ガアル、先程申上ゲタ統制ノ點ニ付テハ大臣ハ考ヘテ見ヨウト云フヤウナ御話デアリマシタカラ、別ニ答辯ヲ求メマセスガ、統制ノ點ニ付テモ或ハ根本カラ變ヘラレナイト致シマシテモ工業組合、商業組合ニ或ル場合ニハ統制ノ方面ノ役割ヲサセルト同時ニ、

重要物産同業組合ノ方モ時ニハ御使ヒニナツテ宜イ、サウ云フ本質ヲ有スル立派ナ組合デアルト思フノデアリマス、其ノ外ニ社會的ノ政策ヲヤラセルトカ、或ハ文化的ノ任務モアリマス、殊ニ財政的ノ方面ニ於テハ或ハ納稅組合ノヤウナ仕事ヲヤラセルトカ租稅ノ配賦ニ付キ協力サセルトカ或ハ司法的ニ仲裁ヲヤラセルトカ、懲罰ノ方面ニ於テ使フトカ、色々ノ方面ニ於テ相當ノ使ヒ途ガアル、殊ニ徒弟ノ教育ダトカ、業者ノ内部ノ發達改善ヲ圖ル意味ニ於ケル所ノ色々ノ社會的ノ方法ヲ講ゼシムルニハ實際良イ組合組織ニナツテ居ルト思フノデアリマスガ、商工大臣ハ少クトモ此ノ儘デモモウ少シ重要物産同業組合ヲ助長發達セシメ、補助シ、利用シ、十分其ノ機能ヲ發揮サセルヤウナ御考ヘナイデセウカ

○八田國務大臣 同業組合法ニ依リマシテ今日マデ今御話ノ如キ成績ヲ擧ゲテ來テ居ルモノモ相當アルト存ズルノデアリマス、隨ヒマシテ他ノ工業組合、或ハ貿易組合其ノ他ノ組合トモ彼此相考ヘマシテ、只今御話ノ如ク利用助長スルコトノ出來マス點ニ付キマシテハ、十分考慮致シテ見タイト存ズル次第デアリマス

○原委員 御伺スル所ハ總テ考慮ダケハ願ヘルヤウデアリマスガ、私先程申上ゲマシタ根本ノ同業組合ト云フモノノ本質ト商業組

合、工業組合ト云フモノノ本質ガ違フノデ、ソコニ於テ十分研究ノ餘地ガアル、其ノ根本ノ精神ガ違フト云フ點ニ付テノ御意見ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○八田國務大臣 工業組合、商業組合或ハ貿易組合ノ機能ト重要物産同業組合トノ機能ノ違フコトハ御説ノ通りデアリマス、之ヲ現在アリマスルモノヲ將來ニ互ツテ如何ニ利用シ、又改善シ、又必要ニ應ジテハ其ノ程度ヲドウスルカト云フコトニ付キマシテハ、今後十分ニ研究シテ善慮致シテ参リタイ、斯ウ考ヘルノデアリマス

○原委員 私ハ機能ガ違フト云フコトヲ伺ツテ居リハシナイ、機能ガ違ツテ居ルト云フコトハ法律ヲ見レバ直グ分ル、本質ガ全然違ツテ居ルト云フ風ニ考ヘルノデスガ、ソレカラ一ツ出直シテ御研究ヲ御願致シタイト思ヒマス、尙ホ研究ヲシテ見ヨウ、考慮ヲシヨウト云フ風ノ御答辯デゴザイマスルガ、唯サウ云フ御答辯ダケデハ此ノ前ノ委員會デモ伺ツテハ居リマスルガ、甚ダ心許ナイノデ、此ノ際商工大臣ノ、商工行政一般ノ意味ニモナリマスルガ、結局ハ此ノ組合ノ運用ト云フコトニ付テノ熱度ヲ伺ツテ置キタイト思フノデアリマス、即チ最近平沼總理大臣ガ總親和ト云フヤウナ言葉ヲ

使ハレテヨリ以後總親和ト云フノダカラ摩
擦ハ絶對ヤツテハイケナイ、改革ハヤツテ
ハイケナイノダ、改革ヲスレバ何處カニ嫌
ガル人ガ出テ來ルト云フヤウナ工合デドツ
チニ曲ツテモ餘程不便ガアツテモ摩擦ノ起
ラナイヤウ總親和デ行カナクテハナラヌト
云フ風ナ考ヘ方ガマアルノデハナイカト思
フノデアリマス、私ハ總親和ト云フ意味ハ
サウ云フ意味デハナイト思フノデス、國民
全般ノ人ガ一人モ殘ラズ氣ニ入ルト云フヤ
ウナ政策ノアル譯ハナイ、唯國家ノ爲ニ此
ノ際ノ時局ヲ認識シテ喜ンデ犠牲ニナルト
云フ意味デ總親和デ行クヨリ仕方ガナイ、
必要ニ應ジテハ命モ捨テ、金儲ケモシタ
イケレドモ、變更スルト云フ工合ニ其ノ點
ニ於テハ個々ノ人々トシテハ氣ニ入ラヌコ
トデモ喜ビ勇ンデ犠牲的ニヤツテ行カウ
ト云フ所ニ總親和ガアルト思フノデアリマ
ス、唯何デモ彼デモ一人デモ氣ニ入ラナイ
者ガナイヤウニスルト云フコトハ出來ルコ
トデモナケレバ、是ガ眞ノ總親和デモナイ
ト思フノデアリマス、ソコニ於テ現在ノ支
那事變ハ一禮ドウ云フ状態デアルカ、商工
大臣ハ現在ノ時局ハ支那事變ガ一年カ二年
デ済ムノダカラマア臭イ物ニハ蓋ヲシロ、

少シハ不便デモ忽ンデ總親和ダカラ一人モ
文句ハ言ハセヌヤウニシテ此ノ際ハ支那事
變ノ處理バカリニ進メバ宜イノダ、斯ウ云
フ風ナ御考デスカ、ソレトモ支那事變
ハ一年カ二年デ済マスカモ分ラヌシ、或
ハ日ソノ問題、或ハ英佛トノ關係ナド
ニ於テヨリ以上難カシイ時局ト相成ルノデ
ハナイカ、吾々ハ現在ヨリ以上難カシイ時
局ニナルト云フ其ノ覺悟ガ必要デハナイカ
ト思フノデス、隨テ總親和ニハ違ヒナイケ
レドモ一部分ノ人ニ摩擦ガ起ツテモ、氣ニ
入ラヌコトガアツテモ此ノ際ハ來ルベキヨ
リ以上ノ時局ヲ認識シテ、モット大改革ヲ
爲サナケレバイカスト思フノデス、此ノ組
合ノ法律ヲ御作リニナリ、或ハ統制上色々
組合ノ運用ヲナサル上ニ於キマシテモ、唯
單ニ總親和々々デハ到底此ノ重大ナル時
局ヲ目ノ前ニ控ヘテノ間違ヒノナイ政治ト
ハ言ヘナイデハナイカト考ヘルノデアリマ
ス、商工大臣ハ時局ヲドウ考ヘテ居ラレル
カ、隨テ商工行政ノ上、物資統制其ノ他ノ
上ニ於キマシテ、マア一二年ジイット辛抱
シテ摩擦ノ起ラナイヤウニ目先ノ日支事變
ノ善處ダケヤラウト云フ風ノ方針デオヤリ
ニナルノカ、ソレトモ更ニ重大ナル時局ヲ
認識サレテ、場合ニ依ツテハ大改革ヲヤラ

ウ、摩擦ガ起ツテモソレニ依ツテ迷惑ヲ蒙
ツタ國民ニハソレ相當ナ救済ヲ行ヒ摩擦ガ
起ツテモ大改革ヲナサルコトニ依ツテサウ
云フ場合ニ處サウト云フ風ノ御方針デアリ
マセウカ、此ノ根本ノオヤリニナル御方針
ヲ御聽キシテ置キタイト思ヒマス
○八田國務大臣 總テ時局ニ對應致シマシ
テ必要ナル法規ナリ機構ナリ制度ナリヲ改
革スルコトハ必要デアルト考ヘテ居リマス、
商工關係ノ諸組合法ヲ改正スルナリ、或ハ
強化スルナリシテ時局ニ對應サセシムガ爲ニ、
必要アラバ今後ニ於キマシテモ大改革ヲ少
シモ避ケルモノデハアリマセヌ、過去ニ於
テ必要ナモノデアリマシテモ、今後ニ於テ
ハ必要ノナクナルモノモ私ハアルト思フノ
デアリマス、サウ云フモノノ改廢ニ付キマ
シテモ少シモ躊躇スルモノデハナイデアリ
マス、唯現在アリマスモノヲ成ルベク利用
スルト云フコトニ付キマシテハ十分考ヘナ
ケレバナラヌト斯ウ云フコトヲ申上ダタノ
デアリマス

○原委員 先程中村委員カラモ色々物資統
制ノ機構ノ問題ニ付テ御質問ガアツタヤウ
デアリマスルガ、結局此ノ日支事變ニ處ス
ルニモ、將來來ルベキ重大ナル時局ニ處ス
ルノニモ政府トカ或ハ一部ノ國民トカ云フ
モノダケデ出來ルモノデナクテ、根本ハ國
民ニアルト思フノデスガ、一體政府ハ其ノ
國民ニ對シテドウ呼掛ケラレテ居ルノカ、
國民ノ方デハ斯ウ云フ時局ダカラ諸君ハ辛
抱セヨ、從來斯ウ云フ風ハ機構デアツタケ
レドモ、此ノ機構デハドウシテモ將來ノ重
大ナル時局ニ處スルコトハ出來ヌカラ辛抱
シテ外ノ方ニ轉業セヨ、斯ウ云フ風ニ斷乎
トシテヤルノダト云フ風ニ聲明シテオヤリ
ニナレバ國家ノ爲ナラ喜ンデソレニ附イテ
來ルト思フ、其ノ政府ノ方針ガ分ラズニ唯
役所ニ呼付ケラレ自分達ノ職業ガ奪ハレル
ノデナイカト云フコトデ心配ラシテ、ドウチ
附カズノヤウナコトニナツテ面白クイカナ
イト云フヤウナ状態ニナルノデアリマス、
要ハ左様ナ時局ニ對スル覺悟、或ハサウ云
フ風ナ改革ノ仕事ヲスルノニモ國民ノ心構
ヘニアルト思フノデスガ、其ノ國民ニ對シ
テハツキリ御呼掛ケニナツタラドウカト思
フノデス、時局ハ斯クノ如ク重大ダ、犠牲
ニナレ、而シテ皆總親和ノ精神デ來イト云
フ工合ニオヤリニナツタ方ガ宜イト思ヒマ
スガ、只今ノ答辯デ、ドウモ時局ガ一年カ
二年デ済ムカラマア辛抱セヨト云フ程度ノ
御決心ナノカ、ソレトモ來ルベキ日支事變
ヨリ以上ノ重大ナル時局ニナルカモ知レナ

イカラ、其ノ決心デ以テ皆ツイテ來イト云フ風ノ御決意ナノカ、ソコノ所ガドウモハツキリセナイト思フノデス、願クハ商工大臣ガ其ノ點ニ付テハツキリ國民ニ一ツ態度ヲ明ニシテ呼掛ケテ戴キタイト思フノデス

○八田國務大臣 事變ニ對スル國民ノ態度ハ内閣ニ於テ決セラレテ、國民既ニ能ク之ヲ周知サレテ居ルト思フノデアリマス、商

シテ、之ニ順應致シテ行クヤウニ成ベク現在アル機關ヲ利用シテ行クト云フコトニ私ハ承知致シテ居ルノデアリマス、今後ノ時局ノ前途ニ向ヒマシテ必要ノアリマスル改革、或ハ強化等ハ十分ニ商工當局トシテモ考ヘテ、之ニ遺憾ナキヲ期スル決心デ居リマスノデ、其ノ點ハ御安心ヲ願ヒタイト思ヒマス

○原委員 私ハ商工大臣ガ左様ナ決心ヲ持ツテ居ルカ居ラヌカト云フコトヲ聽イテ居ルノデハナイ、國民ニ呼掛ケラレタラドウカト云フコトヲ私ハ申上ゲテ居ルノデス、總理大臣ハ不言實行ダト云フコトヲ言ハレ

事變ダケデモ處理ハ中々困難ダト思ヒマシガ、日「ソ」、或ハ英佛關係ヲ考慮シテモ、ヨリ以上重大ナル時局ニナツタ際ニ、商工大臣一人ガ堅イ決心ヲ以テナサツタダケデ物資ノ調整カラ總テノ商工行政ガ旨ク行クカドウカ、私ハソコノ所ヲ御伺シテ居ル次第デス、モウ少シ積極的ニ國民ニ呼掛ケテ、赤裸々ニ、ザツクバランニオヤリヲ願ヒタイト思ヒマス、其ノ點ニ付テハ此ノ程度デ止メテ置キマス

人ハ組合ノ聯合會トカ、中央會デアルトカ云フヤウナコトガ地方ニアル場合ニハ、何人モ押シ掛ケテ行ツテ、色々必要以上ノ歡待ヲ受ケテ居ルトカト云フ風ニ、色々忌ハシイ風評モ聞イテ居リマスガ、ソナコトハ現在ノ商工省トシテハナイト我々ハ考ヘテ居リマス、併シ同ジ人間ノコトデスカラ、ヤハリ相當ノ機關ヲ設備シ、方法ヲ立デテ常ニ監督ヲシ、其ノ宜シキヲ得ナイト、ソナ噂ガ將來本當ニ現ハレルコトナキニシモアラズデハナイカト思フノデアリマス、非常ニ御忙ガシイ所デ、サウシテ中々商工省ニハ秀才ガ澤山御集リニナツテ、殆ド戰場ノ勇士ノ如キ御決心デ執務シテ居ラレル狀態ハ吾々モ能ク見テ居ルノデアリマスケレドモ、兎ニ角國民トノ接觸モ多イシ、中ニハ金ノアル人トカ、色々關係デ各種ノ人トモ接觸サレルコトガ多イカラコンナ誤解モ受ケルノデハナイカト思ヒマスガ、是等ニ對シテ商工大臣ハ現在何カ考慮ヲシ、監督ノ方法デモ執ツテ居ラレマスカ、將來ニ於テハドウ云フ風ナ御考デゴザイマセウカ、伺ツテ置キタイト思ヒマス

ハ自治的統制ノ方法ニ更ニ法制的根據ヲ加ヘマシテ、サウシテ統制ノ圓滑ナル運用ヲ期シテ参リタイト思フノデアリマス、御説ノ如ク此ノ時局ガ所謂不擴大カラ擴大ニ轉ジ、比較的短期デアラウト思ツタモノガ長期ニナツタト云フヤウナコトガ事實アリマスルノデ、今日マデノ色々統制ノ方法、或ハ程度ト云フモノハ或ル見方ニ依リマスレバ生緩イ、モツト最初カラ強化シテヤツトラ宜イデハナイカト云フコトハ御説ノ通りダト思フノデス、但シ大體今日マデ致シテ來テ居ル統制ノ方法ハ、統制ノ爲ニ統制ヲスルノデハナクシテ、出來ルダケ現狀ヲ緩和シツツ新シキ體制ニ向ツテ推移致シマ

シテ、之ニ順應致シテ行クヤウニ成ベク現在アル機關ヲ利用シテ行クト云フコトニ私ハ承知致シテ居ルノデアリマス、今後ノ時局ノ前途ニ向ヒマシテ必要ノアリマスル改革、或ハ強化等ハ十分ニ商工當局トシテモ考ヘテ、之ニ遺憾ナキヲ期スル決心デ居リマスノデ、其ノ點ハ御安心ヲ願ヒタイト思ヒマス

○原委員 私ハ商工大臣ガ左様ナ決心ヲ持ツテ居ルカ居ラヌカト云フコトヲ聽イテ居ルノデハナイ、國民ニ呼掛ケラレタラドウカト云フコトヲ私ハ申上ゲテ居ルノデス、總理大臣ハ不言實行ダト云フコトヲ言ハレ

尙ホ最後ニモウ一點御伺ヒシタイノハ商工省ノ内部ノ問題デアリマス、今ヤ軍部或ハ大藏省等ヨリ以上ニ商工省ガ花形ニオナリニナツテ、一般ノ國民トノ接觸モ非常ニ多イ、隨テ之ニ對シテ國民ノ希望スルコトモ非常ニ多アルノデアリマスル、今日マデノ商工省ノオヤリナツタコト全部ガ必ズシモ宜イトハ思ヘヌト私ハ思ヒマス、殊ニ現在左様ニ重大ナ商工省ノ大臣ハ拓務大臣ヲ兼ねテ居ル、我々が商工省ニ行ツテモ、何ダカ御主人ノオ留守ノ家へ行ツタヤウナ感ナキニシモアラズデアリマス、ソレダカラ色々ナ點ニ付テ不備缺點ガ起ツテ來ルカドウカハ先ヅ別ト致シマシテ、兎ニ角色々ナ批評ヲ耳ニシマス、銀座ノ夜ハ商工省ノ役人デ氾濫シテ居ルトカ、商工省ノ役

○八田國務大臣 私モ就任尙ホ日ガ淺イノデ、只今御述ベニナツタヤウナコトニ付テハ能ク承知致シマセヌ、私ノ責任ニ於テ今

後ニ於キマシテハ過チノナイヤウニ十分努
メテ行キタイト思ヒマスノデ、其ノ點ハ御
諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○原委員 秀才デアリ、非常ニ熱心ナ人ガ
御集リノ時ニハ常ニ相當ノ摩擦ハ無理モナ
イト思ヒマスガ、併シ今ヤ當ニ商業者、工業
者ダケデナクシテ、消費者ト云フ點カラ言
ヘバ全國民ガ商工省ニ關係シナケレバナラ
ヌヤウナ現在ノ狀態デアリマス、左様ナ國
民ト最モ密接ナ關係ノオアリニナル商工省
ニ於テ、吾々モ經驗シタコトガアリマスガ、
不統一ナ點モ多クアル、下廻上デハナイカ
ト云フヤウナ非難モ聞イテ居リマス、上下
ノ關係ニ於テ、或ハ横ノ關係ニ於キマシテ、
偶ニ不統一ノヤウナコトヲ伺フコトモアリ
マス、國民トシテハ商工省ノ中ノ商務局カ、
貿易局カ、ソシテハ知ラナイノデアツ
テ、一ニ商工省全體トシテ考ヘテ居ルノデ
アリマスカラ、色々不統一ナ行政ヲヤラレ
テハ實際迷惑スルノデス、一方ニ於テハ
商業組合ヲ大イニ鼓吹ナサルカト思フト、
一方ニ於テ此ノ物資ノ配給ハ商業組合ニハ
ヤラセスト云フ、洵ニサウ云フ點ニ付テ迷
惑スル場合ガ多クアリマス、又國民トシテ
ハ法律ヲ知ツタ者バカリデモナイ、サウ云
フモノニ對シテハ傳案ノ寶刀デアル法文デ

頭カラ威カシ付ケラレル、分ラナイコトヲ
言フ國民モアルコトハアルノデセウカラ、
不都合ナ者モアルカモ分ラヌケレドモ、直
チニ威カシ付ケラレタリシテハソコニ面白
クナイ關係ガ生ズルノデハナイカト思ヒマ
スルノデ、一般國民ニ對スル態度、ヤリ方又
省内ニ於ケル所ノ統一ノ問題ナドニ付キマ
シテハ、是カラヨリ以上ノ留意ガ必要ダラウ
ト思ヒマス、殊ニサウ云フコトヤ何ヤ彼ヤ
カラ、結局大臣トシテハ一人デ二省デモ三
省デモヤル力量ト御決意ガオアリニナルデ
ハアリマセウケレドモ、併シ今日マデノ御
經驗ノ上ニ外ノ方カラノ考ヘ方モ御考慮ニ
ナツテ、速ニ專任大臣ヲ置クト云フコトガ
必要デアラウト考ヘルノデアリマスガ、サ
ウ云フコトニ付テノ御意見モ承ツテ置キタ
イト思ヒマス

○八田國務大臣 御意見ノ程ハ能ク承ツテ
置キマス
○原委員 承ツテ置クト云フトドウ云フ意
味ニナルノデセウカ、私ハ專任大臣ノ必要
デアルト云フ點ヲ聽クト同時ニ、今申上ゲ
ルヤウナ色々ノ風評モアル、神様デハナイ
ノデスカラ御無理モナイデセウガ、手落ノ
點モアルシ、不統一ナ點モ實際アルト思ヒ
マス、承ツタゲデ何等御意見モナイノデ

セウカ
○八田國務大臣 承ツテ善處致シマス
○深澤委員 關聯シタコトデ大臣ニ一寸御
伺致シタイト思ヒマス——大臣ハ減多ニオ
居デニナレナイデセウカラ此ノ場合申上ゲ
マス、各府縣ニ商工省カラ派遣セラレテ居
リマス技師或ハ技手ガ各府縣土著ノ御役人
サン達ト仲ガ非常ニ惡イ、是ハ實際問題ト
シテハ土著ノ御役人サン方ノ方ガ地方ノ事
情ニ能ク通ジテ居ラレル、デスカラ府縣ニ
居ル事務官ナリ技師ナリト、商工省カラ行
ツテ居ル方々ト摩擦ノナイヤウニ、一ツ大
臣或ハ局長サンカラ能ク御注意ヲ願ヒタイ、
モウ一ツハドウモ他省トノ連絡ガ一向取レ
テ居ナイ、此ノ點ニ付テ特ニ大臣ニ御考慮
ヲ願ヒタイ、ソレカラ統制經濟ニ對スル統
計ト云フモノヲ持タナイノデスカラ、非常
ニ無理モ多イノデスケレドモ、統計ナシニ
統制經濟ヲヤラレマス、滅茶苦茶ニナツ
テシマフ、事例ハ幾ラデモアル、私共地方
ノ人達ヲ伴レテ商工省ニ陳情ニ行ク、實ハ
陳情ニ行クノハ厭ヤデスケレドモ、行カナ
ケレバドウシテモ事情ガ分ラナイカラ、行
クノデス、併シナガラ地方ノ人達ヲ陳情ニ
連レテ行ツテモ自動車賃モ自分デ拂フ、統
制經濟ニ對シテ地方カラ陳情シテ出ル者ハ費

用ガ非常ニ嵩ムノデアリマス、又京橋一帶ノ旅
館ハ統制經濟ノ陳情員デ一杯ニナツテ居ル
ト云フ狀態デアリマス、甚シイ時ニハ麻ヲア
ソコニ五俵ヤレ、是ハ縣ノ工業組合トシテ
出シテ居ルノニ五俵ナンテ無理ダ、サウデ
スカ、ソレハ間違ヒマシタ、三十俵ヤツテ吳
レト言フ電話ヲ掛ケテ吳レルノハ有難イケ
レドモ、統計ナシニ統制經濟ヲヤラレル結
果サウ云フコトニナル、又各省トノ連絡ノ
問題ニナリマス、大藏省デ非常ニ迷惑シ
テ居ル事例ヲ舉ゲレバ幾ラデモアリマスガ、
此ノ間商工省ヲ動かシテ漸ク完成シタ「クラ
フト、パルプ」トカ云フ機械ヲ昭和製紙ト思
ヒマスガ拵ヘタ、ソレデ山梨縣ナラ山梨縣、
静岡縣ナラ静岡縣デ二百五十万石ノ材木ヲ
持ツテ居ル、之ヲ以テ「パルプ」ニ拵ヘルノ
ダカラ、直グヤレト云フコトデヤツタ、所
ガ保安林ヲ五十箇年トカデ間伐ヲスル、今
度ノ森林法ニ其ノ儘當嵌ルヤウニヤツテ來
タ、所ガ保安林ヲ伐採スルコトハ知事ノ權限
デ、商工省デ資金調整ヲシテ機械ヲ造ラウ
トモ、保安林ノ伐採ノ權限ハ知事ニアルト云
フノデ、工場モ機械モ出來タケレドモ木材ヲ
抑ヘラレテ「パルプ」ヲ拵ヘルコトハ差止メ
ラレタト云フヤウナ實例モアル、又今度逆
ニ「セイロン」茶ヲ輸出スルノハ日本ノ箱ニ

限ツテ居ルノデ、日本カラ皆製函シテ箱ヲ送ツテ居ル、ソレハ二百萬圓モ送ツテ居ル、其ノ二百萬圓ノ箱ヲ全部樺太材材拵ヘタ、内地材ハ赤目ガアツテ出來ナイ、所ガ樺太材ガ出ナクナツタト云フ爲ニ、商工省ハ保稅工場ヲ造ラシテ、サウシテ保稅工場ニ亞米利加材ヲ輸入サシテ、其ノ保稅工場ヲ造ラシテ輸出サセルト云フ方針ヲ執ラレタ、サウシマス二百萬圓ノ中ノ半分以上ハ亞米利加ヘ支拂ハナケレバナラス、幾ラ保稅工場ハ爲替ニ關係ナクテモ、内地デ出來ルノニ向フニ金ヲ拂フト云フコトニナル、今マデ内地ノ材木デ作ツテ居ツタモノヲ全部亞米利加ノ材木ヲ入レテ保稅工場ニ依託シテ、サウシテ「セーロン」島ニ送ル、二百萬圓全部デナクテモ、十萬圓デモ二十萬圓デモ、又此ノ非常時ニ幾ラ五十箇年計畫デアルト云ツテモ——アナタハ拓務大臣モ御兼任デスガ、樺太材ヲサウ云フ輸出材ニ對シテ「リンク」制見タイニシテ供給スル方法ヲ立テマスレバ、態々保稅工場ヲ作ツテ亞米利加材ヲ持ツテ來ナクテモ日本ノ材木デ出來ル、サウ云フ事例ハ擧ゲテ數フルコトガ出來ナイ、要スルニ他省トノ連絡ガ非常ニ圓滑ヲ缺イテ居ル點ガ非常ニ多イノデアリマス、地方ノ技師、ソレカラ他省トノ關係

及ビ本省ニ於ケル統制經濟ニ於ケル統計ヲ充實シテ貫ヒタイト云フ點等ニ付テ特ニ御留意ヲ願ヒタイ

○八田國務大臣 御話ノコトハ能ク拜承致シテ置キマス、統制ノ問題ハ何レニ致シマシテモ日本デ餘リ價レナイコトデアリマスノデ、而モ先程モ申上ゲマシヤウニ、事態ガ不擴大ト云フコトカラ段々擴大ニ向ツテ長期建設ト云フ風ニナツテ參ツタノデスカラ、統制ノ取扱方ニ付テ外カラ御覽ニナツテ——ト言ツテハ失禮デスケレドモ、外カラ見マシテ色々苦情ガ多イコトハ私ハ能ク諒承致シテ居ルノデアリマス、併シナガラ是亦其ノ事態ガ已ムヲ得ナイコトデアツタト考ヘルノデアリマス、就キマシテハ其ノ間色々十分デナイ點ガアルト考ヘマス、是ハ出來ルダケ改善ヲ致シテ參ルコトニ努メル積リデアリマスノデ、只今御指摘ノヤウナ點ニ付キマシテモ十分力ヲ致シテ見タイト考ヘテ居リマス

○森田委員長 木村君

○木村委員 時間ガアリマセスカラ、大臣ニ一點伺ツテ置キタイト思ヒマス、最近國內ノ物價ガ非常ニ昂騰致シテ居リマス、殊ニ海外ノ物價ト較ベマシテ所謂國際水準カラ見マシテモ、日本ノ物價ガ高イト云フ現

象ハ大臣モ既ニ御承知グラウト思ヒマス、斯ウ云フコトデアツテハ日本ノ一般ノ輸出ヲ増進スルコトハ愈々以テ困難ト思ヒマス、現在國內ノ輸出産業、海外カラ原料ヲ購入シテソレニ加工シテ輸出ヲスルト云フ風ナ産業ニ向ツテハ「リンク」制ヲ從來實施シテ居ル、又最近輸出ノ雜品ニ付テモ所謂商工省ノ特殊「リンク」制ト云フモノヲ施イテ、ソレ等ノ海外輸入若クハ副原料ニ依ル物資ノ配給ノ圓滑ヲ圖ツテ輸出ヲ振興シヨウト云フ計畫ヲシテ居ラレマスコトハ洵ニ結構デアリマスガ、日本ノ物價ガ高イ、ソレハ即チ生産「コスト」ヲ上ゲルト云フコトデアリマシテ、此ノ物價ヲ引下ゲルコトガ根本的ニ輸出ノ振興ヲ圖ル上ニ於テ最モ必要ダト存ジマス、勿論今日ノ狀態ハ此ノ企圖カラ來テ居ル關係ヨリモ寧ロ物ノ不足シテ居ルト云フコトガ原因シテ居ルノデアリマスカラ、結局ハ配給ト云フモノガ圓滑ニ行カナケレバ此ノ物價ノ全面的ノ引下ト云フモノハ困難ダト思ヒマス、殊ニ軍需工業ガ盛ンデアリ、人的要素ガ足りナイ、勞働ガ不足シテ居ル、賃銀ガ非常ニ昂騰シテ居ルト云フ時代ニ於テハ、ヤハリ生産「コスト」ガ高マリマスカラ、總テノ商品ガ高クナル、一ツノ商品ガ高クナレバヤハリ之ヲ以テ他ノ全面的ノ商

品ノ昂騰ヲ促スト云フ結果ニモナツテ參リマス、政府ハ物價中央委員會ト云フモノヲ組織シテ公定價格ヲ中央ニ於テ決定シ、各府縣ニ於キマシテモ中央ノ公定價格ニ準據シテ、物價ヲ決メテ居ルノデアリマスケレドモ、一遍公定價格ト云フモノヲ決メク場合ニ於テハ、ソレガ今日マデ何等ノ引下ヲ見テ居リマセヌ、勿論引下ヲスルト云フコトハ非常ニ困難ナ事業デアリマセウ、併シナガラ政府ノ意圖スル所ハ、戰前ノ物價マデ引下ゲタイト云フ風ナ意向ヲ政府ニ於テモ洩ラシテ居ルヤウデアリマス、併シ最近ノ豫算委員會ニ於テハ、戰前ノ物價マデ引下ゲルコトハ困難ダト云フコトマデモ仰シヤツテ居ルノデアリマスガ、如何ニシテ此ノ物價ヲ引下ゲテ行カレルカ、此ノ問題ニ付テ、公定價格ノ如キモ從來一遍決定シタモノニ對シテ其ノ公定價格ヲ引下ゲテモ宜イモノモ中ニハアルノデハナイカトモ考ヘルノデアリマスガ、段々一般ノモノガ高クナツテ參リマス、餘計物價ノ引下ト云フコトハ困難ナコトニナツテ參リマス、是ハ困難デアレバアル程如何ニ輸出ノ振興ヲ圖ラウト思ヒマシテモ到底是ハ期待スルコトガ出來ナイノデアリマシテ、政府ハ物價ノ引下ニ對シテ近時其ノ熱意ヲ缺イテ居ルノデハナイカ

ト云フ風ニ吾々ニハ考ヘラレテ來ルノデア
リマス、聞ク所ニ依リマス、中央物價委
員會ニ於キマシテモ、將來ニ於テハ各種ノ
物價ノ公定價格ヲ決定スル上ニ於テ原料デ
アルトカ、或ハ賃銀デアルトカ云フ風ナ細
カイ原價計算ニ對シマシテモ、詳細ニ檢討
ヲ加ヘテ適正ナ價格ヲ得ヨウトスルヤウナ
計畫デアルト云フコトヲ池田會長ガ何時カ
ノ新聞デ發表シテ居ラレルヤウデアリマシ
テ、洵ニ結構デアリマスケレドモ、モウ
少シ馬力ヲ掛ケテ、此ノ價格ノ引下或ハ生
産費ノ低下ヲ圖ルコトニ付テモウ少シ熱意
ヲ持ツテ戴キタイト思フデアリマス、此
ノ點ニ關シマシテ大臣ハ如何ヤウニ御考ナ
サツテ居リマスカ、此ノ點ヲ承ツテ置キタ
イト思ヒマス

○八田國務大臣

物價ヲ引下ゲル問題ニ付
キマシテハ、御説ノ如ク中々容易ナ仕事デ
ハナイト思フデアリマス、有ユル方面カ
ラ之ニ努メテ行カナケレバナラスコトハ申
スマデモナイノデアリマスガ、商工省ト致
シマシテハ、物價委員會ニ、官民ト云フヨ
リモ寧ロ民間ノ堪能ナル方々ヲ煩ハシマシ
テ、本當ノ財界ノ實情ニ通ゼラレタ御意見
ニ依リマシテ一方物價ノ對策ヲ講ジテ戴
キ、之ニ對シテ商工省ノ機構ノ中ニ、只今

御話ノアリマシタ價格ノ形成等ニ必要デア
ル色々ナ事項ヲ十分ニ研究致シマシテ、ソ
レト物價委員會トガ相呼應致シマシテ、最
モ適切ナル物價ヲ公定致シテ行クヤウニ致
シタイト存ズルデアリマス、併シナガラ
是ハ簡單ニ言フベクシテ而モ實際ニハ色々
ノ問題ニ内容ガ關係致シマスノデ、到底商
工省ダケデ之ガ完全ヲ期スルコトハ出來マ
セス、就キマシテハ各省ト十分ナル連繫ヲ
執リマスヤウナ方策ヲ講ジマス共ニ、民
間各方面ノ御協力ヲ得マシテ、出來ルダケ
ノ成果ヲ擧ゲタイト存ジテ居ルデアリマ
ス、併シナガラ徒ニ法規ト云フヤウナモノ
バカリデ此ノ物價問題ヲ考ヘルコトハ、獨逸
ヤ伊太利ノヤウナ國デアリマスレ考ヘラレ
ルコトデアリマセウガ、我國ノ現在ノ此ノ情
勢ニ於キマシテソレハ中々難カシイト思ヒ
マスノデ、私ハ國民精神總動員ト云フヤウナ
機關ヲ通ジマシテ、敢テ法制ノ力ヨリモ所
謂皆ノ心持デ物價ガ異常ニ騰ラナイ、或ル
程度騰ルコトハ事實已ムヲ得ナイモノガ多々
アルト思フデアリマスガ、必要以上ニ
騰ルト云フコトニ付キマシテハ、出來ルダ
ケ之ヲ自力ヲ以テ抑ヘテ行クト云フヤウナ
考ニ致スコトガ一番必要デ、此ノ點ニ力ヲ
致スコトガ必要デアルト考ヘマス、一方ニ

於テハ經濟上ノ色々ノ問題ガアリマセウケ
レドモ、又法規ヲ以テマシテ、出來ル限リ
國民ノ生活或ハ其ノ他ニ差支ナイ限リニ於
キマシテ、之ヲ引下ゲルト云フコトニモ亦
努メナケレバナラス、斯ウ云フヤウナ兩方
面カラ進ンデ參リタイト考ヘマシテ、今專
ラ其ノ工夫ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリ
マス、只今御話ノ點ハ能ク拜承致シテ置キ
マス

○木村委員

モウ一點、輸出振興ヲ圖ル上
カラ致シマシテ、先程申上ゲマシタヤウニ
「リンク」制ヲ採用シテ居ルデアリマスガ、
「リンク」制ノ如キハ極メテ消極的ノ方策デ
アツテ、益、長期建設ニ入ツタ今日ニ於キマ
シテハ、軍需資材ノ確保ヲ來ス上カラ申シ
マシテモ、輸出ノ増進ヲ圖ル必要ガ最モ痛
切ニ考ヘラレルデアリマスガ、今ノ物價
ノ引下、生産費ノ低下ヲ圖ルコトハ勿論必
要デアリマスガ、政府ハ是レ以外ニ政府ト
シテ尙ホ積極的ニ輸出増進ヲ圖ルト云フ風
ナ、何等カノ積極的ノ施設ノ持合せニ付キ
マシテ御考ガアリマセウカ、此ノ點ヲ御伺
シテ見タイト思ヒマス

○八田國務大臣

輸出ノ増進ニ付キマシテ
ハ、御話ノ如ク國內物價ノ騰リマスコトハ
洵ニ望マシクナイコトデアリマスノデ、此

ノ點カラモ物價ノ問題ガアル譯デアリマス
ガ、然ラバソレダケデ十分カト云フコトニ
ナリマスレバ、御話ノ如ク積極的ニ輸出ノ
増進ヲ圖ラナケレバナラスト云フモノガナ
ケレバナラスノデアリマス、此ノ點ニ付キ
マシテハ一々此處デ斯ウ云フ事、アア云フ
事ト云フコトヲ申上ゲルコトハ省略サセテ
戴キマスケレドモ、色々工夫致シテ居ルノ
デアリマス、結局一番大事ナ點ハ、色々ノ
工夫ニモアリマスケレドモ、輸入力、即チ
輸出品ノ原料タルベキ輸入品ヲ確保スルコ
トガ専ラ必要ナコトデアルト考ヘマシテ、
此ノ點ニ十分力ヲ入レタイト考ヘテ居ルノ
デアリマス、併シハ物資動員計畫等ニ關
係シ、更ニ生産力擴充等ニ相當關聯致シマ
スノデ、是モサウ簡單ニ樂々ト出來ルコト
デナク、非常ニ難カシイコトデアルト思ヒ
マスケレドモ、努メテ其ノ點ニ努力ヲ致シ
タイト考ヘルノデアリマス、其ノ他具體的
ニ斯ウ云フ問題、アア云フ問題ト云フコトニ
付キマシテハ、御尋ニ應ジマシテ御答申上
ゲタイト思ヒマス、茲ニ一々申上ゲマセス
ガ、十分考ヘテ居ルト云フコトダケヲ申上
ゲテ置キマス

○木村委員 時間モ晚イノデスカラ是デ打
切リマス

○森田委員長 ソレデハ中村君

○中村委員 折角商工大臣がオ出デニナツテ居ルノデ此ノ際御尋シテ置キタイと思フノデアリマスガ、今日ノヤウニ統制ガ非常ニ強化サレテ参リマシテ、吾々モ今日ノ重大ナル時局ヲ前ニ致シマシテ、統制ノ強化ヲセラレルト云フコトニ付テハ已ムヲ得ヌコトダト考ヘテ居ルノデアリマスガ、統制ノ強化ノ爲ニ各方面ニ色々ノ不平ヤ不満ガ段々ト激シクナツテ來タノデアリマシテ、今得モ統制ガ強化サレテ参リマスルナラバ、色々商人ノ間ニ於キマシテモ、工業者ノ間ニ於キマシテモ私ハ苦シイ餘リニ不平ガ出テ來ルノデハナイカト思フノデアリマスガ、吾々ガ政府ニ要求ヲシ、且又御尋ヲ致シテ置キタイノハ、國民ハ全部冤ニ角今日ノ統制ノ爲ニ受ケル色々ノ苦痛ニ對シテハ我慢ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、要ハ統制ヲ受ケマスル所ノ結果ニ付テ成ベク苦痛ヲシテ公平ナラシムルト云フコトガ最も私ハ必要ダと思フ、同じ苦ミヲ受ケマスルナラバ、誰モ私ハ不平ヲ言ハヌト思フ、不平ヲ言フコトハ不公平ガアルカラ不平ガ出ルノデアリマシテ、議會ニ於キマシテモ度々問題ニナツテ居リマスル軍需工業ト平和産業トノ利益、或ハ勞働者ノ受ケマスル所

ノ——勞働者バカリデハアリマセヌ、關係ヲ致シテ居リマスル所ノ人々ノ受ケル報酬ノ額ナドニ對シマシテノ不平ナドモ相當アルノデアリマス、今回商工省デ工業組合法ヲ改正セラレル趣旨ナドヲ見マシテモ、小組合ト云フモノヲ認メルト云フヤウナ趣旨ニ於キマシテ、私達モ極メテ結構ダト考ヘテ居ルノデアリマスガ、實際統制ノ一番痛手ヲ受ケマスル者ハ中以下ノ工業者或ハ商人ノ階級ダト私ハ思フ、是等ノ人達ノ言フコトヲ聽クト、實際ニ小工業者ナドハ思フヤウニ色々ノ材料ノ配給ナドヲ受ケラレナイ不平ナドヲ述ベテ居ルノデアリマスルガ、ドウモ商工省ナドノ役人——商工省バカリデハナイト思フノデアリマスルガ、商工省ノ中堅ノ人達ハ統制ニ對シテモ非常ニ強硬ナ意見ト公平サヲ持ツテ居ルケレドモ、ドウモ上ヘ行ク程商工省モ生溫クナツテ、不公平ニルナヤウナ缺陷ガアルト云フヤウナコトモ聞イテ居ルノデアリマス、例ヘバ材料ノ配給ナドニ付テモ、大キナ製造業者ト云フヤウナモノニドウモ抑ヘラレ勝チニナツテシマツテ、其ノ間ニ於テ色々ノ情實ガ生レテ來タリ、配給上ノ不平ナドガ起ツテ來テモ、ドウモ商工省ノ幹部ナドガ大會社ナドニ抑ヘラレルト云フヤウナ缺點ガアル

ト下ノ方ニ於テ色々不平ヲ言ツテ居ルノデアリマスルガ、必ズシモ私ハ僻ミダトハ考ヘラレナイ、斯ウ云フヤウナ聲ヲ聞クノハ、吾々バカリデナク、多數ノ同僚ノ者ナドカラモサウ云フヤウナ聲ヲ聞クノデアリマスカラ、一旦斯ウト決ツテ、統制ヲシナケレバナラスト云フコトデアリマスルナラバ、商工大臣ヲ中心トシテ、假借ナク堂々タル所ノ步調ヲ商工省ガ執ルト云フコトガ私ハ必要ダと思フ、今同僚ノ深澤委員カラモ質問ガアリマシタガ、陳情ヲ受ケタリ、或ハ工業組合ナドノ幹部ノ特殊ナ注文ナドヲ受ケルト云フヤウナコトニ對シテハ、全國的ナ統制ノ中心ト云フヤウナ建前ノ上カラ、私ハ最モ強イ態度ヲ執ツテ戴キタイと思フノデアリマス、特ニ商工業者ノ救済ノ爲ニサウ云フヤウナ斷乎タル決意ヲ以テ進ンデ戴キタイト私ハ思フノデアリマスルノデ、此ノ際大臣カラ統制ノ上ニ於キマシテノ決意ノ程ヲ承ツテ置キタイと思ヒマス

○八田國務大臣 時局ノ影響ヲ受ケマシテ工業者殊ニ極小サイ工業者或ハ商業者ノ方々ガ非常ナ不自由ト不便トヲ感ゼラレテ居ルト云フコトハ、洵ニ私共ノ心ニ留メナケレバナラヌ點デアルト思ヒマス、今回ノ此ノ工業組合法ノ改正ノ法案モ其ノ點ニ付テ或ル程度ノ貢獻ヲナスモノト考ヘテ居ルノデアリマスルガ、之ニ關シマシテ、物資ノ配給等ニ於テ動モスレバ公平ヲ缺クト云フヤウナコトガアルノデ、注意スルヤウニト云フヤウナ御意見デアルト思フノデアリマス、果シテドウ云フ程度ニ其ノ配給ガ公正デアリ、或ハ公正デナイト云フヤウナコトガアルカ、私ハ實ハ存ジマセヌ、併シナガラ何レニ致シマシテモ適正ナル方法ヲ以テ配給セラルベキモノデアリマスルノデ、其ノ足ラザル所ハ十分考ヘテ、其ノ補正ヲシテ行カナケレバナラスト存ズルノデアリマス、ソレカラ又統制ノ方針ヲ一旦決シタ以上ハ、強硬ニソレヲ遂行スベシト云フ御議論ニ對シマシテモ同感デアリマス、唯先程モ申上ゲマシタヤウニ、此ノ統制ハ時局ノ變遷ト共ニ複雑デアリマスルノデ、中々簡單ニ參ラス點ガ多イノデアリマス、隨ヒマシテ見方ニ依リマス、生溫イヤウナ點モアルシ、或ハモツト早ク此ノ點ヲヤツタラ宜イデヤナイカト云フ點モ色々アルダラウト思フノデアリマス、是等ノ點ニ付キマシテハ、一方ニ於テハ恕シテ戴カネバナラヌ點モアルト思ヒマス、ケレドモ他方ニ於キマシテ、御話ノ如キ氣持デ十分努力シナケレバナラスト考ヘル次第デアリマス

○中村委員 大臣ノ決意ヲ承ツタノデアリ

マスルガ、決意ト共ニ、今日ノヤウナ時局ニナツテ参リマシタノデ、日本ノ工業並ニ商業全體ニ付テノ大キナ建前カラ、從來ノ日本ノ商工ニ對シマシテノ再編成ト言ヒマスルカ、一ツノ陣容ノ建直シト云フヤウナコトヲ、大キナ眼カラ見テ方針ヲ立テテ戴ク必要ガアルト吾々ハ思フノデアリマス、例ヘテ見マスルナラバ、物資ノ配給ニ付キマシテモ、一ツノ製造業者カラ更ニ下ノ配給機關マデノ間ニ於テ一貫シタ一ツノ組織ト云フモノヲ商工省ハ作ツテ、其ノ整備サレタ組織ノ網ト云フモノヲ通ジテ、配給ト云フモノハ極メテ規則的ニ一本ノ絲ニ依ツテ自由ニ動カサレルト云フ風ナ配給機構ト云フモノガ完備シテ行クト云フコトガ必要デアリ、更ニ價格ノ統制ナドニ付キマシテモ、行當リバツタリ式ナ價格統制ト云フヤウナモノヲヤツテ居ツタナラバ、私ハ際限ガナイト思フ、今後物價ノ騰貴ト云フヤウナモノニ付テ、上ツテ來タラソレヲ後カラ追掛ケテ行ツテ抑ヘルト云フヤウナ方針デアツタナラバ、是デハ必ズ製造業者ニモ商人ニモ或ハ消費者ニモ大キナ動搖ヲ與ヘルト思フノデアリマス、價格ノ統制ニ付テモ、生産物資カラ、更ニ原料カラ、其ノ上ニ出來

上ツタ所ノ製品ニ對シテノ一貫シタ價格ノ統制方針ト云フヤウナモノヲ執ツテ行カナカツタナラバ、今後ノ統制ト云フヤウナモノニ對シテハ色々困難ガ出テ來ル、斯様ニ私ハ考ヘルノデアリマスルカラ、ドウゾ機構ト云フモノヲ整備スルト云フ一ツノ方針ヲ立テテ戴キタイト云フコトヲ私ハ希望ヲ申上ゲテ置クノデアリマス

モウ一ツ、是ハ今回ノ工業組合法ノ改正ニモ直接關聯ヲ致スト思フノデアリマスガ、恐ラク政府ノ御方針ノ中ニモ、小工業者ヲ救済スルト云フコトガ、特ニ今回ノ改正ノ眼目ニナツテ居ルヤウデアリマスルガ、其ノ裏面ニ於テハ、恐ラクハ時局ノ爲ニ犧牲ニナツテ居リマスル所ノ産業ヲ新シキ方面ニ轉換ヲサセルト云フコトモ一ツノ私ハ目的デアルト思フノデアリマス、事實今日平和産業ニ携ツテ居リマスル者ガ職業ノ轉換ヲスルニ付テモ、例ヘバ工作機械ヲ一ツ得ルニ付テモ非常ニ業者ガ苦勞シテ居ルノデアリマシテ、是ハ私ハ一例ヲ大臣ニ申上ゲテ一ツ能ク聽イテ戴キタイト思フノデアリマスルガ、今マデ例ヘバ鋸屋ノ商賣ヲシテ居ツタ工業者ガ、モウ金屬ノ配給ヲ受ケラレナイカラ逆モ鋸屋ガ出來ナイト云フノデ軍需ノ下請工場ヲヤラウトシテ工作機械ヲ買ハウトシタ、所ガ

一流ノ工作機械ヲ製造シテ居ル會社ハ、殆ドモウ軍需品ヲ作ル爲ノ工場ニ縮付ケラレテ居リマシテ、民間ノ者ナドハ殆ド手ヲ付ケラレナイ、更ニ今度民間ノ工作機械ヲ製造シテ居ル方面ニ行キマス、是ハモウ何箇月モ前ノ先付ケノ契約ガ「ブローカー」ニ依ツテ結バレテ居リマシテ、殆ド是モ相手ニナラナイ、折角轉業ショウトシテモ機械一ツ買フコトガ出來ナイ、結局ノ所「ブローカー」ノ所ヲ訪ネテ行ツテ「ブローカー」ニ散々頭ヲ撥ネラレテ、ソレデ三拜九拜ヲシテ漸ク機械ヲ得ルト云フヤウナ合デアリマシテ、殆ド轉業ヲスルニ付テモ機械ヲ得ルコトガ出來ナイ、假ニ其ノ機械ガ苦勞ヲシテ得ラレルトシテモ資金ガ得ラレナイト云フヤウナ非常ナ苦境ニ今日際會ヲ致シテ居ルト思フノデアリマシテ、工業組合法ノ改正ナドノ裏面ニ於テ、斯ウシタ小工業者ノ爲ニ共同的ノ施設ヲサレルト云フヤウナコトニモ考慮ガ拂ハレテ居ルヤウデアリマスガ、サウ云フ方面ニ轉出スルニ付テモ機械一ツ得ラレナイト云フヤウナ今日ノ中小工業者ニ對シマシテ、大臣ハドウ云フ風ナ御考ヲ持ツテ居ラレマスルカ、中小工業者ノ轉出ノ上ニ付テノ御對策ヲ御聽カセ願ヒタイト思フノデアリマス

○八田國務大臣 時局ノ爲ニ物資ノ配給ノ關係上轉職ヲシナケレバナラスト云フコト

ノ生ジマスルコトハ、出來ルダケ避ケナケレバナラストコトデアリマスケレドモ、是亦洵ニ已ムヲ得ナイコトデアリマスルノデ、此ノ場合ニ於キマシテハ各個々々轉業ノ出來マスル者ハソレト致シマシテ、サウ云フコトニ出來ナイ者ハ出來ルダケ組合ノ制度ヲ活用致シマシテ、更ニ又今日御審議ヲ願ツテ居ルヤウナ組合制度ヲモ設ケマシテ、團體的ニ轉業致シ、之ニ對シマシテ物資ノ配給ヲ最モ圓滑ニ、ソシテ又例ヘバ軍需工業或ハ大工業ノ下請ト云フヤウナモノノ割當等モ便宜ニ致シマシテ、今日ノ時局産業ニ向ツテ轉業ヲ合致セシムルヤウニ致シタイト云フノガ方針デアリマス、之ニ必要ナル資金ノ融通等ニ於テモ、出來ルダケノ便宜ヲ與ヘルト云フコトニ付キマシテハ、私ガ此處デ繰返スマデモアリマセヌ、御承知ノ通りニ金融ノ便等モ圖ツテ居ルヤウナ次第デアリマス、唯問題ハサウヤツテモ尙ホ且ツ轉業モシ得ナイト云フヤウナ方ガ殘ル譯デアリマス、是等ノ方面ニ付キマシテハ物資ノ十分デナイ場合デアリマスケレドモ、出來ルダケ家業ガ繼續サレマスヤウニ、最大限度ノ物資ヲ配給スルト云フコトニ付

キマシテ考慮ヲ致シテ居ルヤウナ次第デア
リマス、併シ是モ中々言フベクシテ行ハレ
ナイヤウナ點モアリマスノデ、ソレ以上ノ
問題ニ付キマシテハ、政府ト致シマシテ又
特別ナル考慮ヲ拂ツテ、何レニ致シマシテ
モ時局ノ爲ニ中小商工業者、或ハ産業者ガ
其ノ生活ナリ生業ヲ失ハナイヤウニ、最善
ノ努力ヲシナケレバナラスト云フコトニ付
キマシテハ、今後ニモ十分一層ノ工夫ヲシ
ナケレバナラスト點ガマダ殘ツテ居ルト考ヘ
ラレルノデアリマス、只今御話ノ點ハ全ク
同様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○中村委員 モウ一點デアリマスガ、商工
省ノ監督ヲ受ケテ居リマス中小工業者ハ、
其ノ大部分ガ軍需工場ノ下請工場ナドニ今
日轉業致シテ居ルノデアリマスガ、幸ニ機
械ヲ得或ハ資金ヲ得ルコトガ出來マシテ、
軍需工場ナドニ轉業致シタ多數ノ人ガ政府
ニ向ツテ今日要求シテ居ルコトハ、直接政
府カラ註文ヲ受ケテ居ル大キナ指定工場ハ
相當ナ利益ヲ得テ居ルノデアリマスガ、下
請工場ニ參リマス、其ノ利益率ガ洵ニ少
イト云フヤウナ不平ガ非常ニ多イノデアリ
マス、私ハ此ノ指定工場ニノミ利益ヲ得サ
セルト云フヤウナコトニ對シテハ、相當ニ
政府ニ於テモ意見ヤ或ハ不平ヲ聞イテ居ル

ト思フノデアリマスガ、ドウカ此ノ指定工
場ト下請工場トノ間ニ於ケル利益率ト云フ
ヤウナモノニ對シテモ、嚴重ナル何等カノ
統制ヲセラレルコトガ必要デアルト思ヒマ
スノデ、此ノ一點ダケヲ御尋シテ置キタイ
ノデアリマス

○八田國務大臣 只今ノ點ハ十分ニ私モ考
究致シマシテ、不適正ナルコトノナイヤウ
ニ致シタイト存ジマス

○森田委員長 明日ハ午前十時ヨリ開會致
シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後七時二分散會